

# 社会福祉法人 山口市社会福祉協議会 令和4年度事業報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

本会は、令和4年4月に平成31年4月15日から3年余り本会の代表として会務を総理してきた岩城精二会長が退任を表明し、4月12日付け第1回理事会において徳永雅典氏が会長に選定され、新会長に就任した。

新型コロナウイルスが国内で初めて感染が確認されてから3年が経過し、感染者が減少傾向にある中で、感染対策を図りながら、実施できる活動は徐々に再開した1年であった。

地域での交流やつながりに関しては、コロナ禍前に比べ希薄になっており、特に、少子・高齢化の進行が進む現状において、家庭や地域での支え合い機能の弱まりなどを背景として、ひとり暮らし高齢者等の孤独（孤立）死やゴミ屋敷化、貧困や虐待、ひきこもり、自殺などさまざまな問題がさらに顕在化してきている。

本会としては、そうした課題に対応するために、日常の生活課題に対しては、生活支援コーディネーター（第1層及び第2層）を中心に、生活課題を拾い上げ、関係機関・団体と連携し、活動につなげる取り組みを進めるとともに、感染症拡大防止のために休止をしていたマイクロバス運行事業を令和4年9月から再開し、高齢者の生きがい対策や外出支援に取り組んだ。また、要援護者への日常の見守り訪問活動については、コロナ禍で取り入れた「新しい生活様式」の実践例を参考にしながらも徐々に通常の形に戻す取組を行った。

失業や休業等を背景に急増した生活困窮世帯に対しては、山口県社会福祉協議会やパーソナル・サポートセンターやまぐちと連携しながら、生活福祉資金（特例緊急小口資金、特例総合支援資金）の貸付を令和4年9月30日まで行い、111件、33,850千円（令和4年度実績）の貸付による生活支援を行った。令和4年10月以降特例貸付の受付は終了となったが、新型コロナウイルスの影響による生活困窮の実態は続いていたため、通常的生活福祉資金貸付業務の中で対応した。

介護保険法関連事業及び障害者総合支援法に基づくサービスについては、昨年度同様に感染症対策の徹底や利用者や接触する際に工夫を凝らすなど、十分な注意を払いながら、概ね通常とおりの支援を行った。

また、障害者虐待防止法の改正に基づき、虐待の防止及び身体拘束の適正な対応を行うため、「虐待防止及び身体拘束適正化検討委員会」を設置し、関連事業の規程を整備した。

さらに、山口市が重層的支援体制整備事業の一環として推進している“やまぐち「まちの福祉相談室」〈通称：ふくまる相談室〉”を令和5年4月から本格始動するため、3月から受託し、山口市川西地域包括支援センター及び山口市川西第2地域包括支援センターにそれぞれ職員を配置し準備を進めた。なお、令和5年4月からは、本所・北部支所（地域福祉課内）において相談窓口を設置し、相談に対応する。

法人全体の活動及び方針としては、地域共生社会の実現に向けて、「第3次山口市地域福祉計画・山口市地域福祉活動計画」の重点事業を中心に活動を行いつつ、併せて、令和5年度から令和9年度までの「山口市地域福祉計画・山口市地域福祉活動計画」の策定に山口市と協働で取り組んだ。

なお、昨年度から策定に取り掛かっていた第3次山口市社会福祉協議会活動基盤強化計画は、山口市地域福祉活動計画の実効性を高めるため計画として位置づけ、「組織強化と効率的な組織運営」「人材の確保・育成」「安定的な財政運営」の3つ部門を柱とし完成した。

これにより、令和5年度からは、「山口市地域福祉計画・山口市地域福祉活動計画」及び「第3次山口市社会福祉協議会活動基盤強化計画」を基とし、本会の活動基盤の強化を図りつつ、地域共生社会の実現に向けた地域福祉活動を展開する。

## **重点事業Ⅰ**

1 「第3次山口市地域福祉活動計画」の推進と「第4次山口市地域福祉活動計画」の策定

### **主要事業**

- (1) 地区社会福祉協議会活動の支援と協働
- (2) 地域福祉を推進する人材の育成と専門職等のネットワークの構築
- (3) 見守り訪問活動及び地域支え合い活動の推進
- (4) 地域子育て支援機能の充実
- (5) 社会福祉法人の地域公益活動の支援と協働
- (6) 地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業の充実・強化
- (7) 法律相談や貸付相談等の生活支援事業の推進
- (8) 介護保険法関連事業及び障害者総合支援法に基づくサービス事業の推進

## **重点事業Ⅱ**

2 「第2次山口市社会福祉協議会活動基盤強化計画」の推進及び「第3次山口市社会福祉協議会活動基盤強化計画」の策定

### **主要事業**

- (1) 自律した法人運営と「働き方改革」の推進
- (2) 財源の新規開拓と効果的な法人及び事業運営による経営基盤の強化
- (3) 社協の経営理念（※注）に基づいた計画的な人材の育成・確保の仕組みづくり
- （※注）市町社協の経営理念（「全社協・生活支援活動強化方針」より抜粋）

〈令和2年7月第2次改定〉

- 1 地域住民を主体とした「ともに生きる豊かな地域社会」の実現
- 2 誰もが人格と個性が尊重され、その人らしい生活を送ることができる福祉サービスの実現
- 3 地域住民及び福祉組織・関係者の協働による包括的な支援体制の構築
- 4 地域生活課題に基づく先駆的・開拓的なサービス・活動の創出
- 5 持続可能で責任ある自律した組織経営

## 重点事業 I

### 「第3次山口市地域福祉活動計画」の推進(平成30年度～令和4年度)

#### 1 「山口市地域福祉計画・山口市地域福祉活動計画」の実行

○事業内容：平成29年度に策定した「第3次山口市地域福祉計画・山口市地域福祉活動計画」実行の最終年次にあたり本年度も、「みんなでともに支え合い、誰もがその人らしく、住みなれた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくり」を理念に、「地域福祉を推進するひとづくり」「安全に安心して生活できる地域の輪づくり」「利用しやすい福祉サービスの仕組みづくり」を基本目標に計画に基づく活動を推進した。

#### 【山口市地域福祉活動計画の実行(5年次の主な取り組み)】

##### 基本目標 1 地域福祉を推進するひとづくり

###### 活動目標1 地域福祉活動団体等の活動の推進と人材の育成

活動名	市社協の取り組み	該当ページ
担い手の確保と育成の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山口市ボランティア連絡協議会交流会の開催</li> <li>・災害ボランティア研修会の開催</li> <li>・山口市有償在宅福祉サービス担い手養成講座の開催</li> <li>・意志疎通支援事業の実施(音訳及び手話、点訳、要約筆記の講座と子どもボランティア講座の実施、音訳及び点訳ボランティアグループ会議の実施)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P81,82</li> <li>・P25</li> <li>・P17,18</li> <li>・P22～24</li> </ul>
団体間の交流促進と効果的な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙「こちら社協です」の発行</li> <li>・広報紙「ボランティアやまぐち」の発行</li> <li>・本会ホームページに山口市ボランティア連絡協議会加入グループの一覧表を掲載</li> <li>・山口市ボランティア連絡協議会交流会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P80</li> <li>・P22</li> <li>・P80,81</li> <li>・P81,82</li> </ul>
新たな財源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協会員会費や共同募金について新たな事業所に協力を依頼</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P70,71 75,76</li> </ul>

###### 活動目標2 福祉教育の推進とユニバーサルデザインの啓発

活動名	市社協の取り組み	該当ページ
福祉体験学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区福祉員協議会等で福祉体験学習を実施(実施地区:宮野、嘉川、秋穂)</li> <li>・市内各小・中学校を対象に、福祉体験学習の相談や福祉体験学習器材貸出の依頼に対応</li> <li>・福祉教育推進協力校の指定と福祉教育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P26</li> <li>・P26</li> <li>・P26</li> </ul>
関係機関・団体の連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉教育推進協力校を対象とした情報交換会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P28</li> </ul>
思いやりの心を育むためのふれあいの場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍のため今年度は各学校の活動はなし</li> </ul>	
ユニバーサルデザインやバリアフリーの普及・啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山口市内の学校に、ユニバーサルデザイングッズを紹介し、啓発を図った。</li> <li>・福祉教育の啓発用DVDを作成し、活用を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P26</li> </ul>

### 活動目標3 企業の社会貢献活動や福祉施設の地域貢献活動の推進

活動名	市社協の取り組み	該当ページ
社会・地域貢献活動の周知・啓発、情報交換の場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国電力株式会社山口支社及び山口営業所による施設での電気設備の点検・清掃活動(照明器具(交換含む)、空調、換気扇等の清掃活動等)の実施。</li> <li>・山口ヤクルト販売株式会社による地区福祉員協議会定例会(宮野地区)やサロンでの健康講座の実施</li> <li>・仁成堂薬局による熱中症予防、経口補水液の作り方についての講座を福祉員定例会(小鯖)で実施</li> <li>・企業ボランティア活動促進モデル事業所の推薦</li> <li>・企業の社会貢献活動の情報交換会(山口県社会福祉協議会と共催)の開催</li> </ul>	・P28
社会福祉法人地域公益活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山口市社会福祉法人地域公益活動推進協議会の一員として、市内の社会福祉法人の連携・協働による地域公益活動に取り組み、制度の狭間の福祉課題の解決に向けた協議と仕組みづくりを推進</li> </ul>	・P43,44

## 基本目標2 安全に安心して生活できる地域の輪づくり

### 活動目標1 地域の生活課題の発見・把握と解決の仕組みづくり

活動名	市社協の取り組み	該当ページ
地域の生活課題や住民の個別課題を発見・把握する仕組みの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小地域福祉活動計画の対象となる地域の地区社協において、策定委員会開催にあわせて、生活課題の把握を行うため会議等を行った。</li> </ul>	・P8,9
地域の生活課題や住民の個別課題を解決する活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3次計画策定の支援:(対象地区:島地)</li> <li>・第4次計画策定の支援:(対象地区:吉敷・陶)</li> <li>・第5次計画策定の支援:(対象地区:小鯖)</li> <li>・地区福祉員定例会や地区民生委員児童委員協議会定例会に出席し、住民の生活(福祉)課題の情報収集及び情報提供を行った。</li> <li>・各地区について、地域の要援護者の把握と見守り方法の確認。特に、見守り訪問グループ員研修会で民生委員・児童委員や福祉員、地域包括支援センター職員、地区社協職員、本会職員などが一緒になり、コロナ禍での見守り方法や効果的にすすめる方法、また、個人情報の取り扱いについてなどを議題に研修会を行った。</li> </ul>	・P8,9 ・P16 82・83 ・P29~31

### 活動目標2 地域交流の場づくり

活動名	市社協の取り組み	該当ページ
高齢者の交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン開設に関する相談支援</li> <li>・新規サロンの開設支援(0件)</li> <li>・本会登録サロンの活動支援(251件)</li> <li>・ふれあい・いきいきサロンの運営費支援(25件)</li> <li>・サロン情報紙の発行(年6回)</li> <li>・器材の貸出(211件)</li> <li>・ふれあい・いきいきサロン交流会の開催</li> </ul>	・P11,12
障がい者の交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山口市ふれあいレク大会への協力</li> </ul>	・P81
地域住民の交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉の種まきリーディング事業の実施(11件)</li> </ul>	・P12,13

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙「こちら社協です」や地区民生委員児童委員協議会、地区福祉員協議会定例会等でサロン活動について周知を図った。</li> <li>・地域住民グループ支援事業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P16,80</li> <li>82・83</li> <li>・P11</li> </ul>
--	---	--

### 活動目標3 地域の支え合い活動の推進

活動名	市社協の取り組み	該当ページ
一人暮らし高齢者等の見守り訪問活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小地区見守り訪問グループ員研修会(主催:地区社協)の開催支援</li> <li>・「高齢者保健福祉総合調査票」による見守り対象者の把握、取りまとめ(見守り訪問対象者 総数:4,162件、総グループ数:812グループ)</li> <li>・188見守りネットワーク連携会議(主催:山口県)に出席</li> <li>・「ふれあい型給食サービス事業」の推進</li> <li>・食品衛生(食中毒対策)研修会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P29～31</li> <li>・P29</li> <li>・P32,33</li> <li>・P33</li> </ul>
認知症高齢者等の見守り活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他地域で実施された認知症高齢者等に対する取組みについての情報収集</li> <li>・鑄銭司地区社協が認知症模擬訓練の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P53,56</li> </ul>
地域の支え合い活動の仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援コーディネーターの設置</li> <li>・介護予防・生活支援サポーター養成講座 1回開催(徳地地区) ※徳地地域の地区社会福祉協議会と協力し開催</li> <li>・地区社協の会議及び小地域福祉活動計画策定委員会等を通じて、地区社協の運営・活動支援</li> <li>・大内地区内2自治会、阿東地福地区、小郡地区で支え合いの仕組みづくりの立ち上げ支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P18,19</li> <li>・P19</li> <li>・P8,9</li> </ul>

### 活動目標4 災害時の要配慮者支援活動の推進

活動名	市社協の取り組み	該当ページ
地域の共助による避難支援体制づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小地域福祉活動計画へ災害支援に関する計画を盛り込むよう助言</li> <li>・災害時等地域支え合いマップの作成支援及び避難行動要支援者名簿のマイプラン作成の周知を市と連携して情報提供した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P8,9</li> <li>・P30,31</li> </ul>
災害ボランティア活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ボランティア研修会の開催</li> <li>・災害ボランティアセンター模擬訓練の開催(小郡・阿東)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P25</li> </ul>

### 活動目標5 安全に暮らせる交通安全・防犯活動の推進

活動名	市社協の取り組み	該当ページ
児童、生徒等の安全の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小地域福祉活動計画に地区の課題として挙げておられる地区では、策定委員会や実行委員会において、対応策を検討・実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P8,9</li> </ul>
地域の防犯体制の充実・強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小地域福祉活動計画に地区の課題として挙げておられる地区では、策定委員会や実行委員会において、対応策を検討・実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P8,9</li> </ul>
詐欺、悪質商法等からの被害防止の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山口県警察署、山口警察署、山口南警察署が発行する『メルマガニュース』を地区福祉員協議会定例会において配布し、地域のひとり暮らし高齢者等へ注意喚起</li> <li>・山口市消費者生活センターや山口県防犯連合会と協力し、見守り関係者へ周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P16</li> <li>・P29～31</li> </ul>

## 活動目標6 民生委員・児童委員及び福祉員活動の推進

活動名	市社協の取り組み	該当ページ
民生委員・児童委員の活動強化と住民への周知・啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山口市民生委員児童委員協議会の3部会で研修会を開催</li> <li>・地区毎に対象者の割当を行い、各地区で見守り方法や、相談体制の在り方など全国民生委員児童委員連合会が作成した、「訪問活動、相談活動の基本」で、研修会を実施</li> <li>・地域の見守り活動について「小地区見守り訪問活動とは」の DVD 研修を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P82・83</li> <li>・P82・83</li> <li>・P29～31</li> </ul>
福祉員活動の強化と住民への周知・啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新任福祉員研修会の開催 開催日：5月30日(月) 会 場：山口県総合保健会館</li> <li>・福祉の輪づくり運動関係者研修会の開催 開催日：11月17日(木) 会 場：山口県総合保健会館</li> <li>・第1回地域福祉推進セミナーの開催(主催：山口県社協) 開催日：6月27日(月) 会 場：山口県総合保健会館</li> <li>・第2回地域福祉推進セミナーの開催(主催：山口県社協) 開催日：令和5年3月16日(木) ※オンライン研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P16</li> <li>・P10</li> </ul>
民生委員・児童委員と福祉員の連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区において民生委員児童委員協議会と福祉員協議会が合同で見守り等の研修会を開催するよう支援するとともに、会議や研修会に出席し、見守り方法の注意点などを助言</li> <li>・共通認識を図るため、福祉サービス等の情報提供等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P29～31</li> </ul>

## 基本目標3 利用しやすい福祉サービスの仕組みづくり

### 活動目標1 新たな包括的支援体制づくり

活動名	市社協の取り組み	該当ページ
相談支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員・児童委員ブロック別研修会にて、初期相談に関する窓口等を周知(延2回)</li> <li>・民生委員・児童委員の部会にて、相談機関の窓口についての研修会を実施</li> <li>・各地区民生委員児童委員協議会へ、「訪問活動、相談活動の基本」のDVDを貸し出し、研修会を実施</li> <li>・民生委員・児童委員の定例会にて、地域包括支援センター職員が出席し、高齢者の初期相談に速やかに対応</li> <li>・友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)研修会等にて、相談支援のポイントの説明</li> <li>・相談関係機関相談員研修会(主催：山口県社協)に参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P82・83</li> <li>・P82・83</li> <li>・P29～31</li> <li>・P82,83</li> <li>・P29～31</li> </ul>
福祉課題等の解決に向けた取組みと福祉関係機関・団体との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区福祉員協議会に出席し、地域の福祉ニーズの把握に努めた。</li> <li>・地域福祉権利擁護事業に関する相談が関係機関各所から寄せられた。必要時には成年後見に関する関係機関と連携を図った</li> <li>・法人成年後見事業受任件数 4件</li> <li>・福祉の輪づくり運動推進者に対して研修会を実施</li> <li>・山口市介護サービス提供事業者連絡協議会が開催された研修会の周知を関係機関に行った</li> <li>・福祉施設や事業者が行う専門的研修会について、関係機関へ周知</li> <li>・ホームページにて当事者団体の把握と紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P16</li> <li>・P44,45</li> <li>・P10</li> <li>・P80</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市社協広報紙にて、苦情解決制度及び第三者委員会制度の周知</li> <li>・市が設置した「ふくまる相談室」の周知を福祉員協議会に情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P76,77,80</li> <li>・P16</li> </ul>
制度横断的な福祉サービス提供の仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度の狭間の問題に対応できる取組の周知</li> <li>・ひきこもり等への理解を深める一般公開講座の開催支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P43,44</li> <li>・P44</li> </ul>
新たな包括的支援体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り訪問グループ等の充実を図り、問題の早期発見に努めた。</li> <li>・生活困窮者に対し、相談支援、各種資金の貸付や食糧支援を行うとともにパーソナル・サポートセンターやまぐち等と連携し、自立に向けて調整</li> <li>・生活支援コーディネーターを、本所に2名体制で配置し、各地域包括に配置された第2層の生活支援コーディネーターと連携をとりながら、高齢者等のニーズ把握及び支援体制づくりに向けた協議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P29～31</li> <li>・P47,47</li> <li>・P18,19</li> </ul>

## 2 山口市地域福祉推進協議会の開催

○山口市地域福祉推進協議会は、学識経験者や福祉サービス提供事業者、地区社会福祉協議会などの福祉関係団体等で構成され、山口市地域福祉計画・山口市地域福祉活動計画について、活動目標ごとに取り組みの進行管理を行うとともに、計画策定に係る意見及び提言、取組みに関する評価及び検証を行う場である。今年度は、次期計画（令和5年度～令和9年度）策定の年度にあたり、市と協働し、下記のとおり会議を開催した。

○開催回数 4回

開催日	会場	内容
5月27日(金)	かめ福ONPLACE	令和3年度の実施状況及び令和4年度実施予定、現行計画の振り返り、市民参画(関係機関等へのヒアリング)について
8月30日(火)	かめ福ONPLACE	地域福祉アンケート調査結果、市民参画(関係機関等へのヒアリング)調査結果、骨子案について
11月8日(火)	KKR山口あさくら	計画素案について
令和5年 1月13日(金)	KKR山口あさくら	計画最終案について

### 《成果と課題》

地域福祉推進協議会委員からは、現行計画の実績について、ある程度の評価をいただいた。次期計画については、コロナ禍後を見据え、現状にあった内容にするべきという意見のもと策定した。

本計画は、行政と社協が一緒に策定する計画であり、今後もこの在り方は存続しつつ、様々な団体や企業などを多く巻き込み、地域の福祉課題に協働しながら進めていくことが最重要と考える。

## 主要事業

### 1 小地域福祉活動計画に基づく地区社会福祉協議会活動の支援

#### (1) 小地域福祉活動計画策定及び実行委員会の開催 \* 受託事業

事業名	地区社協名	会議回数
第1次小地域福祉活動計画の策定	全地区実施済み	—
第2次小地域福祉活動計画の策定	全地区実施済み	—
第3次小地域福祉活動計画の策定 (令和5年度～令和9年度) ※ 座談会等を開催し、第3次計画を策定する	島地	7
第4次小地域福祉活動計画の策定 (令和5年度～令和9年度) ※ 座談会等を開催し、第4次計画を策定する	吉敷	5
	陶	6
第5次小地域福祉活動計画の策定 (令和5年度～令和9年度) ※ 座談会等を開催し、第5次計画を策定する	小鯖	5
第2次小地域福祉活動計画実行委員会の開催 (令和元年度～令和5年度)	柚野	2
第2次小地域福祉活動計画実行委員会の開催 (令和2年度～令和6年度)	小郡	3
	阿知須	2
第2次小地域福祉活動計画実行委員会の開催 (令和3年度～令和7年度)	秋穂	2
	阿東	3
第3次小地域福祉活動計画実行委員会の開催 (平成30年度～令和5年度)	名田島	2
第3次小地域福祉活動計画実行委員会の開催 (令和元年度～令和5年度)	大歳	3
第3次小地域福祉活動計画実行委員会の開催 (令和2年度～令和6年度)	湯田	3
	平川	4
第3次小地域福祉活動計画実行委員会の開催 (令和3年度～令和7年度)	大内	3
	串	2
第3次小地域福祉活動計画実行委員会の開催 (令和4年度～令和8年度)	出雲	3
	八坂	2
第4次小地域福祉活動計画実行委員会の開催 (令和元年度～令和5年度)	白石	3
	宮野	3
	秋穂二島	3



事業名	地区社協名	会議回数
第4次小地域福祉活動計画実行委員会の開催 (令和2年度～令和6年度)	嘉川	3
第4次小地域福祉活動計画実行委員会の開催 (令和3年度～令和7年度)	大殿	3
	鑄銭司	1
第4次小地域福祉活動計画実行委員会の開催 (令和4年度～令和8年度)	仁保	1
	佐山	1

### 《成果と課題》

「小地域福祉活動計画」の策定に着手した地区は、現行計画の中で取り組んできた5年間の各事業を総点検する機会となった。その他の地区で実施された「小地域福祉活動計画実行委員会」は、現行小地域福祉活動計画の進行管理(進捗状況の確認)の場や地域づくり計画等との調整を行う場となっているが、コロナ禍であったため、委員会を延期される地区もあった。

また、今年度策定した山口市地域福祉計画において、小地域福祉活動計画を紹介する機会を得た。

なお、地域の福祉課題としてコロナ禍ならではの課題、見守り活動の方法、高齢者の孤立および買い物等の移動手段の確保などがでており、それに対応できるように地域、行政及び関係機関と課題に向けて対応することが必要になっている。

## (2) 山口市地区社会福祉協議会連絡会の運営支援

### 1. 会議・研修テーマ(目標)

各地区社協の代表者が集い、相互の情報交換と研修を行うことで、各地区の取り組みや課題を共有し、それぞれの小地域福祉活動につなげるとともに、山口市の地域福祉活動の発展に資する。

### 2. 会議・研修報告

会議・研修名	開催時期	内容	対象者	会場	当番地区
連絡会	6月6日(月) 午前9時30分～	1. 役員選任 2. 令和3年度事業報告 3. 令和4年度事業計画 4. 市社協各担当課からの事業説明(マイクロバス等運行事業など) 5. 地区敬老行事対象者名簿の配付	地区社協会長	県総合保健会館	—
研修会	8月29日(月) 午後1時30分～	1. 事務連絡(共同募金関連・福祉員改選関連・マイクロバス等運行事業) 2. 事業説明「災害ボランティアセンターについて」	地区社協会長 事務局長・事務局員	維新みらいふ スタジアム会議室	(北部)

会議・研修名	開催時期	内 容	対象者	会 場	当番地区
		①設置までの流れや役割について 説明者：本会地域福祉課職員 ②コロナ禍における災害ボランティアセンターの設置と平常時の備えについて 講師：山口県社会福祉協議会 大河原部長 3. 情報交換会「災害に備え確認しておきたいこと」 4. マイクロバス運行事業について等			
連絡会	令和5年 3月22日(水) 午後1時30分～	1. 令和5年度地区社協連絡協議会事業計画(案) 2. 令和5年度市社協事業計画(案)	地区社協会長	県総合保健会館	—

役員会実施日 第1回 5月17日(火) しらさぎ会館  
 第2回 7月22日(金) 本所会議室  
 第3回 12月13日(火) 本所会議室  
 第4回 令和5年3月 9日(木) 本所会議室

### 《成果と課題》

市内25地区社会福祉協議会会長をもって組織する「山口市地区社会福祉協議会連絡会」が平成28年12月14日に発足され7年目となる。昨年同様新型コロナウイルス感染拡大予防のため会議の人数を減らし、時間を短縮して会議や研修会を行った。今年度は災害時の備えとして、災害ボランティアセンターについての共通理解を図る研修会を行ったが、地区によって理解に差があり、各地区での模擬訓練の実施が必要と感じた。

## 2 地域福祉を推進する人材の育成と専門職等ネットワークの構築

### (1) 福祉の輪づくり運動関係者及び福祉員研修会の開催

開催日	11月17日(木)
会 場	山口県総合保健会館
参加者数	111名
内 容	やまぐち「まちの福祉相談室」(ふくまる相談室)について ～事業説明及び事例発表～ 講師：山口市地域福祉課やまぐち「まちの福祉相談室」(ふくまる相談室) ふくまる相談員 受田 美智子氏 松永 俊夫 氏

## 《成果と課題》

今回は、やまぐち「まちの福祉相談室」(通称ふくまる相談室)の事業説明及び事例発表を行った。複合的な課題を抱える方の相談を丸ごと受け付ける機関として、新たな相談窓口を知る機会になったと考えられる。今年度は、福祉員、民生委員、地区社会福祉協議会関係者、地域包括支援センター関係者のみに周知したが、次年度から、可能な範囲で一般の方への周知も検討していく。

## (2) 山口市地域住民グループ支援事業の推進 \* 受託事業

○事業内容:地域において高齢者の生きがいと社会参加を促すとともに、社会的孤立感の解消、自立生活の助長及び要介護状態になることの予防を目的とするふれあい・いきいきサロン等の自主活動グループや山口市高齢者生きがいセンターの管理運営団体に対して支援を行った。

○ 補助金交付内容

【地域住民グループ】 全23箇所

グループ	運営費支援		会場費支援
	新規	2年目	
ふれあい・いきいきサロン	0箇所	3箇所	13箇所
サロン以外のグループ	0箇所	1箇所	6箇所
合計	0箇所	4箇所	19箇所

【高齢者生きがいセンター】 全4箇所

No.	地区	センター名
1	大内	大内の館
2	宮野	宮野やすらぎの里
3	鑄銭司	鑄銭司生きがいセンター
4	名田島	いきいきやかた

## 《成果と課題》

地域住民グループは、新しく活動を開始されるグループはなかったが、引き続き継続されるグループに会場費、運営費の補助等を行った。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、活動を休止するサロンもあり、補助を受けられなかったサロンもあった。今後も活動についての広報紙への掲載や、民生委員・児童委員及び福祉員、地区社協等の会合にて説明、PRをする場を設けていきたい。

## (3) ふれあい・いきいきサロンの推進

○事業内容:ひとり暮らし高齢者をはじめ、地域に住んでいる方々が生活に寂しさを感じたり、地域の中で孤立したり、家に閉じこもることがないよう地域の中で楽しく過ごせる場をつくる活動を推進する。

○登録サロン数:251箇所

○新規登録サロン:0箇所

○ふれあい・いきいきサロンレクリエーション講習会 実施状況

・実施回数:全16回実施

・延参加者:156名

・講習会の内容:1組のソックスでねこちゃんに変身、サロンでできる小物づくり、サロンでできる自分に合った運

動づくり、苔玉作り、おなかの菌学、クラフトハンドの小物入れづくり、笑いヨガとコリス音楽体操、銭太鼓(2回)、植物のクラフトづくり、折り紙、軸体操で体を整えよう、日本のハーブ“緑茶”、いきいき元気！転倒予防体操ケアピクス、セルフ整体とセルフリンパで健康づくり、季節の折り紙

○ふれあい・いきいきサロン講師派遣事業(サロンお助け隊) 実施状況

・登録講師:59(個人・団体) ・派遣実績:102回

○ふれあい・いきいきサロン器材貸出 実施状況 ・貸出実績 211回

○子育てサロン担い手交流会の開催

①開催日:11月7日(月)

②会 場:山口県総合保健会館

③内 容:講演「年齢に応じた親子のできる体操の紹介及び実践」講師 安田ありさ氏、 情報交換会

④参加者:11名

○ふれあい・いきいきサロン交流会の開催

①開催日:11月7日(月)

②会 場:山口県総合保健会館

③内 容:サロンの活動紹介(阿知須地区)沖の原いきいきサロン/(宮野地区)いきいきサロン下恋路グループワーク 『みんなで話してみませんか～コロナ禍でのサロン活動～』

④参加者:81名

○サロン情報紙の発行 年6回発行

#### 《成果と課題》

本年度は新規に登録されるサロン及び立ち上げられるサロンはなかったが、現在立ち上げを検討されている地域が複数あり、相談も受けている。

交流会では、今年度は、新型コロナウイルスの感染対策をしながら、午前中に子育てサロン交流会、午後にはふれあい・いきいきサロン交流会として開催した。

ふれあい・いきいきサロン器材貸出事業については、身体を使う器材の人気が高かった。また、本会保有貸出器材の写真をホームページに掲載し、ゲームの貸出の促進につながるように努めた。

講師派遣事業では、健康づくりのための運動や講座を行う講師や音楽や演芸等鑑賞できる活動を行う講師が人気を博した。楽器演奏等音楽活動を行う講師の登録が増えた一方、活動を中止される講師もあった。新しい人材の発掘が課題である。

#### (4) 福祉の種まきリーディング事業の推進 \* 受託事業

事業内容:地区社会福祉協議会、ボランティアグループ、福祉団体等と協力して、地域住民が気軽に地域福祉活動に参加できる事業として実施し、地域に福祉活動の芽を育てることを目的とする。

No	地 区	事業区分/事業名	実施団体名	実施日	実施場所
1	大 殿	地区サロン連絡会議開催事業/大殿地区サロン交流会	大殿地区社会福祉協議会	11月15日(火)	大殿地域交流センター
2	白 石	高齢者・子育てサロン支援(お試しサロン)事業/高齢者・子育てサロン支援(お試しサロン)事業	白石地区社会福祉協議会	4月15日(金) 6月15日(水) 10月14日(金) 12月15日(木) 令和5年 2月15日(水)	西門前商店街ライブステージ

No	地区	事業区分／事業名	実施団体名	実施日	実施場所
3	白石	地区サロン連絡会議開催事業／いきいきサロン研修会	白石地区社会福祉協議会	11月11日(金)	白石地域交流センター
4	小鯖	地区サロン連絡会議開催事業／ふれあい・いきいきサロン連絡会	小鯖地区社会福祉協議会	令和5年 2月17日(金)	小鯖地域交流センター
5	大内	地区サロン連絡会議開催事業／大内地区サロン交流会	大内地区社会福祉協議会	10月12日(水)	大内地域交流センター
6	宮野	地区サロン連絡会議開催事業／宮野地区サロン運営連絡協議会	宮野地区社会福祉協議会	令和5年 2月28日(火)	宮野地域交流センター
7	平川	地区サロン連絡会議開催事業／ふれあい・いきいきサロン連絡会	平川地区社会福祉協議会	10月31日(月)	平川地域交流センター
8	陶	課題対応／地域課題解決実践事業	陶地区社会福祉協議会	8月31日(水)	陶地域交流センター
9	小郡	地区サロン連絡会議開催事業／小郡地区サロン代表者会議	小郡地区社会福祉協議会	令和5年 3月13日(月)	山口市社会福祉協議会南部支所2階
10	小郡	「避難行動要支援等」の避難訓練事業〔災害ボランティア養成事業も可〕／小郡地区災害ボランティアセンター研修会	小郡地区社会福祉協議会	令和5年 2月14日(火)	山口市小郡ふれあいセンター
11	秋穂	地区サロン連絡会議開催事業／地区サロン連絡会議開催事業	秋穂地区社会福祉協議会	12月5日(月)	下松市 国民宿舎「大城」

### 《成果と課題》

新型コロナウイルス感染拡大防止により、事業の中止は未だにあるが、地区で工夫をされ事業を実施されているところも増えつつある。また、本事業の周知を地区社協に今まで以上に周知させるために、地域福祉課地区担当職員による地区への周知を徹底させたい。なお、阿東地区サロン交流会は補助金申請はなかったが実施された。

## (5) 地域活性化推進事業の推進

地域活性化推進事業は、本会が旧支部ごとに築いてきた地域の特性を活かした地域福祉活動を引継ぎ、心豊かな地域づくりの実現を図るものである。

### 1) 阿知須地域活性化事業の実施

#### ○あじす元気ハウスの管理運営

- ・事業内容: 阿知須の旧商店街の空き地に建設した「あじす元気ハウス」の管理運営を行い、地域での交流を促進する。
- ・実施箇所: 山口市阿知須4226番地(寺河内区)
- ・組織: 阿知須出張所内に元気ハウス運営委員会を設置し運営を行う。
- ・提供サービス
  - \* ぼらんていあショップの運営(毎週木曜日と10日市開店) コロナのため10日市のみ開催
  - \* 地域住民に開放(趣味の会、同窓会、自治会定例会、自主グループの各種研修会など)

\* 障害のある方、その家族を対象とした憩いの場の開設(地域活動支援センターやまぐち事業)

・利用人員 A棟 171名(前年度0名)

B棟 1,663名(前年度436名)

※C棟は令和4年度から山口市川西第2地域包括支援センター事業所に移行。

## 《成果と課題》

地域に元気ハウスがあることが浸透してきている。

今後も高齢者、障がい者、子どもなど誰もが、総合的な支援を手軽に利用でき、地域住民も主体的に運営に参画する総合循環型事業の取り組みを地域に周知し、理解を深めながら地域に根差した拠点として展開していきたい。\*新型コロナウイルス感染拡大防止の影響もあったが、利用者は増加した。

## 2) 徳地地域活性化事業の実施

<19地区福祉部会の活動の充実・強化>

・事業内容:徳地地区には、福祉員を中心に民生委員・児童委員、自治会長等で編成された福祉部会が19地区に設置され、運営支援を運営主体である徳地5地区社会福祉協議会や徳地地区社会福祉協議会連絡協議会と連携して行っている。

「誰もが安心して暮らせる地域づくり」を目的に、福祉部会員による情報共有やふれあい会(高齢者を中心とした地域交流行事)の開催等が行なわれている。

・支援内容 ①地区福祉部会への会議出席及び活動支援

②地区福祉部会への補助金交付

③各地区ふれあい会等への参加及び企画補助

・各地区福祉部会(19地区毎)の開催実績

※深谷・小古祖地区福祉部会はコロナウイルス感染防止のため活動休止

なお、深谷地区福祉部会は2年連続の活動休止である。

開催数:41回開催 延べ人数:363人

<各地区福祉部会の地域福祉活動実績等>

部会名	開催日	内 容	参加者数
柚木	10月25日(火)	第1回ふれあい会(グランドゴルフ大会)	6名
	11月26日(土)	第2回ふれあい会(老人クラブとの合同旅行)	15名
	令和5年3月3日(金)	第3回ふれあい会(ポッチャ)	9名
釣山	11月22日(火)	第1回ふれあい会(ポッチャ・交流会)【野谷部会と共同開催】	7名
	令和5年3月23日(木)	第2回ふれあい会(ポッチャ・交流会)【野谷部会と共同開催】	8名
野谷	11月22日(火)	第1回ふれあい会(ポッチャ・交流会)【釣山部会と共同開催】	11名
	令和5年2月3日(金)	友愛訪問活動(節分豆、可燃ごみ袋配布)	全戸
	令和5年3月23日(木)	第1回ふれあい会(ポッチャ・交流会)【釣山部会と共同開催】	11名
八坂	12月15日(木)	第1回ふれあい会(認知症講座)	44名
	令和5年3月8日(水)	第2回ふれあい会(ペタンク)	45名
船路	11月15日(火)	会食交流会	29名
引谷	10月	友愛訪問活動(物品配布)	全戸
三谷	10月17日(月)	友愛訪問活動(物品配布)	全戸
	3月25日(土)	ふれあい会(体操、ペタンク、ゲーム)	25名
深谷	7月27日(水)	友愛訪問活動(物品配布)	全戸

部会名	開催日	内 容	参加者数
小古祖		老人クラブ、百歳体操の支援	
	12月27日(火) 12月28日(水)	友愛訪問活動(70歳以上の方を対象)	89名
	令和5年2月3日(金)	節分祭への協力	
関・才谷・ 伏野・須路・ 中村	12月下旬	友愛訪問活動(75歳以上の方を対象に物品配布)	
		福祉員が各自治会で行事(健康体操、茶話会等)を実施	
堀・ 庄方	令和5年2月17日(金)	友愛訪問活動(ゴミ袋配布)	全戸
伊賀地	令和5年 2月	自治会活動の支援(災害対策備品の購入)	
岸見	9月15日(木)	友愛訪問活動(ゴミ袋配布)	全戸
	令和5年2月26日(日)	友愛訪問活動(75歳以上の独居の方へひな祭りお菓子配布)	
島地	令和5年3月6日(月)	友愛訪問活動(消毒備品配布)	全戸
藤木	11月25日(金)	第1回ふれあい会(ヤクルト健康教室)	20名
	令和5年3月7日(火)	第2回ふれあい会(福祉・介護・成年後見制度講習会)	21名
上村	令和5年1月24日(火)	第1回ふれあい会(ヤクルト健康教室、健康チェック)	37名
山畑	11月24日(木)	第1回ふれあい会(健康についてのお話とお楽しみ会)	28名
鯖河内	11月	友愛訪問活動(ゴミ袋配布)	全戸
	令和5年2月	友愛訪問活動(ポリ袋)	全戸
串	10月	友愛訪問活動(マスク配布)	全戸
	令和5年1月	友愛訪問活動(燃やせるゴミ袋配布)	全戸

### 《成果と課題》

令和2・3年度はコロナ等が原因で活動を自粛される福祉部会もあったが、今年度は全ての部会が福祉部会活動を実施された。日常生活も徐々に戻りつつあるので、引き続き、福祉部会の活動充実の一助となれるよう努めたい。また、福祉部会の運営には本会組織改編以降も本会が深く関わっている状態であり、今後も、福祉部会や徳地5地区社会福祉協議会連合会や徳地地区社会福祉協議会と連携し、活動充実に努めたい。

### 3) 阿東地域活性化事業の実施

#### ○祭壇等備品の貸出事業

- ・事業内容: 祭壇等を必要とされる家庭に対して祭壇等を無料で貸出しする。
- ・貸出件数: 8件(仏式 5件、神式 3件) 鯨幕 1件 紅白幕 1件

### 《成果と課題》

無償で祭壇を設置、撤収する等して貸し出しを行うこの事業は、阿東地域では広く知られて来た事業である。

しかしながら、現在は、人口減少・高齢化が進み、自治会等での助け合いによる葬儀はできない状況に至っており、本会の祭壇利用者は激減して多くが民間の貸会場を利用されての葬儀に移ってきている。このことから、この事業の継続について検討している。

## (6) 地域福祉の担い手の育成

### 1) 福祉員研修会の開催

#### (1) 新任福祉員研修会

○目的 地域福祉活動(福祉の輪づくり運動)の推進にあたり、福祉員としての基礎知識を習得することを目的に研修会を開催する。

○開催日 5月30日(月)

○会場 山口県総合保健会館 2階 第1研修室

○参加対象 新任福祉員(委嘱を受けて1年以内の福祉員又は希望者):参加者87名

○参加方法 会場参加、ZOOM参加のハイブリット方式

○内容 【はじめに】福祉員の心得:山口市福祉員連絡協議会長

【活動紹介】「福祉員活動について」

発表者:山口市社会福祉協議会地域福祉課職員

【説明】山口市地域包括支援センターの業務と役割

発表者:山口市基幹型地域包括支援センター職員

### 2) 山口市福祉員連絡協議会の設置及び運営

○目的:各地区の福祉員代表者で構成し、福祉員活動の推進と情報交換を行うことを目的に開催する。

月 日	内 容	備 考
4月 1日(金)	退任者・新任福祉員の名簿の提出、委嘱状・門標・ガイドブック等の配付、ボランティア活動保険の加入	
5月26日(木)	山口市福祉員連絡協議会(第1回)	・事業報告・事業計画等について 山口県総合保健会館
5月30日(月)	新任福祉員研修会 参加者:87名	山口県総合保健会館
8月29日(月)	山口市福祉員連絡協議会(第2回)	・輪づくり運動関係者及び福祉員研修会について ・山口市福祉員連絡協議会研修について 維新みらいふスタジアム
10月 7日(金)	社会福祉功労者等表彰状・感謝状贈呈式	山口県総合保健会館
10月24日(月)	山口県総合社会福祉大会 【視察】社会福祉法人長門市社会福祉協議会 たけのこの村	山口市産業交流拠点施設 KDDI 維新ホール
11月10日(木)	山口市福祉の輪づくり運動関係者及び福祉員研修会 【講師】ふくまる相談員 松永俊夫氏、受田美智子氏 【内容】やまぐち「まちの福祉相談室」(ふくまる相談室)について～事業説明及び事例発表～	山口県総合保健会館
令和5年 2月28日(火)	山口市福祉員連絡協議会(第3回)	・事業報告、事業計画 ・令和5年度新任福祉員研修会について 維新みらいふスタジアム

#### 《成果と課題》

改選3年目になり、これまで新型コロナウイルスの影響で開催できていなかった新任福祉員研修会を開催した。さらに、感染拡大防止対策を十分に行い、定期的に連絡会議(各地区の福祉員連絡協議会代表者同士の情報



交換)を開催し、福祉員の活動上の課題等を話し合い、情報共有に努め、諸機関と連携して地域課題に取り組んだ。また、今年度は、福祉員連絡協議会で、障がい等の理由で社会参加が難しい方たちの相談機関及び訓練機関として設置されている、社会福祉法人長門市社会福祉協議会たけのこ村に視察研修へ行き、先駆的な取り組みを学んでいただいた。

次年度は、改選1年目になるため、改めて福祉について学ぶことができる機会を設ける必要がある。

## (7) 有償在宅福祉サービス事業の推進

### 1) 有償在宅福祉サービス事業の実施

○事業内容:誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目的に、高齢者や障がいを持っている方等が様々な理由で日常生活上の家事及び介護等で困っている時、その負担を少しでも和らげるために福祉に理解をもった地域の方々(協会員)に訪問してもらい、身の回りのお手伝いをしていただく事業である。

利用会員	協会員	賛助会員
104名(内令和4年度登録7名)	68名(内令和4年度登録3名)	18名・13団体

○サービスの内容の内訳

内 容	件数	内 容	件数	内 容	件数
食事の支度・後片付け	41	介助	0	保育	0
住居等の掃除・整理・補修	588	話し相手	130	その他	46
衣類の洗濯・補修	8	通院介助	27	合 計	890
生活必需品等の買物	50	代筆・朗読	0		

○ふれあい新聞の発行:4回

### 《成果と課題》

初回相談件数は37件(新規利用会員は7名)であった。平成28年10月から山口市で介護予防・日常生活支援総合事業が始まり、要介護認定でのサービス利用の流れが変わってきたこともあり、要支援1・2認定の方からの相談が増加している。利用者のニーズに対して専門的な対応が必要となる相談も増えている。本会としては、サービスを提供するだけでなく相談者に必要なサービスを見極め、他機関との連携を密に図ることも重要である。

### 2) 有償在宅福祉サービス事業一般公開講座の開催

○事業目的:協会員の資質向上及び新規人材獲得、人材養成を図ることを目的に開催する。

○会 場:維新みらいふスタジアム

○受講者:7名

○内 容

開催日	テーマ・内容	講 師
9月27日(火)	高齢者の健康管理について (感染症予防、脱水症予防について)	鈴の会 保健師 宮内 利恵 氏

### 3) 有償在宅福祉サービス事業協会員研修交流会の開催

○事業目的:協会員の資質向上及び人材養成を図ることを目的に開催する。

また、情報交換会を通して今後の事業運営に関してご意見いただく。

○会 場:1回目:山口市社会福祉協議会南部支所

2回目:宮野地域交流センター

○受講者:1回目:7名 2回目:7名

○内 容

開催日	テーマ・内容	講 師
<第1回> 10月4日(火)	○『事業説明&協力会員情報交換会』	なし
<第2回> 10月21日(金)	○『調理実習 低栄養予防について』	ウェルネスエンター中央 デイトレセンター 管理栄養士 金子菜美子 氏

#### 4) 有償在宅福祉サービス事業担い手養成講座の開催

○事業目的:人材養成(有償在宅福祉サービス事業協力会員の養成)を図ることを目的に開催する。

○会 場:1回目:山口勤労者総合福祉センター サンフレッシュ山口

2回目:山口勤労者総合福祉センター サンフレッシュ山口

○受講者:1回目:20名 2回目:14名

○内 容

開催日	内容・講師
令和5年2月7日(火)	テーマ 「地域の支え合いについて」 講 師: 山口県立大学 名誉教授 草平 武志 氏
令和5年2月22日(水)	テーマ 「掃除について～人との向き合い方、接点づくり～」 講 師: Ree's -リース- 水岡 里絵 氏、山根 和恵 氏

#### 《成果と課題》

有償在宅福祉サービス事業の課題となっている担い手(協力会員)不足を解消するため、養成講座を開催している。市社協だよりや福祉員定例会などで周知し、一般参加者もおられ、今年度は協力会員3名の新規加入があった。今後ますます利用ニーズが増えることを想定し、本事業についてより広く周知ができるよう地域へ働きかけ、現協力会員の資質の向上と新たな会員の獲得につなげていくことが最重要課題である。また、今年度は以前から協議されてきた利用料の改定に向けて会員各位への説明と意見の聞き取りを行ってきた。特に情報交換会においては実際に支援に入る会員目線の意見が多数寄せられた。令和5年度からは利用料を昨今の社会情勢に合わせ、協力会員の確保を図る理由で1時間当たり600円から800円に引き上げることにした。今後も適切な事業運営を行っていくために、必要な協議、検討を行っていく。

## (8) 生活支援・介護予防体制整備事業の推進

### 1) 生活支援コーディネーターの設置 \* 受託事業

○目的: 山口市社会福祉協議会に1名の第1層生活支援コーディネーター(以下「1層」という。)、各地域包括センターに1名の第2層コーディネーター(以下「2層」という。)を配置し、高齢者の生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備に向けた取り組みの推進を行うため、既存の地域資源等を把握し、地域のニーズにあった生活支援サービスが行われるように、地域に不足するサービスの創出やサービスの担い手の養成、関係者間の情報共有やサービス提供主体間の連携体制づくりなどのネットワーク構築を進める。

○事業内容

①地域組織からのニーズ把握に関すること

・2層と地区社会福祉協議会を訪問し、地域課題や地域が求めている活動の担い手等について聞き取りを実施

した。また、各地区の小地域福祉活動計画実行委員会、民生委員児童委員協議会、福祉員協議会等の会議に出席し、生活支援コーディネーターの周知や情報の高齢者の生活課題や取り組みの情報収集をするとともに、支え合いの取り組み事例の情報提供等を行った。

○訪問地区 25地区

○地域の会議への出席 随時（小地域福祉活動計画策定委員会、実行委員会等）

○自立支援型地域ケア会議への出席

②不足する生活支援サービスの把握・調整・創出に関すること

・連絡定例会、エリア別会議の開催、各地区の話し合いの場等への出席により、現状把握と対策についての協議を行った。

③地域資源の把握と見える化に関すること

・1層協議体として、市内のフィットネス事業所と情報交換を行い、フィットネス事業所情報の一覧表を作成した。

④ネットワーク構築に関すること(令和4年度から市高齢福祉課が招集)

・基幹型地域包括支援センター、1層、2層の協議の場を設定し、事業推進における課題や方法等を検討・共有した。

○全体会議・連絡定例会 36回

○エリア別会議 48回

⑤介護予防・生活支援サポーターと生活支援サービスとのマッチングに関すること

・平成31年度から調整業務が2層に移管された。

⑥協議体の開催に関すること

・令和4年度第1回地域支え合い推進会議(第1層協議体)を開催。民間のフィットネス等を行っている事業者とサービス内容等について情報交換を行い、その後に事業者情報の一覧表を作成した。

## 2) 介護予防・生活支援サポーター養成講座の開催

\* 受託事業

・高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるように、地域での支え合い体制づくりを目指して、地域における住民等における介護予防や生活支援の取組の担い手となる人材の養成を目的に講座を開催している。

今年度は介護予防の担い手確保に目的を絞り、養成講座を1日のみで実施した。1日のみであれば、周知・啓発のみになるため、次年度以降に再度、地区社協等と連携し、開催するとより効果的である。

日時:令和5年3月3日(金)午後1時30分～ 受講者 36名

会場:徳地地域交流センター2階 研修室

内容:①いくつになっても元気な体と心を保つコツ

②徳地地域における介護予防等

③脚力&握力測定

### 《成果と課題》

受講後、アンケートを実施し、9名の方が地域福祉活動に携わりたいとの回答をいただいたので、本人同意を得た方の情報提供を徳地内の各地区社会福祉協議会に対して行った。各地域包括支援センターに第2層生活支援コーディネーターの配置から3年が経過し、各地域の会合やつどいの場に参加されるようになり、より地域の社会資源、現状・課題等の情報把握や地域への働きかけができるようになった。今後も2層との協働により、各地区で高齢者の生活支援について理解を深めていきたい。

## (9) その他の生活支援・介護予防関連事業の推進

### 1) マイクロバス運行事業の実施

○事業内容：各地区にマイクロバスの無料貸出し又は民間バス借り上げ費用の一部助成をすることにより、高齢者の交流及び福祉関係団体の活動の促進を図る。

○今年度の運行実績

地 区	マイクロバス	民間バス	福祉員協議会の利用
大 殿	5	0	マイクロバス
白 石	5	2	なし
湯 田	3	1	マイクロバス
仁 保	2	0	なし
小 鯖	4	0	なし
大 内	7	2	民間バス
宮 野	5	0	なし
吉 敷	7	2	なし
平 川	6	2	なし
大 歳	6	1	なし
陶	2	2	なし
鑄銭司	0	0	なし
名田島	0	0	なし
秋穂二島	2	0	なし
嘉 川	4	0	マイクロバス
佐 山	3	0	なし
小 郡	7	0	マイクロバス
秋 穂	2	0	なし
阿知須	0	0	なし
出 雲	0	1	なし
八 坂	0	1	なし
島 地	2	0	なし
串	0	0	なし
柚 野	0	0	なし
阿 東	0	0	なし
合 計	72	15	5

### 《成果と課題》

令和元年度3月より新型コロナウイルスによる感染防止のため、運行を中止にしていた本事業を9月より再開した。試験的に実施しているところもあるため、事業運営について、山口市地区社会福祉協議会連絡会と株式会社大隅タクシー観光部おおすすめ観光と協議をしながら進めていくことが重要である。

### 2) チェアキャブの貸出

○事業内容：身体に障がいがあるため社会参加や外出が困難な方に、車いすのまま乗車できる車両の貸出を行う。  
運転は家族または知人が行う。

○チェアキャブの貸出

配置場所	件数	配置場所	件数	配置場所	件数
本所・北部支所	59	阿知須出張所	15	南部支所	87
徳地出張所	15	阿東出張所	9	秋穂出張所	7
				合計	192

### 《成果と課題》

チェアキャブは、在宅の車いす使用者の方々の遠方への外出や、通院時等に貸出を行い、喜ばれている。南部支所での利用が多く、通院目的の利用が多い。このことから在宅介護（看護）を行う方が増加しているとも考えられる。チェアキャブと併せて車いすやスロープの貸出も可能であることを今後も市民へ周知する。今年度も引き続き貸出前に新型コロナウイルス感染予防対策として消毒を念入りに行った。

### 3) 福祉機器リサイクル事業の実施

\* 受託事業

○事業内容：車いす、介護用ベッド、ポータブルトイレ、歩行器などの福祉機器を無料で貸出す。

機器の種類	貸出件数	保有台数	機器の種類	貸出件数	保有台数
電動式ベッド	0	1	杖	4	26
歩行器	23	20	松葉杖	6	19
車いす	220	156	スロープ	2	7
介護テーブル	1	3	ポータブルトイレ	56	25
シャワーチェアー	13	18	浴槽台	4	5
介助バー	0	1	バスボード	1	3
手押し車	10	10	その他	1	20
浴槽用手すり	1	8	合計	365	326

### 《成果と課題》

福祉機器の貸出についての相談は例年多くあり、必要に応じて貸出や情報提供を行った。特に車いす、ポータブルトイレの貸出についての相談が多かった。情報提供は市社協だより、市社協HPや福祉員定例会などで行った。また、機器の老朽化による廃棄を行い、保管場所の確保や定期的なメンテナンスを行った。返却されたポータブルトイレの消毒について、今年度より山口刑務所に作業をしていただけることとなった。作業を通して受刑者に社会貢献をしていただく試みとなっている。基本的には、在宅利用を目的とした貸し出しを行っているが、緊急性を伴う場合は施設入居者（介護保険上在宅扱いの施設含む）への貸し出しも1箇月は可としている。要綱に則って貸し出すが、利用者の状況に応じて、組織で協議したうえで対応する。

### 4) 移送サービスの実施

\* 受託事業

合併前に、山口陸運支局の許可により、地域限定の移送サービス事業として行っている。

地域	利用件数	登録台数
小郡	0	1
阿知須	3	2
阿東	0	1
合計	3	4

### 《成果と課題》

利用者は、車いす等のままで通院が必要な方が大半を占めている。地域によっては、民間介護タクシーの利用の増加等で利用者が減少傾向にあり、運転手（担い手）不足も課題である。

阿東地域では、平成29年度途中まで配置していた車両が、老朽化のため廃車になり、平成30年度から徳地出張所の車両を登録している。利用については、引き続き0件であった。阿知須地域の利用件数も減少している状況にある。来年度、交通会議で協議のうえ、今後も本事業の方向性について、市と連携しながら検討していく。

## (10) ボランティア活動の推進

### 1) ボランティアグループの活動支援

○補助団体数49団体

### 2) ボランティア活動保険の掛金補助

○保険受付件数:基本タイプ4,472名、天災・地震補償タイプ178名、特定感染症重点タイプ56名

### 3) ボランティア活動に関する連絡調整

○事業内容:ボランティアに関する相談について、必要な情報の提供や関係機関への連絡調整を行う。

○相談件数:28件(個人13件、ボランティア団体5件、行政・関係機関4件、企業3件、その他3件)

○内 容:派遣依頼10件、活動紹介7件、その他11件

### 4) 山口市ボランティアセンター及び小郡ボランティアセンターの活用

○山口市ボランティアセンター 利用者数:621名(月平均51名)

○小郡ボランティアセンター 利用者数:637名(月平均53名)

### 5) ボランティア活動器材の貸出

○貸出件数:3件

### 6) ボランティア情報紙「ボランティアやまぐち」の発行

○発行回数:年6回(奇数月)

### 7) 使用済み切手の収集

○毎月第2・4木曜日の午後から市ボランティアセンターで、使用済み切手の整理をボランティアが行っている。整理した切手は、切手収集家に送り換金され、ボランティア活動基金に積み立てている。

現会員の高齢化に伴い、参加者が減少傾向になる。新規会員の獲得が今後の課題である。

○換金額 3,400円

### 8) 意志疎通支援事業の推進

○体験講座の開催

<手話講座>※山口手話友の会、小郡手話友の会との共催

#### 【山口会場】

日時及び参加者:①6月8日(水)午後6時30分～8時 12名

②12月14日(水)午後6時～7時30分 16名

場 所:しらさぎ会館

講 師:山口手話友の会 会員

内 容:手話体験

#### 【小郡会場】

日時及び参加者:①6月10日(金)午後6時30分～8時30分 5名

②6月20日(月)午前10時～11時30分 4名

③11月11日(金)午後6時30分～8時30分 10名

④11月28日(月)午前10時～11時30分 4名

場 所:①、③ 小郡地域交流センター

②、④山口市社会福祉協議会南部支所

講 師:小郡手話友の会

内 容:手話体験

#### <要約筆記講座>※山口市要約筆記サークルやまびこ

日時及び参加者:①5月28日(土) 7名

②5月31日(火) 4名

場 所:しらさぎ会館

講 師:山口市要約筆記サークルやまびこ 会員

内 容:要約筆記体験

#### <点訳講座>※小郡点訳サークルてんとう虫との共催

日時及び参加者:①11月1日(火) 午前10時～11時30分 5名

②11月8日(火) 午前10時～11時30分 4名

③11月15日(火) 午前10時～11時30分 4名

④11月22日(火) 午前10時～11時30分 4名

場 所:山口市社会福祉協議会南部支所

講 師:小郡点訳サークルてんとう虫 会員

内 容:点訳体験

#### <音声訳公開講座> ※音声訳グループみずの会と共催

日 時:11月24日(木)午後1時～2時30分

参加者:20名(市内の音声訳ボランティアグループ、朗読ボランティアグループなど)

講 師:中村実枝氏

内 容:視覚障がい者の立場から

#### <音声訳体験会> ※音声訳ボランティア小郡やまびこの会との共催

日 時:10月11日(火)午前10時～11時30分

場 所:小郡ボランティアセンター

参加者:3名

内 容:音声訳体験

#### <子どもボランティア講座>※点訳「のぼらの会」、音声訳グループみずの会、ゆびの会との共催

日時及び参加者:①7月27日(水) 午前10時～12時 8名 点訳講座

②8月3日(水) 午前10時～11時 8名 音声訳体験

③8月10日(水) 午前10時～11時 8名 手話体験

場 所:①、③山口市ボランティアセンター

②しらさぎ会館

- 講 師:①点訳「のぼらの会」  
②音声訳グループみずの会  
③ゆびの会

○関係ボランティア団体の会議

<市内点訳グループ情報交換会>

- 日 時:①6月24日(金)午後1時30分～3時  
②令和5年2月6日(月)午後1時30分～3時  
場 所:①山口市ボランティアセンター  
②山口市社会福祉協議会南部支所  
参加者:点訳のぼらの会、点訳すぎなの会、小郡点訳サークルてんとう虫、点訳コムニオの会  
山口市障がい福祉課、山口市社会福祉協議会地域福祉課  
内 容:福祉体験学習について、意思疎通支援普及啓発事業について、おひさま会について

<市内音声訳グループ情報交換会>

- 日 時:11月21日(月)午後1時30分～3時  
場 所:山口市ボランティアセンター  
参加者:音声訳グループみずの会、朗読グループまごころの会、小郡やまびこの会、愛メイト  
山口市障がい福祉課、山口市社会福祉協議会地域福祉課  
内 容:情報交換(コロナ禍での活動など)、市社協・市との意見交換、意思疎通支援普及啓発事業について、おひさま会について

<点訳・音声訳グループ情報交換会>

- 日 時:10月18日(火)午前9時30分～11時  
場 所:山口市社会福祉協議会南部支所  
参加者:点訳のぼらの会、点訳すぎなの会、小郡点訳サークルてんとう虫、点訳コムニオの会  
音声訳グループみずの会、朗読グループまごころの会、小郡やまびこの会  
山口市障がい福祉課、山口市社会福祉協議会地域福祉課  
内 容:情報交換(コロナ禍での活動など)、おひさま会について、郵送袋について  
市社協、市との意見交換

《成果と課題》

ボランティア活動に対する連絡調整は、少しずつ増えているが、いまだコロナ禍前と比べて少ない。今年度は個人からボランティアの相談を受け、調整することが多かった。また、団体・サロンからボランティアに来てもらいたいという相談もあり、ボランティア活動がコロナ禍前に戻りつつある。

また、市ボランティア連絡協議会の加入グループと協働で一般・子ども向けに体験講座を昨年度から回数を増やしたり、要約筆記など新しい講座を増やし開催した結果、参加者が講座後、ボランティアグループに加入された。このように、啓発も含めて既存グループと一緒に、人材発掘に努めていきたい。

コロナ禍でも可能なボランティア活動の紹介ができるように様々な関連機関と連携し、情報収集に努め、ボランティア活動のマッチングを行っていきたい。



## (11) ボランティア(ひとづくり)養成講座の開催

### 1) ひきこもり支援公開講座の開催

・山口市介護者の会及び山口市ボランティア連絡協議会が主催する研修会において、ひきこもりに関する現状や支援をテーマとした一般公開講座の開催を支援した。

- 主 催: 山口市社会福祉法人地域公益活動推進協議会
- 目 的: ひきこもりについての正しい理解と普及啓発に努める。
- 開催日: 令和5年2月20日(月) 午後1時30分～
- 参加者: 28名

#### 《成果と課題》

今年度の一般公開講座は、山口市社会福祉法人地域公益活動推進協議会の研修会において「ふくまる相談室とひきこもり支援の現状や支援」をテーマとして開催した。

講演の中で、ひきこもりの支援には時間がかかることやエネルギーが必要なこと、家族を主とする周囲の適切なサポートや働きかけが必要といった話があった。「公益協の今後の活動方向への参考になった。法人として何ができるか考えていきたい」等の意見があり、現状を整理し、支援の谷間にいる人たちについて考える機会になった。

### 2) 山口市災害ボランティア研修会の開催

- 目 的: 地域における防災意識の向上と新しい行動様式を踏まえた災害ボランティアの養成
- 開催日: 令和5年1月17日(火)
- 会 場: 山口県総合保健会館(ZOOM ミーティングを使用したオンライン参加と併用)
- 対 象: 災害ボランティア登録者、災害時支援協定締結団体、地区社協  
民生委員・児童委員、福祉員、介護支援専門員、一般住民等
- 演 題: 「コロナ禍における災害ボランティアについて」  
講師: 広島県社会福祉協議会 松井寛泰 氏  
NPO 法人 SKY 協働センター 大迫雅俊 氏
- 参加者: 74名(会場参加33名 オンライン参加41名)

#### 《成果と課題》

本研修会は、「防災とボランティア週間」の事業として開催し、山口市の災害ボランティア登録者及び登録団体、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、福祉員、介護支援専門員等広く呼びかけて行った。

今回は、前回と同じく、会場とオンラインのハイブリット形式で開催した。コロナ禍における災害ボランティアについて、令和3年のコロナ禍真っただ中に災害ボランティアセンターを立ち上げた広島県社協の松井氏と平成3年の豪雨災害を受け立ち上がった SKY 協働センターの大迫雅俊氏に、ICTを導入し、ボランティアを事前登録制にし、運用された事例をお話いただいた。今までのボランティアセンターの運営の中で実際にどう変わったのか、どのような団体と協力されたのか、本会としても参考になる部分が多かった。

災害に対する関心が高まっている今、今後も市民の一人一人が災害を自分のこととして捉えられる内容を検討し、開催したい。

また、災害時における協力に関する会議を、毎年、協定書締結団体と開催し、災害時に災害ボランティアセンターの運営がスムーズに行えるように役割分担を明確化しておくことも今後の課題である。

## (12) 福祉教育の推進

### 1) 福祉教育事業の企画・実施

#### ○小・中学生等の福祉体験学習への協力及び体験用具の貸出

- ・車いす、高齢者擬似体験、点字、ガイドヘルプ、手話等
- ・各小・中学校に福祉教育に関する取り組むための内容がわかるように福祉教育・福祉体験学習プログラムを作成した。また、ユニバーサルデザインの啓発用(福祉教育)DVDの作成を行い、活用した。
- ・小学校・・・80校　・中学校・・・4校　・その他・・・20件
- ・取り組み人数 3,514人
- ・体験用具等貸出
  - 車椅子・・・29件　　高齢者擬似体験・・・12件　　点字盤・・・12件
  - 白杖・・・9件　　ユニバーサルデザイングッズ・・・6件　　福祉教育DVD・・・15件

### 2) 福祉体験学習研修会の開催

○地区福祉員協議会等で依頼があった際に福祉体験学習を実施した。(地区:宮野、嘉川、秋穂)

### 3) 福祉教育推進協力校の指定

#### \* 受託事業

○目的:次代を担う小・中学生を対象として、福祉の心を育て社会福祉への理解と関心を高め、社会奉仕、助け合い、社会連帯の精神を育成するとともに児童・生徒を通じて家庭や地域で福祉の心を育める総合的教育の啓発、体験、実践、研究を行うことを目的として福祉教育推進協力校の指定を年次的に推進する。

○協力校数: 小学校8校(令和3・4年度指定校 上郷小学校・串小学校・柚野木小学校)

(令和4・5年度指定校 大歳小学校・嘉川小学校・大海小学校・阿知須小学校・井関小学校)

中学校1校(令和3・4年度指定校 鴻南中学校)

高等学校1校(令和3・4年度指定校 学校法人鴻城義塾 山口県鴻城高等学校)

○指定期間:2年

○協力校の活動:それぞれの地域の実情に合わせ、地域住民、ボランティア、社会福祉協議会の協力を得て、下記の活動を実施

- (1)福祉体験学習
- (2)福祉講演会、映画会、展示会等による福祉意識の啓発
- (3)社会福祉、地域の福祉課題についての調査研究活動
- (4)地域社会で生活している高齢者、障がい者などに対する実践活動や地域内の社会福祉関係・団体等の交流会
- (5)社会福祉施設等への訪問、体験活動及びボランティア活動
- (6)社会福祉関係行事等への参加
- (7)福祉関係紙、学区新聞等の配布、広報活動
- (8)家庭、地域社会への啓発活動
- (9)災害時における地域の福祉課題を学ぶ活動
- (10)福祉に関する制度・サービスについて学ぶ学習活動
- (11)その他目標達成のために必要な活動

○市社協の役割 (1)福祉体験の助言及び指導

(2)活動に関する相談、情報提供、活動の場コーディネート

(3)助成金の交付

○助成基準 1年につき3万円(上限)

#### **上郷小学校**

- 事業内容
1. 車いす体験、高齢者擬似体験、点字体験
  2. 視覚障害の方のお話会
  3. 市の「360度図鑑」に校区内のバリアフリーについてまとめる

#### **串小学校**

- 事業内容
1. 「福祉」の取組について 他校との交流 地域の危険箇所点検 交通機関の取組
  2. 認知症サポーター養成講座

#### **柚野木小学校**

- 事業内容
1. 手話体験
  2. 認知症についての講演
  3. 地域活性化センターへ訪問し、児童が考えたゲームや、クリスマスツリーの飾りつけを地域の方と一緒にいたり、演奏や発表をする。
  4. 地域のお祭りや敬老会への参加

#### **鴻南中学校**

- 事業内容
1. ユニバーサルデザイン製品の購入と授業(1年生)、高齢者擬似体験教材の購入と授業(2年生)
  2. 学年だよりや学級通信を通して福祉学習の紹介、福祉教育で使うための紙代
  3. 書籍購入
  4. あいさつ運動

#### **大歳小学校**

- 事業内容
1. 高齢者擬似体験、車椅子体験、アイマスク体験点字体験
  2. 視覚障害者からお話を聞く会
  3. 学習のまとめと発信(学習したことをまとめて参観日に発表。)
  4. ボッチャ体験
  5. 福祉に関する書籍の購入

#### **嘉川小学校**

- 事業内容
1. アイマスク体験、点字体験、手話体験
  2. 福祉学習に活用できる書籍の購入
  3. あいサポーター研修の実施
  4. 福祉体験学習のまとめ

#### **大海小学校**

- 事業内容
1. アイマスク体験、車いす体験、点字体験
  2. 視覚障害の方による講演会
  3. 書籍の購入
  4. 障害者スポーツ大会「ボッチャ」山口県ボッチャ協会

#### **阿知須小学校**

- 事業内容
1. アイマスク体験、難聴体験、パラスポーツ体験

#### **井関小学校**

- 事業内容
1. 総合的な学習の時間(4年) 手話体験 点字体験 アイマスク体験

2. 補助犬についてオンライン講演会を10月の人権参観日に実施

#### 学校法人鴻城義塾 山口県鴻城高等学校

- 事業内容
1. ボッチャセット購入し、校内で学習
  2. 上郷駅前の花壇における清掃活動や校内緑化運動
  3. 学校内におけるポスターによる啓発運動(献血)
  4. ロープを買って、ロープワークの講習会を校内で開催

#### 4) 福祉教育推進協力校の情報交換会の開催 \* 受託事業

平成22・23年度指定福祉教育推進協力校(平川小学校、鑄銭司小学校、阿東中学校)  
平成23・24年度指定福祉教育推進協力校(大殿小学校、白石小学校、潟上中学校)  
平成24・25年度指定福祉教育推進協力校(小鯖小学校、小郡小学校、阿東東中学校)  
平成25・26年度指定福祉教育推進協力校(島地小学校、さくら小学校、川西中学校、仁保中学校)  
平成26・27年度指定福祉教育推進協力校(佐山小学校、八坂小学校、宮野中学校、徳地中学校)  
平成27・28年度指定福祉教育推進協力校(大内小学校・興進小学校・小郡南小学校、湯田中学校)  
平成28・29年度指定福祉教育推進協力校(名田島小学校・中央小学校・白石中学校・小郡中学校)  
平成29・30年度指定福祉教育推進協力校(湯田小学校、二島小学校、大殿中学校、大内中学校)  
平成30・令和元年度指定福祉教育推進協力校(大内南小学校、秋穂小学校、平川中学校、秋穂中学校)  
令和元年・2年度指定福祉教育推進協力校(良城小学校、仁保小学校、生雲小学校、阿知須中学校)  
令和2・3年度指定福祉教育推進協力校(宮野小学校・陶小学校・徳佐小学校・二島中学校)  
令和3・4年度指定福祉教育推進協力校(袖野木小学校・串小学校・上郷小学校・鴻南中学校)  
令和4・5年度指定福祉教育推進協力校(大歳小学校・嘉川小学校・阿知須小学校・井関小学校)  
の計50校を対象に案内をし、3年ぶりに対面での情報交換を行った。

#### 《成果と課題》

小・中学校への福祉体験学習の本職員及び外部講師の派遣をコロナ禍前と同様に再開した。

情報交換会については、昨年度、一昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため集まることはせずにアンケートでの情報交換を行ったが、今年度は対面での情報交換を行った。

内容としては、今年度作成した福祉教育 DVD の視聴を行い、今後の貸出のための案内を行った。

また、山口県福祉人材センター職員にお越しいただき、福祉の出前講座について説明を受けるとともに、グループワークを実施し、各学校の福祉教育に関する取り組み等把握することができた。

## (13) 企業の社会貢献活動の推進

### 1) 企業の社会貢献活動の支援

○企業ボランティア活動促進モデル事業所の推薦

「POLA Este.in.Ree」を山口県社会福祉協議会に推薦した。

### 2) 企業等社会貢献活動セミナーの開催

○主 催: 山口県、社会福祉法人山口県社会福祉協議会、公益財団法人山口きらめき財団

○目 的: 県内企業の具体的事例を参考にし、県内における企業等の社会貢献活動の更なる充実と発展を促進する。

○開 催 日: 11月14日(月)

- 会 場: 山口県社会福祉会館 4階
- 参加対象: 社会貢献活動モデル事業所他
- 内 容:【モデル事業所指定企業の公表及び活動報告】

＜令和4年度指定の事業所＞

- ・サンタキッズ&ファミリークリニック
- ・サンテレコム株式会社
- ・中特グループ
- ・日本精蠟株式会社
- ・深川養鶏農業協同組合
- ・POLA Este.in.Ree
- ・明治安田生命保険相互会社 山口支社 萩営業所
- ・明治安田生命保険相互会社 山口支社 山口営業所

### 3 見守り訪問活動及び地域支え合い活動の仕組みづくりの推進

#### (1) 小地区見守り訪問活動の推進 \* 受託事業

○事業内容: ひとり暮らし高齢者等の安否確認のため、自治会(町内)または民生委員・児童委員担当地区ごとに見守り訪問グループを結成し、要援護者を地域で見守るという主旨で友愛訪問活動を実施する。

地区名	見守り訪問対象者数	グループ数	地区名	見守り訪問対象者数	グループ数
大 殿	222	38	鑄銭司	119	18
白 石	256	54	名田島	29	11
湯 田	574	23	秋穂二島	59	59
仁 保	107	9	嘉 川	95	30
小 鯖	110	30	佐 山	96	96
大 内	735	40	小 郡	241	47
宮 野	218	157	秋 穂	66	19
吉 敷	158	27	阿知須	111	13
平 川	268	34	徳 地	124	59
大 歳	386	28	阿 東	128	5
陶	60	15	合計	4,162	812

#### 《成果と課題》

山口市の高齢化率は高まっているが、ひとり暮らしの高齢者や高齢の二人暮らし世帯の対象者はあまり増えていない現状がある。しかし、高齢者を対象とした安否確認を中心とする友愛訪問は、悪質な業者等にだまされることを未然に防ぐことや、認知症等で孤立させないためにも地域で関わるが大変重要になってきている。

また、活動する際の知識として、各地区で研修会を実施し、高齢者の異変に気づくための情報共有も見守り活動の一環となっている。市内において要援護者をグループで支援するこの活動も徐々に浸透し、グループでの見守り活動の方法が重要になっているが、若い人の支援が少ないこと、依頼できる支援者がいないところや支援者自身も高齢である等グループ全体について対策を検討する必要がある。

地域の見守りの担い手を増やす働きかけや包括支援センターや生活支援コーディネーターとも連携し、地域の支

え合い活動につなげていく働きかけも必要と考える。

なお、来年度は民生委員・児童委員と福祉員の改選により新任が多いため、見守り訪問活動についての現状を伺いながら、これまで地域で取り組んでこられた基本の話を改めて伝える必要がある。そのツールとして、「小地区見守り訪問活動について」のDVD等を活用していきたい。

地区名	日 時	主な内容	参加者
大 殿	7月11日(月) 10時～12時	・小地区見守り訪問活動の現状と課題 ・グループワーク「事例検討」	36
白 石	7月22日(金)10時～11時40分	・友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)の説明 ・グループ一覧表の説明 ・グループワーク「事例検討」	43
湯 田	5月18日(水) 10時～12時	・友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)の説明(DVD視聴) ・グループワーク(町内ごとに情報交換)	48
仁 保	12月14日(水) 10時～11時	・友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)の説明	10
小 鯖	7月6日(水) 13時～15時	・友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)の説明 ・グループワーク「見守り訪問活動の現状と課題」	59
大 内	8月27日(土) 9時～11時	・友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)の説明 ・グループワーク「災害時等地域支え合いマップ更新作業」	104
宮 野	4月3日(日) 10時～12時10分	・友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)の説明(DVD視聴) ・災害時要援護者避難支援プラン等について ・グループワーク 対象者の把握(民生委員・児童委員と福祉員の個別協議)	77
吉 敷	7月26日(火) ①9時30分～11時45分 ②13時30分～15時45分	・事例発表「湯田地区の見守り活動の現状について」 ・友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)の説明 ・グループワーク「見守り訪問活動の現状と課題」	73
平 川	7月2日(土) ①10時30分～11時40分 ②13時30分～14時40分	・友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)の説明 ・グループワーク「地域支え合いマップ」と「そのまとめ」の更新及び情報交換	86
	12月3日(土) ①10時～11時40分 ②13時30分～15時10分	・友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)の説明 ・グループワーク「地域支え合いマップ」と「そのまとめ」の更新及び情報交換	80
大 歳	7月11日(月) ①18時30分～ ②19時45分～ 7月12日(火) ③18時30分～	・友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)の説明(DVD視聴) ・地域包括支援センターからのお知らせ ・グループワーク(民生委員・児童委員と福祉員の個別協議)	93
陶	6月22日(水) 13時30分～15時	・友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)の説明(DVD視聴) ・見守り訪問活動における民生委員・児童委員と福	26

地区名	日 時	主な内容	参加者
		社員の連携について(阿知須地区における訪問活動への取り組みの事例発表) ・グループワーク(民生委員・児童委員と福祉員の個別協議)	
鑄銭司	7月30日(土) 10時～12時	・友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)の説明 ・グループワーク「見守り訪問活動の現状と課題について」	28
名田島	6月2日(木) 19時～21時	・友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)の説明 ・グループワーク「災害時等地域支え合いマップ更新作業」	75
秋穂 二島	10月18日(火) 13時30分～15時	・友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)の説明 ・障がい者対応について(DVD視聴) ・グループワーク「地域支え合いマップ」の更新及び情報交換	40
嘉 川	5月25日(水) 10時～11時40分	・友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)の説明(DVD視聴) ・事例発表「見守り訪問活動の連携について」 ・グループワーク「見守り訪問活動の現状と課題」 見守り対象者の確認、グループ員一覧表作成	60
小 郡	① 8月1日(月) 13時30分～15時 ② 8月3日(水) 13時30分～15時 ③ 8月10日(水) 13時30分～15時	・友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)の説明(DVD視聴) ・「お互いに支え合う地域づくりを目指して」 ・グループワーク「見守り訪問活動の現状と課題」 見守り対象者の確認、グループ員一覧表作成	88
秋 穂	7月15日(金) 13時30分～15時40分	・友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)の説明(DVD視聴) ・グループワーク「地域支え合いマップ」の更新及び情報交換	58
島地	5月19日(木) 10時～11時	・友愛訪問活動について	26
柚野	5月23日(月) 9時30分～10時45分	・高齢者の見守り訪問活動について	19
串	11月15日(火) 9時30分～12時	・友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)の説明(DVD視聴) ・講座「認知症サポーター養成講座」 ・グループワーク情報交換(見守り対象者の確認)	22

### 《成果と課題》

見守り訪問グループ員研修会は、研修メニューの中から地区社協の選択により実施された。市内20地区社協で開催され、本会職員も同席して研修会の企画、運営の支援を行った。見守り訪問活動につながる活動として、高齢者のサロンや百歳体操などの集いの場やふれあい型給食などの活動が見守りにつながることを改めて、周知した。

また、悪質業者の訪問販売などによる被害の防止方法を周知するなど見守り訪問活動の重要な役割を担う内容の研修会を今後実施していくことが重要である。

## (2) ふれあい型給食サービス事業の推進

\* 受託事業

### 1) ふれあい型給食サービス事業の実施

○事業内容: 概ね65歳以上のひとり暮らしの高齢者、75歳以上の高齢者のみの世帯、単身の障がい者世帯で給食を必要とし、かつ地域との交流が必要な方に月1回、見守り活動を兼ねて地域のボランティアがお弁当を届ける。

○利用人員 1,035名

○延利用人員 9,536名

○実施地区: 13地区

○実施頻度: 月1回(昼食または夕食)

地区	実施回数	利用対象者	対象人員	延利用者数 (R4.4~R5.3)	調理会場
大殿	月1回(夕食) 第1水曜日	・65歳以上のひとり暮らし高齢者等	37名	257名	太陽堂旅館
白石	月1回(夕食) 第2火曜日	・65歳以上のひとり暮らし高齢者 ・75歳以上の高齢者のみの世帯 ・単身の身体障害者	217名	2,048名	いちやなぎ
湯田	月1回(夕食) 第2水曜日	・65歳以上のひとり暮らし高齢者 ・75歳以上の高齢者のみの世帯 ・60歳以上の単身の身体障害者	118名	759名	湯田地域交流センター
大内	月1回(昼食) 第2・第3木曜日	・70歳以上のひとり暮らし高齢者	121名	1,231名	大内地域交流センター
宮野	月1回(昼食) 第1木曜日	・65歳以上のひとり暮らし高齢者等 ・身体障害者等	120名	1,173名	ふしの学園
吉敷	月1回(夕食) 第3木曜日	・65歳以上のひとり暮らし高齢者等	68名	513名	吉敷地域交流センター (コロナ禍により現在は委託)
平川	月1回(夕食) 第2火・水曜日	・65歳以上のひとり暮らし高齢者等	66名	679名	山口あかり園
陶	月1回(昼食) 第2水曜日	・70歳以上のひとり暮らし高齢者もしくは夫婦が高齢者同士	49名	480名	温泉ホーム日吉台
鑄銭司	月1回(昼食) 第4火曜日	・65歳以上のひとり暮らし高齢者 ・75歳以上の高齢者のみの世帯 ・単身の身体障害者	41名	386名	まるしょう鑄銭司店
名田島	月1回(夕食) 第3火曜日	・70歳以上のひとり暮らし高齢者 ・78歳以上の高齢者のみの世帯	28名	297名	まるしょう鑄銭司店
秋穂二島	月1回(昼食) 第1火曜日	・70歳以上のひとり暮らし高齢者等 ・75歳以上の高齢者のみの世帯	33名	332名	山口秋穂園
嘉川	月1回(夕食) 第3水曜日	・75歳以上のひとり暮らし高齢者 ・80歳以上の高齢者夫婦	93名	946名	温泉ホーム日吉台
佐山	月1回(昼食) 第4水曜日	・65歳以上のひとり暮らし高齢者等	44名	435名	佐山地域交流センター

※湯田地区は地域交流センターの工事に伴い、令和4年12月から事業を休止している。



## 2) 給食サービス関係者食品衛生(食中毒対策)研修会の開催 \* 受託事業

○事業内容:ふれあい型給食サービス事業の食中毒予防対策として、本会の主催による給食サービス関係者食品衛生(食中毒対策)研修会を開催する。

開催日	5月20日(金)
会場	山口県総合保健会館
参加者数	42名

## 3) ふれあい型給食サービス事業実施地区交流会の開催 \* 受託事業

○事業内容:ふれあい型給食サービス事業の実施地区を対象とした交流会を2年に1回開催する。  
次年度開催年は令和6年度である。

開催日	9月30日(金)
会場	市社協南部支所
参加者数	20名

### 《成果と課題》

本事業は、配食者が見守り訪問活動の一環として利用対象者の安否確認をすること、配食をきっかけに地域交流を促進し、地域のつながりが形成されることを目的としている。

令和4年度は5月に給食サービス関係者食品衛生(食中毒対策)研修会を開催し、9月にふれあい型給食サービス事業実施地区交流会を開催した。交流会では地区の実施状況を把握し、悩みや工夫を情報交換したが、多くの地区で利用者、調理・配食ボランティアの担い手がともに減少していることが課題となっている。

また、昨年度に引き続き、各地区で新型コロナウイルス感染拡大防止に考慮しながら事業を実施している。感染症の影響により、配食の際に対面することが難しいといった課題もあるが、弁当を業者に委託したり、感染対策をしたり、各地区で工夫をされている。引き続き、感染拡大の状況に応じた安全第一の事業を実施したい。

## 4 地域子育て支援機能の充実

### (1) 児童福祉事業の推進

#### 1) 山口市山口児童館の運営 \* 指定管理事業

事業	名称	内容	時期・回数	対象・人数	成果と課題
自由 来館	施設開放	遊戯室、児童遊園を開放し、子どもの遊び等の活動場所とするとともに、保護者の交流場所とする。	通年 開館日291日 ※臨時休館2日 (うち台風1日・館内清掃1日)	乳児・幼児・ 児童・その他 14,837名	備品の老朽化が激しく、計画的な入れ替えが必要
	HAPPYスペース	2階図書室を小・中・高校生に自習室として開放する。	通年 9:00~16:30	小・中・高生 380名	特に中・高生の利用が多く、静かな環境で集中して学習に取り組む様子があった。
	プール開放	夏休みに児童遊園のプールを開放し、水遊びの場所とする。	7月20・21・22・ 27・28・29日 8月3・4・9日 計9回	幼児・児童 101名 保護者49名 計150名	職員による監視を徹底し、怪我や事故なく実施。悪天候により1回中止
連続 講座	やんちゃクラブ	親子の遊びや活動を通じた居場所づくり、仲間づくり(子育て相談を含む)	毎週木曜日 10:00~11:00 29回/30回	生後6箇月 未就園児 15組	通年の活動を行うことができた。 雪による悪天候のため

事業	名称	内容	時期・回数	対象・人数	成果と課題
		む)			め1回中止 年度途中の参加・退会を可能にするため、次年度から月ごとの申し込みとする
	がらくたらんど	工作や絵画活動、集団遊びを通した人間関係づくり(子育て相談を含む)	月2回水曜日 15:45~16:45 19回/19回	小1~小3 20名	通年の活動を行うことができた。
単 独 講 座	ぶれい☆メイト	大学生との工作や、レクリエーション活動	月1回土曜日 (5月~7月) 13:30~15:30 (3回実施)	3歳~小6 42名 保護者25名 大学 31名 計98名	大学生と工作やレクリエーション・自由な遊びを通して交流を行った。コロナの影響により4月は中止
	ももたろうクラブ	活動を通して子どもから高齢者まで多世代の交流を行う。	不定期 (2回実施)	3歳~小6 22名 保護者21名 計43名	フェルトバッグづくり・しめ縄作りを通して多世代の交流を行った。
	ひよっこり講座	様々な制作や遊びの体験活動。 作物の苗植えや収穫	不定期 (6回実施)	3歳~小6 85名 保護者27名 計112名	タイルで鍋敷き作りやスライム作りを実施 玉ねぎ・いもの収穫を楽しんだ。 プラレール行事を実施
	特別講座	専門講師による講座	不定期 (2回実施)	幼児・小学生 29名	共同募金について学びながら募金箱作りやアロマワックスサシェ作りを行った。
	おはなしライブラリー	読み聞かせ、ペープサート、人形劇、エプロンシアター等	年10回不定期 (9回実施)	乳幼児・児童・保護者 176名	児童館職員やおはなしボランティアによる紙芝居、パネルシアターを実施
	移動児童館	制作やレクリエーション	不定期	内容から設定	未実施
行 事	おはなしラリー	山口学芸大学学生による様々な手法のお話会	7月16日(土) 13:30~15:30	乳幼児・児童・保護者 30名 大学生20名	今回で3回目となる行事。ラリー形式で5つのお話を楽しんだ。
	ゲームラリー	施設内での様々なゲーム活動	9月3日(土) 13:30~15:30	3歳~小6 28名 保護者 17名 計45名	施設内に10個のゲームを設置しラリー形式で行った。 得点を競って楽しんだ。
	運動会	大学生企画による運動会	10月22日(土) 13:30~15:30	3歳~小6 23名 保護者 14名 計37名	大学生企画の競技を取り入れて、家族で楽しむことができた。
	舞台芸術公演	劇団員の方による演劇鑑賞	11月5日(土) 13:30~15:00	乳幼児・児童・保護者 36名	毎年楽しいお話で、家族で楽しむことができた。
	秋祭り	各種ゲーム、飲食コーナーでの体験活動。	11月19日(土) 13:30~15:30	3歳~小6 35名 保護者 21名 計56名	大学生の協力を得ながらお店やゲームの充実を図った。

事業	名称	内容	時期・回数	対象・人数	成果と課題
	クリスマス会	音楽や劇の鑑賞、ゲームなど。	12月10日(土) 13:30~15:30	3歳~小6 31名 保護者 19名 計50名	大学生による出し物や劇などとても好評だった。

### 《成果と課題》

- 年度始めは新型コロナウイルス感染症による影響で、行事の中止や制限を行ったが、その後は可能な限り行うことができた。コロナに対する考え方が社会全体で少しずつ変化した1年だった。
- 運動会やクリスマス会は、3年ぶりに大学生(山口BBS会)が主に企画し実施した。育成を行いながら、楽しい行事となった。次年度も課題を踏まえながら、より良い行事を行いたい。
- コロナ感染により緊急の職員の休みが、何度かあったが、その他の職員で補いながら運営を行った。日頃から情報の共有・意思疎通がとても重要である。
- 未就園児の保護者アンケートによると、保育園・幼稚園・こども園の選び方や食事面・子ども同士の関わり等様々なことに不安を持っている人が多く、専門講師による保護者向けの講座を取り入れていきたい。
- 令和3年4月1日よりNPO法人あつとの運営する『あつと児童クラブ』が施設内に入り、月1回のミーティングを行うことで情報共有・問題提起・解決に繋げることができた。今後も職員の連携・危機管理等を行いながら双方がよりよく利用できる方法を考えていく必要がある。
- 遊具や設備の劣化による撤去・修繕は今後も必要であり、利用する子ども達の安全を第一に考えていきたい。

### 2) 秋穂コミュニティセンターの運営

\* 受託事業

○事業内容: 山口市より委託を受けた山口市秋穂コミュニティセンターの適正な管理運営を行い、センターとして地域住民と密接な連携を保ちながら、児童の健全育成に努める。

月	主な行事		定例会・その他
4	16(土)	みて!さがして!串山ハイキング 13名 (交流センター共催)	囲碁将棋定例会 8回 30名 ひまわり会(自彊術) 4回46名
	28(木)	職員会議(本所) 5名	
5	7(土)	フラワーアレンジメント教室 11名	囲碁将棋定例会 7回 24名 ひまわり会(自彊術) 3回 32名
	23(月)・30(月)	出前児童館「昆布の授業」 延べ34名 (秋穂地区児童クラブ)	
6	10(金)・24(金)・18(土)	からだリフレッシュ講座①・② 19名 ハンドメイド講座 16名	囲碁将棋定例会99回 29名 ひまわり会(自彊術) 5回55名 団体利用 1(16名)
	21(火)	職員会議(山口市・本所) 7名	
	26(日)	にこにこキッズ(絵画) 6名	
7	2(土)	たなばた会 30名	囲碁将棋定例会 8回 28名 ひまわり会(自彊術) 4回 41名 団体利用 1(16名)
	26(火)	夏休みの宿題やつつけちゃおう大作戦 (交流センター共催) 21名	
	30(土)	夏休み工作教室 20名	

月	主な行事		定例会・その他
8	10(水)	環境学習講座 31名	囲碁将棋定例会 7回 22名
	26(金)	第2回にこにこコンサート 54名	ひまわり会(自彊術)
	31(水)	出前児童館「防災教室」 (秋穂地区児童クラブ) 34名	団体利用 5(延べ39名)
9	1(木)	職員会議(本所) 5名	囲碁将棋定例会 1回 2名
	10(土)	にこにこキッズ (ストレッチ&ダンス) 11名	ひまわり会(自彊術) 51名 小学校遠足 122名
	22(木)	消防総合訓練 37名	
	25(日)	第94回囲碁大会 中止	団体利用 1(延べ6名)
10	2(日)・16(日)	からだリフレッシュ講座③・④ 19名	囲碁将棋定例会 8回 29名
	20(木)	職員会議(本所) 5名	ひまわり会(自彊術) 4回 38名
	29(土)	にこにこキッズ(ハイキング) 11名	団体利用 2(延べ46名)
11	13(日)	にこにこキッズ(制作活動) 20名	囲碁将棋定例会77回 27名
	26(土)	劇団演劇街鑑賞(児童劇巡回事業) 25名	ひまわり会(自彊術) 3回 27名 団体利用 1(延べ55名)
12	17(土)	工作教室「ミニ門松作り」 33名	囲碁将棋定例会8回 33名
	15(木)	職員会議(本所) 5名	ひまわり会(自彊術) 4回 39名
	22(木)・23(金)	出前児童館「サンタとアナ雪演奏」 (秋穂地区児童クラブ) 延べ 67名	団体利用 2(延べ21名)
令和 5年 1	19(木)	運営協議会 12名	囲碁将棋定例会 8回 37名
	29(日)	第95回新春囲碁大会 中止	ひまわり会(自彊術) 3回 32名
2	16(木)	職員会議(本所) 5名	囲碁将棋定例会 6回 17名
	25(土)	にこにこキッズ (ストレッチ&ダンス) 16名	ひまわり会(自彊術) 3回 32名
3	24日(金)	消防総合訓練 38名	囲碁将棋定例会 8回 30名 ひまわり会(自彊術) 5回 53名

## ○その他の事業

- ・ 図書の貸し出し ・防災啓発活動(防災教室/年1回・避難訓練/月1回)

### 【成果と課題】

- ・今年度も引き続き、児童館新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに沿い、リスク評価をふまえた上で運営を行った。行事会場には透明フィルムを設置し、参加者に検温・消毒・マスク着用の協力、入れ替え制を導入するなど、中止にすることなくイベントが実施できるよう努めた。囲碁大会は、高齢者の参加が多く飲食も伴うため、同好会の意向により中止となった。
- ・交通の便が悪く、土日は習い事のある子どもが多いため集客に苦慮している。

・未就学児対象の親子参加型イベントがないので、来年度から日曜日に「わくわくランド」を開設する。(平日はすでに周囲の保育園・保健センターなどのサークルがあるため日曜開催)また地域から世代交流事業がないという意見があり、来年度は「まつり」を計画している。地域の団体や個人との繋がりを大切にし、誰もが安心して自由に来館出来る開かれた児童館を目指していきたい。

### 3)放課後児童クラブの運営

\* 受託事業

#### ①小郡児童クラブ事業(小学校1～6年の学童保育)

\* 受託事業

○事業内容:小学校放課後、家庭に保護者がいない児童に遊びや生活の場を与え、健全な育成を図る。

・放課後児童クラブ事業の円滑な運営(支援員42名+補助員18名)

(夏期休業期間に非常勤支援員11名、シルバー人材センター8名増員)

登録学童 290名(5学級)

開設日数	ひまわり学級	290日開設(土曜日49日)	登録学童	60名(3月末39名)
開設日数	ひまわり第2学級	287日開設(土曜日49日)	登録学童	60名(3月末39名)
開設日数	ひまわり第3学級	290日開設(土曜日49日)	登録学童	60名(3月末39名)
開設日数	はちのこ学級	292日開設(土曜日50日)	登録学童	60名(3月末55名)
開設日数	はちのこ第2学級	292日開設(土曜日50日)	登録学童	50名(3月末46名)

#### 各種事業

月	日	曜日	事業内容
4	15	金	・保育開始 ・小郡小学校挨拶(はちのこ・はちのこ第2学級) ・上郷小学校挨拶(ひまわり・ひまわり第2・ひまわり第3学級)
9	20	火	・小郡小学校との連絡会(はちのこ・はちのこ第2学級)
9	22	木	・上郷小学校との連絡会(ひまわり・ひまわり第2・ひまわり第3学級)
11	20	日	・小郡小・上郷小学校区放課後児童クラブ入級説明会
令和5年 3	31	金	・学級別保護者説明会(はちのこ・はちのこ第2学級) ・学級別保護者説明会(ひまわり・ひまわり第2・ひまわり第3学級) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため保護者説明会中止 ・保育終了

#### 【職員の研修関係】

- 5月～6月 放課後児童支援員認定資格研修
- 6月16日(木) 放課後児童健全育成関係職員等初任者研修会
- 9月22日(木) 第1回児童クラブ代表者会議
- 11月10日(木) 放課後児童健全育成関係職員等資質向上研修会
- 令和5年1月18日(水) 教育支援員等研修会
- 2月14日(火)・17日(金) 放課後児童健全育成関係職員等中堅者研修会
- 3月1日(水) 第2回放課後児童クラブ代表者会議
- その他研修会(南部支所衛生委員会・社協職員研修)

## 《成果と課題》

共働き世帯、核家族世帯、ひとり親世帯など本事業の利用を希望される世帯が増えており、放課後、子どもが安心して過ごせる生活の場を提供できるよう支援員、保護者、小学校、地域が連携した学級運営に努めている。今年度も上郷小学校区は待機児童解消となったが、小郡小学校区は通年の待機児童が多く、長期休業期間のみの利用希望もあり、令和5年度以降も対応策を検討する必要がある。

また、引き続き小学校や地域と連携し、児童の安心・安全を見守っていく。

## ②秋穂児童クラブ事業（小学校1～6年の学童保育） \* 受託事業

○事業内容：小学校放課後、家庭に保護者がいない児童に遊びや生活の場を与え、健全な育成を図る。

・児童クラブ事業の円滑な運営（児童厚生員2名＋支援員9名＋補助員2名）

開設日数 秋穂児童にこここ学級 289日開設（土曜日45日）登録学童 36名（3月末32名）

開設日数 大海なかよし学級 288日開設（土曜日50日）登録学童 31名（3月末28名）

### 各種事業

月	日	曜日	事業内容
4	1	金	・保育開始（秋穂児童にこここ学級、大海なかよし学級）
	8	金	・入級式（秋穂児童にこここ学級、大海なかよし学級） ・制作活動（秋穂児童にこここ学級、大海なかよし学級）
5	30	月 月	・制作活動（秋穂児童にこここ学級、大海なかよし学級）
	23・30		・サツマイモの苗植え（秋穂児童にこここ学級） ・運動会振替休日（秋穂児童にこここ学級、大海なかよし学級）
6	20	月	・制作活動（秋穂児童にこここ学級、大海なかよし学級） ・防犯訓練（大海なかよし学級）
7	7・8	木・金	・夏季休業前保護者会（秋穂児童にこここ学級、大海なかよし学級）
			・制作活動（秋穂児童にこここ学級、大海なかよし学級） ・大掃除（秋穂児童にこここ学級、大海なかよし学級）
8	1・8	月	・水遊び（秋穂児童にこここ学級、大海なかよし学級）
	31	水	・制作活動（秋穂児童にこここ学級、大海なかよし学級） ・防災訓練（秋穂児童にこここ学級）
9	15 22 27	木	・制作活動
		木	・夏祭り（秋穂児童にこここ学級、大海なかよし学級）
		火	・火災訓練（秋穂児童にこここ学級） ・にこここコンサート参加（秋穂児童にこここ学級）
10	29 31	土 月	・ハロウィン制作
			・芋ほり（大海なかよし学級） ・ハロウィンパーティー（秋穂児童にこここ学級、大海なかよし学級）
11	10	木	・制作活動（秋穂児童にこここ学級、大海なかよし学級）
	11	金	・芋ほり（秋穂児童にこここ学級）
	18	金	・児童クラブ合同利用説明会（秋穂児童にこここ学級、大海なかよし学級）
12	23 28	金 水	・クリスマス制作（秋穂児童にこここ学級、大海なかよし学級）
			・クリスマス会（秋穂児童にこここ学級、大海なかよし学級） ・大掃除

月	日	曜日	事業内容
令和5年 1月	19	木	・制作活動(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級) ・運営委員会開催
2	3	金	・節分行事(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級) ・制作活動
3	9・10 24	木・金 金	・新年度保護者会(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級) ・お別れ会(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級)

#### 【職員の研修関係】

- ・児童館長、児童厚生員等研修会
- ・放課後児童健全育成関係職員等中堅者職員研修会

#### 《成果と課題》

放課後、子どもが安心して過ごせる生活の場を提供できるよう支援員、保護者、小学校、地域が連携した学級運営に努めている。共働き世帯、核家族世帯、ひとり親世帯など、本事業の利用を希望される世帯が増えている。

開所時間延長事業の利用者が多く、登録児童の4割弱が利用している。

学童内における行事、制作等は、子ども達が何に興味があるのかりサーチし少しでも子ども達が楽しめるような内容のものを考え実践した。

その結果、子ども達も新しいことに取り組んだ喜びと、達成感を味わうことができ、次は何をしたいのか伝えてくるようになった。常に向上心を持ち続け、現状に満足しないように心掛けたい。

### ③阿知須児童クラブ事業(小学校1～6年の学童保育) \* 受託事業

○事業内容:小学校放課後、家庭に保護者がいない児童に遊びや生活の場を与え、健全な育成を図る。

- ・児童クラブ事業の円滑な運営:支援員(嘱託)2名+支援員・補助員31名

(学年始め休業期間に補助員6名増員)

登録学童183名(3学級合計)

開設日数 おひさまクラブ1 289日開設(土曜日48日) 登録学童 55名 (3月末58名)長期保育0名

開設日数 おひさまクラブ2 289日開設(土曜日48日) 登録学童 63名 (3月末68名)長期保育0名

開設日数 井関にこにこクラブ 290日開設(土曜日49日) 登録学童68名 (3月末66名)

#### 各種事業

月	日	曜日	事業内容	
4	1	金	・保育開始	
6	2	木	・梅もぎ(井関にこにこクラブ)	
	10	金	・芋の苗付け(井関にこにこクラブ)	
	15	水	・学校引き渡し訓練に参加(井関にこにこクラブ)	
7	21	木	・避難訓練(おひさまクラブ1・2)	・習字
	26	火	・ネイチャーゲーム(おひさまクラブ1)	・ミニオン製作
	29	金	・フラワーアレンジメント教室(おひさまクラブ2) ・フェルトカバン作り(おひさまクラブ2)	・ビーズ作り ・プラバン作り

月	日	曜日	事業内容
8	1	月	・グッティ工作教室教室(井関にこにこクラブ) ・かき氷(おひさまクラブ2)
	2	火	・フラワーアレンジメント(おひさまクラブ2) ・水でっぼうあそび(おひさまクラブ1)
	3	水	・「おはなしきらきら」本の読み聞かせ(井関にこにこクラブ)
	4	木	・「おはなしきらきら」本の読み聞かせ(おひさまクラブ1・2) ・水でっぼうあそび(おひさまクラブ2)
	5	金	・フェルトカバン作り(おひさまクラブ1)
	10	水	・かき氷(おひさま1)
	18	木	・昔のあそび(おひさまクラブ1)
	22	月	・ネイチャーゲーム(おひさまクラブ2)
	23	火	・フラワーアレンジメント教室(おひさまクラブ1)
	26	金	・昔のあそび(おひさまクラブ2) ・かき氷(おひさまクラブ1)
10	30	火	・お楽しみ会・お店屋さん(おひさまクラブ1・2)
	31	水	・カレーの日
10	18	火	・芋ほり(井関にこにこクラブ)
11	9	水	・焼き芋大会(井関にこにこクラブ)
12	20	火	・クリスマス会(おひさまクラブ1・2)
令和5年 3	4	土	・発表会(井関にこにこクラブ)
	10	金	・新年度説明会(おひさまクラブ1・2)
	17	金	・お店屋さん(おひさまクラブ1・2)
	24	金	・ほっともつと弁当(おひさまクラブ1・2)
	30	木	・お楽しみ会・カレーの日(おひさまクラブ1・2) ・6年生を送る会(井関にこにこクラブ)
	31	金	・お店屋さん(おひさまクラブ1・2)

※毎月・けん玉教室(井関にこにこ)・学校運営協議会(井関にこにこ)

毎月支援員会議(おひさま1・2・井関にこにこ)

[職員の研修関係]

- ・放課後児童健全育成関係職員等初任者研修会 ・放課後児童支援員認定資格研修 ・児童クラブ代表者会議
- ・放課後児童健全育成関係職員等資質向上研修会 ・放課後児童健全育成関係職員等中堅者研修会
- ・教育支援員研修会・子育て情報交換会

<成果と課題>

本年度もコロナウイルス感染拡大の中で感染症の防止対策を日々実践しながらの1年だった。感染予防をしながら、それぞれのクラブで工夫をして行事等にも取り組んできた。来年度は、学校・地域・保護者と連携しながら、子どもたちの放課後を支えていく環境づくりをさらに進めていく。

#### ④徳地児童クラブ事業(小学校1～6年の学童保育) \* 受託事業

○事業内容:小学校放課後、家庭に保護者がいない児童に遊びや生活の場を与え、健全な育成を図る。

- ・放課後児童クラブ事業の円滑な運営(支援員8名、補助員2名)

登録学童 52名(3学級)

開設日数 出雲児童クラブ 254日開設(土曜日14日) 登録学童 24名

開設日数 八坂児童クラブ 281日開設(土曜日39日) 登録学童 16名



開設日数 島地児童クラブ 239日開設(土曜日 1日) 登録学童 12名

月	日	事業内容
4	1	・保育開始
5		・こどもの日のお祝い(島地)
7		・ミニお楽しみ会(島地)
8		・セーフティーセミナー(島地) ・ナンプレ、風船バレー(出雲) ・夏休み5・7・5俳句(出雲)
10		・風船バレーボール大会(出雲)
12	24	・お楽しみ会(島地) ・クリスマス会(出雲・八坂)
令和5年 1		・新年お楽しみ会(八坂) ・鏡開き(出雲)
2	3	・節分(豆まき)(出雲・八坂・島地) ・バレンタインデー(出雲・八坂・島地) ・スピード大会(出雲)
3	3	・おひなさま(島地) ・入級説明会(出雲・八坂・島地) ・お楽しみ会(島地) ・お別れ会(出雲・八坂)

#### 《成果と課題》

放課後、子どもが安心して過ごせる生活の場を提供できるよう支援員、保護者、小学校、地域間で連携した学級運営に努めている。入級児童数は減少傾向であり、約5割が開所時間延長事業を利用している。

今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し、消毒、検温、手洗い、換気等感染症対策に留意した運営に努めた。

また、八坂児童クラブは、小学校敷地内にある建物(旧寄宿舎)の一部を利用しているが、施設が老朽化し防災の面から不安である。

#### ⑤阿東児童クラブ事業(小学校1～6年の学童保育) \* 受託事業

○事業内容: 小学校の放課後や土曜日、学校の長期休業中に、家庭に保護者がいない児童に遊びや生活の場を与え、健全な育成を図る。

徳佐児童クラブ : 開設日数 241日開設 登録学童 14名

さくら児童クラブ : 開設日数 251日開設(内土曜日12日) 登録学童 21名

月	日	行事内容
11	22	徳佐児童クラブ・さくら児童クラブ合同入級説明会

#### 《成果と課題》

共働き世帯、核家族世帯、ひとり親世帯など本事業の利用を希望される世帯に対して、放課後、子どもが安心して過ごせる生活の場を提供できるよう支援員・補助員、保護者、小学校、地域間で連携した学級運営に努めている。

今年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症によるまん延防止措置が出される中、消毒、検温、手洗い、換気等基本的感染症防止対策を鋭意行って運営した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの行事を控えた。今後も子どもたちが安心安全に過ごせるよう配慮する。

## ⑥放課後児童クラブ運営会議

○事業内容：児童クラブ事業推進室が平成31年4月に本会の運営する児童クラブの課題に取り組むため設置された。その課題解決を行う場として放課後児童クラブ運営会議が設置された。

今年度は以下のとおり協議し、課題解決に取り組み、共通認識を図った。

○年間開催回数 6回

開催日	協議内容
4月26日(火)	・放課後児童クラブ事業調整シートについて ・スポーツ安全保険について ・賃金改善手当について ・ドタキャンの取り決めについて ・コロナ費について ・PCR等消耗品購入について
6月27日(月)	・スポーツ安全保険について ・児童クラブの運営について ・児童クラブ職員の働き方の変更について ・クロシオンについて
8月26日(金)	・コロナ感染者の報告について ・おやつ代及び委託費の用途について ・購入伺いについて ・事故発生時の対応について ・ドタキャンの取り決めについて
10月25日(火)	・主任と出張所長との協議の場について ・新任職員へのオリエンテーションについて ・児童クラブと学級の連携について ・9月決算について ・クロシオン管理状況について
12月26日(月)	・学級の運営について ・児童クラブの勘定科目について ・決算について
令和5年2月22日(水)	・前回のふりかえり ・令和5年予算、令和4年決算について ・令和5年度スポーツ安全保険について ・放課後児童クラブ調整シートについて等

### 《成果と課題》

5地区の児童クラブの現状を把握し、昨年度に引き続き本事業の課題とその対応をまとめた事業調整シートをもとに調整できる項目は協議し解決を図った。今後も事業調整シートを基に運営に必要な調整を図っていきたい。

## 4) 子育てサロンの推進

○ふれあい・いきいきサロンの子育てサロンは、現在の登録数が8サロンある。令和2・3年度は高齢者サロンと合同で交流会を開催したが、今年度は、令和元年度のように子育てサロンの担い手同士の交流を目的に交流会を行い、主任児童委員の参加を募ったこともあり、活発な意見交換ができた。

## (2) 母子・寡婦・父子家庭福祉事業の推進

・山口市母子寡婦福祉連合会への支援

## 5 社会福祉法人の地域公益活動の支援と協働

平成30年3月13日に「山口市社会福祉法人地域公益活動推進協議会」の設立総会を行い、同年度から同協議会の取組みをスタートさせた。本会は同協議会の事務局を担っており、市内の社会福祉法人が連携・協働して、地域公益活動に取組み、制度の狭間の福祉課題の解決に向けた協議と仕組みづくりを推進している

### ○山口市社会福祉法人地域公益活動推進協議会事業報告

月	役員及び理事	加入法人全体	各エリア部会他
4月	15日(金) 監査会 監事2名 25日(月) 第1回役員会開催 ・理事6名出席 ・総会について他		27日(水) 第3回華を榮せましょプロジェクト 会議 (回数は前年度から継続)
5月		25日(水)総会 ・17法人30名出席 (内2名 オンライン) 記念講演 草平名誉教授	17日(火) 第1回南部エリア部会
6月			13日(月) 第4回華を榮せましょプロジェクト 会議 28日(火) 第1回北部エリア部会
7月	26日(火) 第2回役員会 ・理事5名出席 ・研修会について他		7日(木) 第1回中央部エリア部会 28日(木) 第2回南部エリア部会
8月		25日(木)第1回研修会 ・16法人31名出席 (内14名 オンライン) ・「災害時の活動について」	2日(火) 第2回北部エリア部会
9月			9日(金) 第3回北部エリア部会 12日(月) 第5回華を榮せましょプロジェクト 会議
10月	25日(火) 第3回役員会開催 ・理事6名出席 ・第2回全体研修会について他		30日(日) 中央部エリア部会 親子バスツアー
11月		29日(火) 第2回全体研修会 ・15法人24名出席 ・「各法人の公益活動について」	16日(水)18日(金) 南部エリア部会情報伝達訓練 29日(火) 第2回中央部エリア部会 30日(水) 第6回華を榮せましょプロジェクト 会議
12月			15日(木)16日(金) 南部エリア部会情報伝達訓練

月	役員及び理事	加入法人全体	各エリア部会他
令和5年 1月	24日(火) 第4回役員会開催 ・理事6名出席予定 ・次年度事業計画(案)他		19日(木) 第4回北部エリア部会
2月		20日(月) 第3回全体研修会「ふくまる相談 室とひきこもり支援について」 14法人26名出席 (内オンライン9名)	
3月	20日(月) 第5回役員会 ・理事7名出席 ・次年度事業計画(案)他		13日(月) 第3回中央部エリア部会 第1回種をまきますプロジェクト 28日(火) 第3回南部エリア部会

### 《成果と課題》

令和3年度から中学校の学習指導要領改訂により、介護の授業が導入されるにあたり、市介護保険課から委託事業として、「介護体験事業」を受託し、令和4年度は市内9中学校に対し、8法人の職員が講師として、講義と体験学習を実施した。また、同様に小学校へも加入法人が中心になり、22校に対し、8法人が講師として福祉教育を実施している。今後、大規模校の実施や障がいや児童等の他分野まで広げていくのが、課題となる。

また、ひきこもりや生活困窮者、刑余者等の取り組みについては、プロジェクトチームを立ち上げ、パーソナルサポートセンターの協力により試験的に取り組み、令和5年度からの本格実施に向けての準備とした。

ここ数年の課題となっていた広報については、プロジェクトチームを立ち上げ、ホームページの立ち上げに向けた協議を始めている。

事業の検討及び実施する主体として、各エリア部会で各部会長を中心に事業実施に向けた協議を行ったが、事業に関しては新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベント等の事業は中止した。また、事業実施に向けた協議を重ねる中で、法人間のネットワークづくりや情報交換につながっている。さらに、コロナ禍での事業継続等のため、オンライン研修会を2回実施した。オンラインであれば、旅費等もかけずに全国的にも先進的な活動に取り組む方々の話も聞くことができるため、積極的に活用していきたい。

今後の課題は、事業実施のための予算確保、実施に向けた仕組みづくり、社会福祉法人の事業活動の更なる周知啓発など多岐にわたる。

## 6 地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業の充実

### (1) 利用者保護支援事業の推進

#### 1) 地域福祉権利擁護事業の実施

認知症、知的障がいや精神障がい等の理由により、判断能力が十分でない方々の生活を支援する地域福祉権利擁護事業は、開始以来23年6箇月が経過し、本会が事業推進を担っている。

#### ○新規相談件数

類型	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
件数	23	12	12	22	69

○延べ相談及び援助件数

類型	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
件数	771	1,274	1,598	313	3,956

○新規契約件数

類型	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
件数	13	4	10	4	31

○解約件数

類型	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
件数	9	3	9	1	22

○解約理由

理由	成年後見	施設管理	本人管理	親族管理	本人死亡	その他	合計
件数	7	1	1	2	9	2	22

○利用者数(令和5年3月末現在)

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
合計	43	45	62	13	163

○研修並びに会議等

研修会講師派遣 7月27日 山口市民児協ブロック研修 北部エリア 地域福祉権利擁護事業について

7月29日 山口市民児協ブロック研修 北部エリア 同上

9月8日 川西地域包括支援センター圏域地域ケア会議 同上

11月2日 小鯖地区福祉員協議会 地域福祉権利擁護事業と成年後見制度について

推進員・生活支援員合同研修会 0回

県社協現物調査 令和4年度より隔年実施となり、本会は令和5年度実施予定

○生活支援員人数 11名 (実活動人数11名)

《成果と課題》

新規契約件数は昨年度から11件増加し31件であった。昨年度と同様、利用者の判断能力の低下などの状況を踏まえて適宜成年後見制度への移行支援を実施し、解約件数22件の内7件が成年後見制度へつながった。今後も事業利用者の思いを大切にしつつ、関係機関と円滑に連携を図り適切な支援に努める。

一方で、事業利用者が自身で契約したスマートフォンなどによるキャッシュレス決済で収支バランスが崩れることもあり、支援する上での課題となっている。

2) 法人成年後見事業の実施

平成25年度に山口家庭裁判所へ登録申請を行い、法人後見人等候補者名簿への登録が平成26年度6月に完了した。令和5年3月末現在で8件を受任(4件終了)している。

○法人成年後見受任状況

No.	性別	受任時期	類型	申立人	生活場所	備考
1	男性	H27.1 審判	後見	親族(子)	在宅	終了
2	女性	H27.3 審判	後見	山口市長	施設	終了
3	女性	H28.7 審判	後見	山口市長	病院	受任中
4	男性	H30.9 審判	後見	後見人	在宅	終了
5	女性	R2.9 審判	後見	山口市長	在宅	終了
6	女性	R3.12 審判	後見	山口市長	病院	受任中
7	男性	R4.2 審判	後見	家庭裁判所	施設	受任中

No.	性別	受任時期	類型	申立人	生活場所	備考
8	女性	R4.3 審判	保佐	本人	在宅	受任中

### 《成果と課題》

本会としては法人成年後見の受任を開始して8年が経過し、山口市は成年後見制度利用促進基本計画を策定し、本格的に権利擁護のネットワークが構築されることが期待される。そのような中、地域福祉権利擁護事業利用者の中で成年後見制度へ7件移行した。本会の受任件数は3件で、新規受任件数は0件であった。今後は計画的に受任を検討し、両制度を適切に利用できる仕組みづくりを進めていく。

## 7 法律相談や貸付相談等の生活支援事業の推進

### (1) 生活相談事業の効果的・効率的な運営

#### 1) 法律相談の実施

○相談日：毎月第1水曜日(北部支所エリア)と第3水曜日(南部支所エリア)

○相談時間：午後1時30分から午後3時30分まで(1日4件：1件30分以内)

相談事項		件数	相談事項		件数
家事	離婚	7	不動産	土地建物登記請求	1
	遺言相続・遺産分割	25		賃貸借・売買紛争	1
	その他	2		境界・相隣関係の紛争	1
損害賠償請求		2		土地・建物明渡	0
債権・債務		5		不動産売買	0
労働		0		その他	4
その他		11		合計	

### 《成果と課題》

市民の抱える法律的諸問題に、弁護士による専門的な立場から指導・助言が行われた。

本年度の開催においては、予約が入らなかった2回を除き、予定どおり開催することが出来た。相談件数はやや減少した。

#### 2) お元気コールの実施

○事業内容：ひとり暮らし高齢者の希望者に対し、電話による声の訪問を実施

○実施頻度：利用者に応じて週1回・月2回・月1回の実施

○利用者数： 10世帯 (開始件数0 休止件数 0 廃止件数4)

### 《成果と課題》

定期的な声の訪問により、利用者の「安全・安否の確認」や「健康状態の確認」、「精神的ケア」を図るとともに、通話中に発見した福祉ニーズ(困りごと)を関係機関へ繋ぎ、問題の早期解決に役立っている。

今後、緊急時対応等についても関係機関と協議する必要がある。

### (2) 各種資金の貸付相談窓口の開設

他機関から借入れが困難な失業者世帯や低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者世帯を対象に総合支援資金や教育支援資金等の生活福祉資金貸付制度及び法外援護資金について、相談対応と貸付等を行った。

各種資金の貸付相談窓口		相談件数	貸付決定件数
1	生活福祉資金貸付〔特例含む〕 (総合支援資金・福祉資金・教育支援資金・不動産担保型生活資金・臨時特例つなぎ資金)	589	137
2	不良債権の督促指導(面接及び督促)	0	—
3	法外援護資金の貸付	75	29
4	食糧支援の実施	27	27
5	高額介護サービス費つなぎ資金貸付	0	0
6	生活安定対策資金の貸付	0	0
7	その他	127	—
合 計		818	193

※(償還指導): 山口県社会福祉協議会の貸付金については、山口県社会福祉協議会より直接郵送等で償還指導している。本会の法外援護資金については、本会より年2回郵送にて償還指導している。

### 《成果と課題》

本年度は、新型コロナウイルス感染症対策の特例緊急小口資金等の相談と生活困窮世帯を中心に、延べ818件の相談と193件の貸付件数があった。資金の貸付に限らず、必要に応じて食糧等の現物支給も実施した。

今後も、生活困窮者自立支援事業実施機関をはじめとして関係機関と連携を密にし、具体的な支援を行い、生活困窮者の自立促進を図っていく。

### (3) 歳末たすけあい配分金の効果的運用

(単位:円)

No.	配分対象又は事業名	算出基準	件数	配分額
1	88歳以上の見守りが必要なひとり暮らし高齢者	1名当たり物品950円	950名	950,000
2	当年度末に児童養護施設を就職・進学等で退所する児童	1名当たり 上限70,000円	8名	560,000
3	市社協登録子育てサロン	上限15,000円	4サロン	60,000
4	地域住民のつながりを構築するための活動・行事(地区社協)	上限30,000円	8地区社協	205,200
5	ひとり親(母子父子等)世帯で、満18歳未満の子どもがいる非課税世帯	世帯当り 10,000円	65世帯	650,000
6	障害者手帳を所持している非課税世帯	世帯当り 10,000円	197世帯	1,970,000
7	要介護3・4・5の認定を受けている方がいる非課税世帯	世帯当り 10,000円	23世帯	230,000
8	生活困窮世帯	世帯当り 10,000円 世帯員1名増ごとに 3,000円加算	105世帯	1,704,000
9	あったか相談会(生活困窮者等相談会)	会場費・食料支援 相談件数	100件 37件	484,595
10	罹災世帯	全焼・半焼1件当り 20,000円	6件	80,000
11	地域と交流授業を行う児童福祉施設や障がい児通所施設等	上限40,000円	4施設	199,600

No.	配分対象又は事業名	算出基準	件数	配分額
12	地区社協広報支援事業	地区社協だより発行 1回分 (上限40,000円)	21地区社協	795,522
13	市社協広報啓発	社協だより発行の一部	4回	850,000
14	歳末活動費	消耗品費・通信運搬費		280,198
15	令和5年度地域福祉活動事業費			2,107,323
	合計			11,112,188

### 《成果と課題》

事業内容や配分対象者などは、地域課題に沿った活用しやすいものであるか、毎年、山口市共同募金委員会運営委員会や本会共同募金担当者会議などで協議を行い内容の見直しを行っている。また、各地区社会福祉協議会へ巡回訪問時に意見を聞くなどして地区社協の意見も取り入れるように極力改善に取り組んだ。

しかし、地域によって求められる内容が異なるなど、全地区統一配分事業の見直しを行うことが適当か判断が難しい事業もあり、令和5年度も引き続き内容を精査し、地域課題解決につながるものであるか内容を改めて検討していく。

## 8 介護保険法関連事業及び障害者総合支援法に基づくサービス事業の推進

### (1) 高齢者福祉の推進

#### 1) 介護サービス相談員派遣事業の実施

\* 受託事業

##### ○介護相談員派遣等事業内容

介護サービス相談員が介護サービス提供事業所等に出向いて、利用者またはその家族から介護サービスに関する不安や不満、疑問等を聞き苦情申し立てなどに至る前に、サービス提供事業所と利用者との橋渡し役として問題の改善やサービスの質向上、利用者の自立した日常生活の実現を図ることを目的としている。

##### ○実施対象の介護サービス

- ①施設サービス： 介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院
- ②居宅サービス： 特定施設入居者生活介護（介護予防）  
通所介護、通所リハビリテーション（介護予防）  
短期入所生活介護（介護予防）、短期入所療養介護（介護予防）
- ③地域密着型サービス： 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）  
認知症対応型通所介護（介護予防）  
地域密着型通所介護  
総合事業通所型サービス  
小規模多機能型居宅介護（介護予防）  
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
- ④特定施設入居者生活介護： 有料老人ホーム（介護付き・住宅型）  
サービス付き高齢者向け住宅



## ○事業実施範囲と実施事業所数

山口市内の事業所 94箇所 (令和3年度は70箇所)

## ○事業実施結果

〈介護相談内容〉

内 容	件数	内 容	件数
入所・退所・利用料金	4	その他のサービス	0
設備・備品	0	介護保険料	0
食事・嗜好	8	利用料	1
トイレ・排泄	0	給付内容	1
入浴・清潔	2	その他の介護保険	5
趣味・娯楽	11	医療保険制度	0
人間関係・プライバシー	5	老人福祉制度	0
施設・職員の対応	9	老人保健制度	0
健康・医療・リハビリ	51	病気・健康管理	1
移動・送迎	2	家族問題	3
安全管理	0	その他	11
拘束	0	合 計	114

内 容	件数
気付き	58
実相談数	111
利用者数	2,569

### 《成果と課題》

122事業所訪問の予定をしていたが、コロナ感染症防止のため28事業所が中止になり94事業所になった。そのうち介護保険外の有料施設への訪問は4事業所であった。7月からは感染が拡大したことにより、予防や確認のため介護サービス相談員の抗原検査を行い訪問した。

令和5年度の訪問予定事業所は118事業所(有料施設は3事業所)の予定である。

課題としては、引続き介護サービス相談員の健康管理の徹底、前年度の相談者が気になった点の改善、サービスでの変化を重点的に観察し記入する報告書のレベルアップなどである。また、介護相談を行う時間が短縮している中で、いかに利用者の声を拾うか相談員自身の資質の向上も必要である。

介護保険外の有料施設にも本事業についてより広く周知し、各事業所との良好な関係性を保てるよう努力していき、以前の活動内容に戻していきたい。

## 2)居宅介護支援事業の実施

### 1. 南部指定居宅介護支援事業所

月	ケアプラン(件数)		月	ケアプラン(件数)	
	介護保険	介護予防		介護保険	介護予防
4	116件	2件	10	113件	1件
5	121件	2件	11	111件	1件
6	119件	2件	12	108件	1件
7	116件	1件	令和5.1	107件	1件

月	ケアプラン(件数)		月	ケアプラン(件数)	
	介護保険	介護予防		介護保険	介護予防
8	113件	1件	2	109件	0件
9	113件	1件	3	112件	0件
合 計				1,358件	13件

### 《成果と課題》

今年度も、新型コロナウイルス感染症防止対策を取りながら、利用者の支援を行った。件数に関しては、前年度とほとんど変わらなかったが、年度後半は、新規件数が減っている。利用者から選ばれる事業所となるように質の向上に努めていきたい。また、今年度は、山口市による運営指導、ケアプラン点検を受けた。運営指導は、指摘事項はなく、概ね良好と認められた。ケアプラン点検は、利用者にとって必要とするサービスを提供するケアプランになっているかを確認、検証が行われ、ケアプラン作成に当たっての細かな助言を受けたので、今後のケアプラン作成に活かしていきたい。

### ②あとう居宅介護支援事業所

月	ケアプラン(件数)		月	ケアプラン(件数)	
	介護保険	介護予防		介護保険	介護予防
4	121件	0件	10	119件	0件
5	123件	0件	11	110件	0件
6	122件	0件	12	110件	0件
7	119件	0件	令和4、1	113件	0件
8	115件	0件	2	112件	0件
9	118件	0件	3	117件	0件
合 計				1,399件	0件

### 《成果と課題》

退職した職員の後任の介護支援専門員が新たに採用出来たことは、大きな成果である。

今年も研修会はオンライン研修が圧倒的に多かったが、令和5年度からは集合型に切り替わっていくと思われ、積極的に参加することで、自分たちのスキルアップを図りたい。

今年度は利用者数が減っているが、介護保険を申請した時から状態が良くない人や在宅では生活が困難な人があり、また、担当する期間が短いケースや家族とのやり取りが難しい場合もあって対応に苦慮したケースも多かった。

今後も対応が困難なケースについては、情報共有を図りながら丁寧な対応を心掛けたい。

## 3) 訪問介護事業の実施

### ○サービス利用者数

	サービス内容				
	延べ利用者数	身体介護	身体生活介護	生活援助	総合支援事業
阿東	458名	1,784時間	2,827時間	684時間	125名
南部	618名	3,512時間	774時間	596時間	348名
合計	1,076名	5,296時間	3,601時間	1,280時間	473名

## 《成果と課題》

昨年度と比べ、全体的には利用者数、介護の提供時間ともに減少している。

南部訪問介護事業所では、昨年度同様新型コロナウイルスの感染予防対策を徹底し訪問を行った。新規の訪問依頼があっても、職員数の減少や職員の高齢化等に伴い、受け入れが困難な状況が続いている。

あとう訪問介護事業所は、職員の増員があったが、提供時間の増加には至らなかった。令和5年3月は利用者数の急増と職員の家族の新生活が重なり、やむを得ず訪問日時の変更や訪問中止をお願いすることがあった。また、職員や利用者が新型コロナウイルスに罹患したが、初動を早め介護支援専門員と連携し、感染の可能性がある方の情報提供等を行い二次感染を防ぎながら事業継続を行った。令和5年度は、臨時職員の退職により、職員数が減少するが、一人でも多くの利用者を受け入れられるよう、介護支援専門員と連携し、訪問内容や訪問時間の調整をしっかりと行いたい。

## 4) 訪問看護事業の実施

○対象地域 阿東地域

月	介護保険		介護予防		医療保険	
	利用者	訪問回数	利用者	訪問回数	利用者	訪問回数
4	55名	249回	11名	411回	12名	77回
5	56名	257回	12名	42回	12名	96回
6	57名	296回	13名	55回	12名	81回
7	56名	279回	13名	54回	12名	61回
8	55名	299回	13名	56回	12名	68回
9	55名	284回	14名	51回	11名	67回
10	49名	221回	14名	56回	11名	64回
11	45名	196回	15名	68回	11名	66回
12	46名	194回	13名	53回	12名	76回
令和5, 1	42名	198回	12名	46回	12名	61回
2	43名	209回	12名	45回	8名	37回
3	49名	239回	12名	49回	11名	83回
合計	608名	2,921回	154名	616回	136名	837回

## 《成果と課題》

本年度は6月に看護師1名が新規採用となり6名体制でサービスを行った。

昨年と比べ、全体的に利用者、訪問回数ともに減少している。内訳としては、介護予防は利用者、訪問回数ともに微増したが、介護保険は利用者が大幅に減少し、訪問回数も減少した。医療保険は点滴・処置等の一時的な指示での訪問で、短期間で終了することが多かった。頻回に利用されていた利用者等の入院やサービス終了が重なることもあり、年間を通しての利用者・訪問回数は減少となった。新型コロナウイルス感染者宅への訪問も数件行った。令和5年5月からは新型コロナウイルスが5類に引き下げられるが、今後も感染予防対策を取りながらサービスを継続する。

阿東地域は高齢者が多く、在宅介護は増加している。住み慣れた自宅で安心して過ごすことができるように支援するためにも、職員一人一人のスキルアップを図り、在宅医療ニーズ等の増加に対応できるようにしたい。

## 5) 山口市川西地域包括支援センターの運営

\* 受託事業

### 1 ネットワークの構築

出席数

#### ① 包括ケア会議出席状況

個別ケア会議	9回	
地域別ケア会議	1回	
住民主体会議	28回	
地域包括支援センター連絡会議	12回	
ネットワーク構築のための会議	21回	
内訳	(1)民生委員児童委員協議会	12回
	(2)福祉員会	0回
	(3)地域密着型サービス運営推進会議	7回
	(4)居宅部会等介護支援専門員関係	2回
	(5)地区社会福祉協議会理事会等	0回

### 2 総合相談・支援業務

総合相談への対応状況(業務区分のその他を除く)

(件数)

電話	実件数	343件
	延件数	609件
来所	実件数	274件
	延件数	359件
訪問	実件数	151件
	延件数	251件
文書・Eメール	実件数	1件
	延件数	1件
その他	実件数	8件
	延件数	15件
合計	実件数	777件
	延件数	1,235件
夜間・土・日・祝日		72件

相談内容

(延件数)

介護予防	64件
生活支援	381件
虐待	10件
認知症	131件
介護保険	534件
閉じこもり	5件
緩和ケア	4件
総合事業	9件
障害者自立支援	5件
その他	131件
合計	1,274件

### 3 権利擁護業務

・権利擁護への対応

(延件数)

地域福祉権利擁護事業に向けての支援	30件
成年後見制度利用に向けての支援	19件
消費者被害に対する支援	3件
措置入所に対する支援	2件

### 4 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

(延件数)

介護支援専門員への個別相談	22件
---------------	-----

### 5 介護予防業務実施状況

(実件数)

介護予防出張講座	3件
----------	----

## 6 指定介護予防支援業務

介護予防支援業務

予防給付プラン作成件数

(件数)

(開催数)

年間給付管理件数	2,545件
新規作成件数	77件

サービス担当者会議	243回
-----------	------

\* 介護予防支援業務に関する研修会への協力

## 7 その他

(実施回数)

広報活動(地域包括支援センターに関するPR等)	12回
-------------------------	-----

## 8 認知症地域支援推進員

### ■認知症対応力向上のための支援

介護支援専門員からの相談、支援	2回
認知症カフェとの連携	7回
地域団体との連携(認知症啓発等)	3回
キャラバンメイトとの連携	2回

### ■認知症予防・普及啓発

(実施回数)

認知症サポーター養成講座	2回
介護予防講座、調整	2回
図書館等公共施設との連携	6回
福祉用具事業所との連携	6回
放課後児童クラブとの連携	2回

### ■相談支援・支援体制構築

相談への対応状況(業務区分のその他を除く)

(件数)

電話	実件数	55件
	延件数	119件
来所	実件数	32件
	延件数	47件
訪問	実件数	38件
	延件数	57件
その他	実件数	2件

広報活動(認知症地域支援推進員に関するPR)	6回
------------------------	----

## 9 生活支援コーディネーター(第2層)

### ■地域組織からのニーズ把握の実績

主催者団体名	内容 (聞き取り方法・参加会議名等)	内訳		
		訪問	参加	その他
おごおり地域づくり協議会 (地域福祉部会)	会議参加		11回	
小郡地区民生委員児童委員協議会	事前打ち合わせ会議、会議 参加、アンケート実施		4回	2回
老人クラブ連合会小郡支部	福祉奉仕部会 会議参加		1回	
自立支援型地域ケア会議	会議参加		17回	

■地域資源の把握に関する実績

実態把握を行った対象事業所・地域団体・企業等	内訳		
	訪問	参加	その他
地域住民等		4回	6回
いきいき百歳体操グループ		24回	19回
趣味サークル活動	2回	2回	2回
商店等	7回		5回
地域の企業等			1回
認知症カフェ	6回		
介護保険施設等	2回		3回
地域団体		2回	3回
地域の情報等	4回		

■不足する生活支援サービス等の把握や創出に関する実績

実態把握等を行った対象事業所・地域団体・企業等	内訳		
	協議	訪問・参加	その他
山口市老人クラブ連合会関係者	6回	2回	1回
小郡地域支え合い活動委員会	3回		
自治会		1回	
ふれあい・いきいきサロン		4回	
移動販売			3回
地域づくり協議会	11回		
地域住民団体		1回	

■生活支援の立ち上げ支援に関する実績

地域	支援した相手	訪問回数
小郡	小郡地域支え合い活動委員会	3回
小郡	明治北いきいき百歳体操	4回

■協議体設置及び運営に関する活動実績

協議体名	回数
小郡地区第2層協議体 (地域支え合い活動委員会)	7回
東津総区 支え合い活動会議	1回
小郡地区社会福祉協議会 福祉部会	2回
おごおり地域づくり協議会	1回

広報活動(生活支援コーディネーターに関するPR)	30回
--------------------------	-----

個別ケースの同行訪問: 22件(情報提供: 18件、マッチング5件)

個別ニーズと取り組みのマッチング: 居宅介護支援事業所からの相談(情報提供: 2件、マッチング1件)

《成果と課題》

本センターは、令和4年度の川西圏域の二分轄により、小郡地区のみとなり、地区内の関係機関や関係団体等と今まで以上に密接な連携を行った。相談に対しては、介護保険サービスありきではなく、地域の社会資源の活用、自立支援の視点も含めて支援を行った。また、市老人クラブ連合会小郡支部が進める、地域の支え合い活動の仕組みづくりについて、地区民生委員児童委員協議会と協働し高齢者のニーズ調査を行った。

地区民生委員、弁護士、司法書士、市社会福祉協議会権利擁護事業担当者、介護支援専門員と判断能力が低下した方への支援と連携についてや、地域の困りごとの対応について情報交換を行い、お互いの役割について理解した。このような地域ケア会議等を継続して開催してきたことにより、地域住民や民生委員・児童委員、老人クラブ、弁護士、司法書士、薬剤師会、NPO法人、介護支援専門員等から、お互いに顔の見える関係が築けたことで話がしやすくなり、気になる高齢者の情報共有がしやすくなったとの声があった。

高齢や地域状況により買い物が難しくなっているという相談に対し、生活支援コーディネーターが中心となり、移動販売等の調整を行った。

更に、やまぐち「まちの福祉相談室」が、令和5年4月から併設となるため、3月から開設にむけての準備に取り掛かった。

今後の課題として、訪問介護事業所等のヘルパーの人材不足により、買い物や調理、掃除、ゴミ捨て等の対応が難しくなっている中で、地域の高齢者等が抱える地域課題解決を地域でどのように取り組んでいくか地域の方と一緒に検討していく必要がある。

## 6) 山口市川西第2地域包括支援センターの運営

\* 受託事業

### 1 ネットワークの構築

#### ① 包括ケア会議出席状況

(出席数)

個別ケア会議	20回	
地域別ケア会議	17回	
住民主体会議	1回	
地域包括支援センター連絡会議	12回	
ネットワーク構築のための会議	72回	
内訳	(1)民生委員・児童委員協議会	39回
	(2)福祉員会	13回
	(3)地域密着型サービス運営推進会議	6回
	(4)居宅部会等介護支援専門員関係	6回
	(5)地区社会福祉協議会理事会等	8回

### 2 総合相談・支援業務

総合相談への対応状況(業務区分のその他を除く)

(件数)

電話	実件数	157件
	延件数	605件
来所	実件数	36件
	延件数	80件
訪問	実件数	76件
	延件数	299件
文書・Eメール	実件数	1件
	延件数	2件
その他	実件数	5件
	延件数	15件
合計	実件数	275件
	延件数	985件
夜間・土・日・祝日		75件

相談内容

(延件数)

介護予防	65件
生活支援	256件
虐待	18件
認知症	142件
介護保険	372件
閉じこもり	5件
緩和ケア	8件
総合事業	7件
障害者自立支援	1件
その他	255件
合計	1,129件

### 3 権利擁護業務

・権利擁護への対応 (延件数)

地域福祉権利擁護事業に向けての支援	2件
成年後見制度利用に向けての支援	3件
消費者被害に対する支援	1件
措置入所に対する支援	0件

### 4 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 (延件数)

介護支援専門員への個別相談	25件
---------------	-----

### 5 介護予防業務実施状況 (実件数)

介護予防出張講座	2件
----------	----

### 6 指定介護予防支援業務

介護予防支援業務

予防給付プラン作成件数 (件数)

年間給付管理件数	3,033件
新規作成件数	78件

(開催数)

サービス担当者会議	258回
-----------	------

\* 介護予防支援業務に関する研修会への協力

### 7 その他 (実施回数)

広報活動(地域包括支援センターに関するPR等)	12回
-------------------------	-----

### 8 認知症地域支援推進員

#### ■認知症対応力向上のための支援

介護支援専門員からの相談、支援	5回
認知症カフェとの連携	2回
地域団体との連携(認知症啓発等)	4回
キャラバンメイトとの連携	2回

#### ■認知症予防・普及啓発 (実施回数)

認知症サポーター養成講座	2回
図書館等公共施設との連携	4回
福祉用具事業所との連携	1回

#### ■相談支援・支援体制構築

相談への対応状況(業務区分のその他を除く) (件数)

電話	実件数	29件
	延件数	90件
来所	実件数	5件
	延件数	10件
訪問	実件数	13件
	延件数	39件
その他	実件数	0件



広報活動(認知症地域支援推進員に関するPR)	7回
------------------------	----

## 9 生活支援コーディネーター(第2層)

### ■地域組織からのニーズ把握の実績

主催者団体名	内容 (聞き取り方法・参加会議名等)	内訳		
		訪問	参加	その他
嘉川地区社会福祉協議会	地域課題の聞き取り訪問同行	1回		
嘉川地区社会福祉協議会理事会	会議参加・課題の聞き取り等		8回	
嘉川地区民生委員児童委員協議会	会議参加		12回	
嘉川地区福祉員協議会	会議参加		6回	
佐山地区社会福祉協議会	地域課題の聞き取り訪問同行	1回		
佐山地区民生委員児童委員協議会	会議参加・課題の聞き取り等		10回	
佐山地区福祉員協議会	会議参加		2回	
阿知須地区社会福祉協議会	地域課題の聞き取り訪問同行	1回		
阿知須地区民生委員児童委員協議会	会議参加・課題の聞き取り等		16回	
阿知須地区社会福祉協議会	個別情報交換会		4回	
阿知須地区社会福祉協議会、阿知須地区民生委員児童委員協議会、NPO法人山口ヘルスプロモーションネットワーク	アンケート実施のための連絡調整、会議出席、アンケート実施、情報交換		1回	1回
自立支援型地域ケア会議	会議参加		17回	

### ■地域資源の把握に関する実績

実態把握を行った対象事業所・地域団体・企業等	内訳		
	訪問	参加	その他
地域住民(民生委員)		28回	
百歳体操グループ		31回	
趣味サークル(個人)	1回		
商店等(飲食店、クリーニング店、リハビリ施設)	3回		
地域の企業(駅、ホール、百貨店、郵便局、はんど)	4回		1回
介護支援専門員			1回

### ■不足する生活支援サービス等の把握や創出に関する実績

実態把握等を行った対象事業所・地域団体・企業等	内訳		
	協議	訪問・参加	その他
自治会関係者	1回		1回
ふれあい・いきいきサロン		1回	1回
介護支援専門員	1回		
一般社団法人	3回	1回	
地域づくり協議会			1回
地域住民団体		1回	1回

### ■生活支援サービスの立ち上げ支援に関する実績

地域	支援した相手	訪問回数
嘉川	免地にこにこ会	3回

■協議体設置及び運営に関する活動実績

協議体名	回数
阿知須地区第2層協議体	2回
佐山地区第2層協議体	1回
広報活動(生活支援コーディネーターに関するPR)	10回

《成果と課題》

令和4年4月から、川西第2地域包括支援センター(担当:嘉川、佐山、阿知須)を、阿知須地区の元気ハウスに開設した。新規増設した川西第2地域包括支援センターの周知を図るため、地区行事や会議に参加しPRを積極的に行い、地区の広報紙への掲載などで啓発活動に取り組んだ。

認知症関係については、9月のアルツハイマー月間に合わせて、阿知須図書館や地域交流センターなどで認知症に関する書籍やチラシ等を展示し、川西第2地域包括支援センター周辺ではオレンジガーデンを造り、認知症のシンボルカラーで知識の普及啓発を行った。幅広い年齢を対象に広げ、認知症サポーター養成講座を佐山小学校で実施した。また、認知症カフェ未設置地区への働きかけを行い、令和5年4月には佐山地区に認知症カフェが開設する運びとなった。

高齢者等の相談も多種多様な相談が増えてきている。令和5年4月からは、やまぐち「まちの福祉相談室」が併設にて開設され、3月からその準備に取り掛かり、年齢や属性を問わず、気軽に相談してもらえる総合相談窓口としての機能を充実させていく。今後は、多機関連携や支援をより一層強化し、様々な関係機関との連携や相談支援体制の構築が望まれる。

7) 徳地教室型運動ショートプログラム(A-③)の実施

\* 受託事業

介護予防・日常生活支援総合事業により徳地教室型運動ショートプログラムを3会場で実施した。

○出雲地区

会場	徳地保健センター(～11月7日) あったかプラザ(11月14日～)
日時	毎週1回(月曜日)午後2時～4時
参加人数	3名
参加延人数	26名

○八坂地区

会場	徳地地域交流センター八坂分館
日時	毎週1回(水曜日)午後2時～4時
参加人数	2名
参加延人数	24名

○島地・串地区

会場	徳地地域交流センター島地分館
日時	毎週1回(金曜日)午後2時～4時
参加人数	1名
参加延人数	7名

## 《成果と課題》

体操やレクリエーションを継続することにより、介護予防についての意識が向上し体力の維持ができています。一方で、「事業対象基準が厳しいこと」や「事業実施期間が12回クールと短期間である」という課題もあった。

参加対象者の減少や財務状況を踏まえ、令和4年度をもって山口市からの受託を終了するものとし、令和5年3月1日(水)を最後にその業務を終えた。

### 8) 介護予防・日常生活支援総合事業の実施

### ※補助事業

#### ①徳地元気いきいきひろば設置運営事業

○事業内容:高齢者の閉じこもり防止や生きがいづくり、体力の維持・改善を目的として、健康チェック及び健康相談、体操やレクリエーション等を行う。

○対象地区:出雲地区、八坂地区、島地・串地区

○開催数:142回開催

○延べ人数:715名

## 《成果と課題》

やまぐち元気アップ体操やからだと頭を使うレクリエーションを取り入れ、身体機能の改善や認知症予防につながっている。一方で、「利用者の固定化」や「既存の利用者の高齢化による身体機能の低下」という課題があった。

本事業の今後の方向性について、昨年度からの関係団体との協議の結果、令和4年度をもって山口市社会福祉協議会としての設置運営を終了するものとし、令和5年3月27日(月)を最後にその業務を終えた。

既存の利用者については、地域包括支援センターやケアマネジャーがデイサービスや地元の百歳体操等への転換を促すこととしている。なお、来年度は八坂地区で住民主体の団体が本事業の新規立ち上げを予定しているため、本会で可能な支援をしていく予定である。

## (2) 障がい者福祉の推進

### 1) 社会福祉センターしらさぎ会館の運営

障がい者及び福祉団体の活動の拠点であるしらさぎ会館は、障がい者団体等と連絡を取りながら、障がい者が気軽に集うことができる開かれた施設を目指して運営を行っている。

障がい者の自立した社会生活の実現のため、引き続き、地域活動支援センターⅡ型事業、手話通訳者設置事業、手話通訳者等派遣事業、要約筆記者派遣事業を実施し、各事業担当者が連携して支援できるよう情報共有に努めた。また、意思疎通支援事業の遠隔サービス実施環境を活用したビデオ通話事業(テレビ電話サービス)の開始により、これを活用することで、より一層各事業担当者間の連携並びに利用者への丁寧な対応に繋げることができた。

新型コロナウイルス感染対策の徹底や、リモートの活用呼びかけなどを継続する中、会館利用団体においては、ZOOMによる会議の実施など新しい生活様式に即した会館利用の定着とともに、実施事業において利用者のニーズ把握と迅速で丁寧な対応に努めることで、コロナ禍により中断していた事業の再開もあり、昨年を大きく超える利用があった。

#### 【しらさぎ会館利用状況】

種 別	件 数	人 数
会館事業	562件	3,416名
障がい者団体	60件	497名
福祉団体	590件	5,769名
その他	19件	158名
合 計	1,231件	9,840名

## 【しらさぎ会館事業及び活動状況】

事業名	年間合計数	
地域活動支援センターⅡ型事業	開設日数	226日
	延べ利用者数	2,509名
手話通訳者設置事業	延べ通訳者・支援者数	903名
手話通訳者等派遣事業	延べ派遣者数	1,241名
要約筆記者派遣事業	延べ派遣者数	549名

## 【全館事業】

### 《地域生活支援事業》

#### ① 地域活動支援センターⅡ型事業

事業内容は、創作的活動及び生産活動の機会の提供、社会との交流に関する基礎的事業、地域において雇用・就労が困難な在宅障がい者に対する機能訓練・社会適応訓練・送迎支援等のサービスを実施する機能強化事業がある。

基礎的事業では、健康体操、絵画、絵手紙、書道、音楽レクリエーション、点字の講座及び特別講座や誕生日会を実施した。

機能強化事業では、盲サロン、デフサロン、難聴者サロン、脳トレ、カラオケ、ボウリング、パソコン、ハンドメイド、ものづくり、手話、ヨガ、体力測定、陶芸、太極拳、運動教室、園芸、ひも体操、脳トレ、工作、トランプ・オセロ、卓球バレー、スポーツ・ゲーム等の講座を実施した。

○延べ利用者数 2,509名

## 【障がい別利用状況】

(実利用者数)

身体障がい	肢体不自由	3名
	視覚障がい	18名
	聴覚障がい	24名
	内部障がい	2名
知的障がい		1名
精神障がい		5名
重複障がい		5名

## 《成果と課題》

今年度も昨年に引き続いて新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたが、コロナ禍での新しい生活様式が定着してきたためか、利用者数は昨年度に比べると延べ約100名増加した。

感染防止策として館内での飲食を禁止しているため、午前・午後の講座を終日利用される利用者は少なかったが、行動制限緩和に伴い徐々にウォーキングや散策、各障がい別のサロンでの外出などの企画が増えたことで、コロナ流行以降長期間利用休止していた、ろうの登録者の利用再開が多く見られた。

令和5年に入ってから、休止していた点字の講座も再開した。

講座内容では運動系が人気で、今年度は職員と一緒に運動する「ひも体操」講座を開講した。運動系の講座では利用者の高齢化に伴い、基礎疾患のある人も増えているため、昨年度に引き続き、椅子に座って行えるプログラムを増やすなど、誰でも参加できるよう工夫した。

また、会館ロビーの装飾や草とり、近隣のゴミ拾いなどのボランティア活動を内容とする講座も開講し、参加者が社会貢献する充実感を持つことができるように働きかけた。

令和5年度からは、盲ろう者の通訳介助員の派遣も再開することとなり、新型コロナ流行前の事業内容に戻りつつある。今後も、利用者の声に耳を傾け一人ひとりの障がいにあわせた支援を行い、利用者が安心して安全に集える講座・場所作りを目指す。

## ② 手話通訳者設置事業

手話通訳者資格を持つ設置通訳者により、ろう者が日常生活において他者と意思疎通する際の手話通訳の支援を行っている。

また、意思疎通支援事業(手話通訳)のコーディネーターとして、通訳申請に対する登録通訳者の派遣調整及び関連事務を行っている。

聞こえないことから生じる情報不足等により生活上の困難を抱えるろう者に対して、相談支援を行い、内容によっては、家族や専門機関と連携を取りながら、問題解決に向け、継続的な通訳と相談支援を行っている。

### 【 設置通訳者対応内訳 】

	【分類】	【担当地域別実績】		【総件数】
		(北部) しらさぎ会館	(南部) 南部支所	全域合計
設置通訳者 4名 (常勤 4名)	行政	36件	16件	52件
	福祉	91件	17件	108件
	医療	151件	54件	205件
	労働	0件	0件	0件
	文化	0件	1件	1件
	教育	6件	13件	19件
	警察	13件	0件	13件
	生活	35件	21件	56件
	その他	3件	0件	3件
	団体	2件	0件	2件
	遠隔手話通訳	3件	0件	3件
	通訳対応合計	340件	122件	462件
	支援(窓口)	164件	85件	249件
	支援(訪問)	10件	15件	25件
	支援(調整)	23件	11件	34件
	支援(電話)	48件	59件	107件
	支援(遠隔)	26件	0件	26件
	支援対応合計	271件	170件	441件
	総合計	611件	292件	903件

### 《成果と課題》

本年度は、対応内容の詳細把握のため、分類変更を行った。

意思疎通支援事業における通訳申請に設置通訳者が通訳対応した件数462件、相談等の支援対応が441件、合計903件であった。昨年度の614件と比べると289件の増加となった。

通訳対応では、病院受診等の「医療」が205件、介護保険サービスの利用や権利擁護などの「福祉」の件数が108件と多く、専門機関と連携しての専門的な通訳も行った。入院や入所など内容によっては、設置通訳者が継続して通訳対応を行う必要がある事例が増えている。

山口市消防本部との連携業務として、救急要請時の通訳対応が3件あった。救急搬送については、消防や関係機関との間で業務の位置づけや連携手順の再確認が必要となっている。

相談等支援対応については、支援件数が増加しているが、その内容は複雑・専門化してきており、ろう者それぞれに応じた対人支援が重要である。

その他、登録通訳者の現場対応に同行し、円滑な通訳派遣ができるように調整した。

支援対応では、窓口での日常生活に関するさまざまな相談や申請相談が249件と最も多い。文章理解が苦手

なろう者に書類の内容を手話で説明することも多い。次に電話依頼が107件と続く。公共インフラである「電話リレーサービス」が令和3年から開始された。若年のろう者には、内容によっては積極的に活用している人もいるが、高齢のろう者では、設置通訳者と相談しながら電話依頼をする者も多い。連絡方法の選択肢を増やすためにも引き続き、利用に関する情報提供を行っていく。

高齢で一人暮らしの生活に困難を抱えていたり、精神面で不安定なろう者などには、相談支援や訪問支援を行い、ろう者の自主性を尊重しながら、関係機関と連携し適切な支援ができるように努める。また、地域で生活するうえで、聞こえないがゆえに生じる不安や心配事を軽減できるよう、通訳者及び支援者として、関係機関等とのネットワーク構築も図っていきたい。

その他、本年度の特記する点としては、次のことが挙げられる。

(ア) 遠隔(リモート)サービスの推進

「遠隔手話通訳」(コロナ禍で病院や施設で、対面での通訳が難しい場合、ろう者所有のスマートフォンや貸出用タブレット、病院等の所有するタブレット端末を使用して、遠隔での手話通訳を行う。)、 「テレビ電話サービス」(ビデオ通話機能を利用し、自宅でも、しらさぎ会館職員と手話での連絡・相談ができる)の本格稼働が始まり、登録並びに利用が伸びている。このため、設置通訳者を1名増員した。

今後も、遠隔(リモート)サービスの利用について、ろう者への更なる周知と利用登録並びに申請を進めるとともに、医療機関、入所施設等への利用協力の働きかけを行い、より利用しやすい環境を整えていく。

また、南部支所の設置通訳者が不在の場合に備え、南部支所窓口に設置したタブレット端末でしらさぎ会館の設置通訳者がリモートでの対応ができる環境を整えた。

(イ) ステップアップ講座の開催

登録通訳者(山口市意思疎通支援者)の増員を図るため、手話奉仕員を対象として「ステップアップ講座」を開催した。講座には、12名の受講者があり、個人技量の差は大きくあったが、それぞれのレベルアップと意欲の向上につながった。結果、山口市意思疎通支援者(手話通訳)登録試験には、ステップアップ講座受講者を含め12名の申込、11名が受験(1名体調不良による辞退)し、5名が合格した。今後は、山口市手話奉仕員養成委員会とも連携しながら、新たな人材育成に努めていく。

③ 手話通訳者等派遣事業

ろう者の日常生活における他者との意思疎通の支援として、登録通訳者(26名)を派遣している。

【登録通訳者派遣内訳】

	【分類】	【地域担当別実績】		【総件数】
		(北部) しらさぎ会館	(南部) 南部支所	全域合計
登録通訳者 26名 (手話通訳士 1名) (手話通訳者 19名) (手話奉仕員 6名)	行政	33件	5件	38件
	福祉	250件	2件	252件
	医療	103件	327件	430件
	労働	2件	0件	2件
	文化	300件	4件	304件
	教育	18件	8件	26件
	警察	2件	6件	8件
	生活	39件	37件	76件
	その他	30件	3件	33件
	団体	14件	0件	14件
	派遣合計	791件	392件	1,183件

※うち、主催者負担 342件

## 《成果と課題》

本年度は、派遣内容の詳細把握のため、分類変更を行った。

本年度の派遣件数は1,183件。昨年度の1,207件から24件減少した。

派遣内容は、ろう者の高齢化に伴う定期受診などの「医療」が430件、介護保険サービスでの定期的な訪問介護や訪問看護などの「福祉」が252件と多かった。医療に次いで件数が多かった「文化」304件の主なものはしらさぎ会館地域活動支援センター講座等である。なお、地域活動支援センター講座については、手話通訳者のほか、手話奉仕員の派遣も行った。

主催者負担による派遣は、しらさぎ会館地域活動支援センター講座のほか、令和4年4月に施行された「山口市みんなの手話言語条例」に関する行事や地域での啓発講座、新型コロナウイルス感染症ワクチン集団接種など342件で、行政からだけでなく、企業や団体からの申請もあり、昨年度比12件の増となっている。ろう者が構成員となっている「団体」からの申請は14件であった。

登録通訳者に対する研修会を3回実施し、登録通訳者の資質向上を図った。

1回目)実技研修/「模擬通訳」行政窓口での通訳を想定し、現場対応や通訳方法の共有を行った。

2回目)実技研修/「聞き取り通訳」手話表現技術の違いを学び、ろう者講師の助言を受けた。

『マスクがあっても伝わりやすい手話表現』『音声通りの手話表現』

3回目)実技研修/「聞き取り通訳(場面通訳)」

『生活習慣病講習会』での通訳を想定し、実技と検証を繰り返し行ったうえで、医療に関する手話単語、伝わる表現方法についてグループワークを行った。

山口市意思疎通支援者(手話通訳)登録試験では、5名の手話奉仕員が合格した。次年度から登録通訳者として活動することになる。登録通訳者全体の高齢化を考慮すると次世代の登録通訳者を確保するための通訳者育成が急務である。

手話奉仕員から、次のステップである「手話通訳者」資格取得を目指せるためのフォローも必要である。今後も、適正で円滑なコーディネートを行うとともに、登録通訳者並びにろう者と連携し、より良い意思疎通支援ができるように努める。

## ④ 要約筆記者派遣事業

年度末の登録通訳者は19名。年間派遣件数は352件、延べ派遣人数は549名となった。

コロナ禍での活動制限は続いたが、利用者・登録者の協力を得て感染予防に努め、関係者に影響が出ることなく、事業を行うことができた。

登録者研修を2回実施し、登録者の資質向上を図った。その内容は次のとおりである。

1回目)実技研修

\* 手書き— 相談事例から、より良い支援について検討を行った。

\* パソコン— 新たなソフトを試用しての要約筆記を体験した。

多様なニーズに応えるため、必要な手法を検討する動機づけとなった。

\* いずれも多くの登録者の参加を得た。

\* 研修の冒頭では、報告書からの課題等をしらさぎ会館より提示し、検討を行った。それを踏まえ、11月から変更のあった待機時間等の対応の整理を行った。

2回目)オンライン研修

\* 全国要約筆記問題研究会のウェビナーで、新法「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」に関する講義を受講した。

\* 時宜を得たテーマを、全国の要約筆記者と同時に受講した。

## 【派遣内訳】

【派遣内訳】	【件数】
行政	2件
医療	96件
労働	3件
文化	218件
教育	0件
その他	33件
合計	352件

## 《成果と課題》

主催者負担による申請のうち、約半数が地域活動支援センターに係るものだが、地域活動支援センターの事業以外は、昨年度の18件に対し、28件と増加した。予算措置に数年をかけて取り組まれ申請に至ったケースもあり、合理的配慮の浸透を感じた。

中途失聴者の障害受容には時間が掛かるとされているが、受容の過程における地域活動支援センターの果たす役割は大変大きいものがある。センターでの様々な活動に参加する中で、聴覚障害への対応を体験し、障害克服への意識を高めることに繋がっている。特に毎月の難聴者サロンは、日常生活での工夫、補聴器の情報、要約筆記の利用等の情報交換や交流の貴重な場となっている。今後とも、聴覚障害者にとって利用しやすい場となるよう地域活動センター事業との連携を図っていく。

地域活動支援センター事業での運動系の講座では、動きのある場面への対応としてタブレット端末の利用を試みた。音声認識ソフトや機器の進化が著しい中、有効な手段を積極的に取り入れていくように努めたい。

団体からの依頼は9件。うち4月施行の山口市手話言語条例に関連したものが4件であった。

本格利用が始まった遠隔要約筆記は、令和4年度16件の利用があった。機器の扱いが不安な方には、現地に職員が出向き、設定対応を行った。若年者の利用では、利用場所が市外の例もあり、遠隔要約筆記を効果的に利用してもらうことができた。引き続き、遠隔要約筆記に積極的に取り組んでいく。

## 2) 障害者福祉作業所の運営

### ① かがやき

#### 1) 運営

昨年に引き続き4月に特別支援学校の卒業生1名が入所し、登録者数は9名となった。就労継続支援B型の事業所として、利用者の意向、適性、障がいの特性を踏まえて作成した個別支援計画に基づきサービス提供に努めた。今後とも適正かつ健全な運営に努め、日々の作業活動において一人ひとりの特性能力を活かし、自分らしく働けるよう支援する。

#### 2) 作業内容

作業科目	受注先	内容
瓦留めクリップ等の組立て	オノダネイル	瓦留め耐風クリップ、ラク枠、デッキロック等の組立て、箱詰め(毎日)
紙製品の封入	石見紙工業	ルーズリーフ、クリアーブック等の封入、封緘、梱包(毎日)
印刷物の封入	介護労働安定センター	チラシ、案内状等の封入、封緘、タックシール貼り、仕分け(年12回程度)
シール貼り	田辺海苔店	海苔袋のシール貼り(年10回程度)



作業科目	受注先	内 容
しらさぎ会館の清掃	山口市社協	しらさぎ会館の清掃(毎日)
ポスティング	地域情報新聞	地域情報誌「ほっぷ」のポスティング(週1回)
アユスの清掃	老人保健施設アユス	老人保健施設アユスの清掃(毎週火・水曜日)
柴田病院の清掃	柴田病院	柴田病院管理棟の清掃(毎週火・水曜日)
史跡大内氏遺跡見学者用 駐車場トイレの清掃	山口市文化財保護課	史跡大内氏遺跡見学者用駐車場トイレの清掃(毎週月・ 金曜日)
福祉医療費受給者証等の 封入・封緘	山口市保険年金課	福祉医療費受給者証等の封入・封緘(年1回程度)

### 3) 行事等

開催日	内 容
5月24日(火)	かがやき・希望の館合同会議(第1回)
5月26日(木)	春のお出掛け企画(秋吉台)
6月10日(金)	AED講習会(児童館・福祉センター合同)
6月28日(火)	保健講座(熱中症予防のために)
7月25日(月)	かがやき・希望の館合同会議(第2回)
9月 1日(木)	避難訓練(地震)
9月30日(金)	実地指導
10月13日(木)~26日(水)	現場体験実習受入れ(山口総合支援学校)
10月27日(木)	秋のお出掛け企画(アカシア工房見学・リンゴ狩り)
11月22日(火)	感染症予防講習会(南部支所衛生委員会主催)
12月 2日(金)	保健講座(インフルエンザについて)
12月21日(水)	かがやき・希望の館合同会議(第3回)
12月23日(金)	クリスマス会(忘年会)・大掃除
令和5年 3月 1日(水)	避難訓練(火災)(児童館・福祉センター合同)
令和5年 3月 9日(木)	障害者福祉作業所研修会(障害者虐待防止・権利擁護研修会)

### 4) 研修等

主 催	内 容	会 場	開催日
学校法人 YIC 学院	サービス管理責任者等 更新研修	YIC スタジオ	11月16日(水)

### 5) 利用状況

年間開所日数	238日(月平均20日)
延べ通所者数	1,926名(月平均160名)
1日平均利用者数	8.1名
年間工賃支払総額	2,760,919円
平均工賃(月額)	25,564円(時給272円)

### 《成果と課題》

本年度は昨年度よりもわずかに増収となった。コロナ禍の影響もあり主軸であるオノダネイルの作業が減少する中、清掃作業の請負先が増え、安定した収入が得られるようになったことが要因のひとつである。一方、総収入は増額したが、利用者が1名増加した分、年間平均工賃は900円程度下がった。

来年度4月には利用者1名が退所する予定なので、新たな利用者の確保が今後の課題である。

## ②希望の館

### 1)運営

利用者は昨年に引き続き6名となった。就労継続支援B型の事業所として、利用者の意向、適正、障がいの特性等を踏まえて作成した個別支援計画に基づいたサービス提供に努め、利用者個々の人格を尊重しながら、利用者の立場に立ち支援をする。

### 2)作業内容

作業科目	受注先	内 容
山口市阿知須体育センター清掃	山口市	清掃作業(週3回)
阿知須地域交流センター周辺の除草	山口市	除草作業(6月2日～6月末)
阿知須駅駐輪場周辺の除草	山口市	除草作業(10月13日～10月末)
山口市公衆トイレ清掃	山口市	トイレの清掃作業(週1回)
健康福祉センター「おげんきかん」清掃	山口市社協	清掃作業(週2回)
小郡幡部邸の除草	山口市社協	除草作業(5月6日～5月中旬)
川西第2地域包括支援センタートイレ清掃	山口市社協	トイレの清掃作業(週2回)
川西第2地域包括支援センター駐車場の除草	山口市社協	除草作業(8月12日～8月末)
自動車部品等成形	モルテン大津	ゴム製部品のバリとり作業
ゴム製品の検品・梱包	王子ゴム化成	製品の梱包・資材の検品作業

### 3)行事等

開催日	内 容
4月 4日(月)	花見(阿知須築地公園)
5月24日(火)	かがやき・希望の館合同会議(第1回)
6月20日(月)	山口県立宇部総合支援学校訪問
6月21日(火)	山口県立山口南総合支援学校訪問
6月23日(木)	山口県立山口総合支援学校訪問
6月23日(木)	避難訓練(火災) 阿知須出張所と合同
7月25日(月)	かがやき・希望の館合同会議(第2回)
7月26日(火)	進路指導懇談会に参加(山口総合支援学校)
9月 8日(木)	避難訓練(風水害)
12月21日(水)	かがやき・希望の館合同会議(第3回)
12月26日(月)	大掃除・お楽しみ会(忘年会)
令和5年 2月 9日(木)	避難訓練(地震)
3月 9日(木)	障害者福祉作業所研修会(障害者虐待防止・権利擁護研修会)
3月23日(木)	保護者会

### 4)研修等

主 催	内 容	会 場	開催日
山口県	令和4年度 障害者虐待防止・権利擁護研修(オンデマンド)	希望の館	11月18日(金)まで
学校法人 YIC 学院	サービス管理責任者等実践研修	YIC スタジオ 希望の館 (講義動画)	10月19日(水) ・20日(木) 10月7日(金)～ 17日(月)

5) 利用状況

年間開所日数	239日(月平均20日)
年間利用者延べ人数	1,313名(月平均109名)
1日平均利用者数	5.5名
年間工賃支払総額	1,807,660円
平均月額工賃(一人)	25,106円(時給 275円)

《成果と課題》

本年度もコロナ禍の影響で、5月下旬から8月下旬までモルテン大津の作業が激減した。一方、新たに川西第2地域包括支援センターのトイレ清掃及び駐車場の除草作業、阿知須駅駐輪場周辺の除草作業が加わり、昨年度を上回る収入を得ることができた。

6月下旬から利用者確保のために、近隣の特別支援学校に訪問した。先生方から、現在の保護者の意向(作業内容や送迎内容等)についての話を聞いた。また、7月には山口総合支援学校の進路指導懇談会にも参加した。

新たな利用者の確保のため、11月から週3日、1ルートの試験的な送迎に取り組み、送迎の課題等を研究した。令和5年度から週5日の送迎を行うために、送迎のできる職員の募集を行ったが、応募者はなく、令和5年度も試験的な送迎を行うことにした。

今後も利用者の確保、継続的な受注の確保、作業の効率化を図るとともに、利用者にあった作業と適切かつ効果的なサービス提供を行っていく。

③地域活動支援センターⅢ型「山口市アカシア工房」 **\* 受託事業**

1) 事業内容: 身体・精神・知的障がいをお持ちの方を対象に、就労の場や手芸品等の作製を通じて社会参加を促す。

2) 開設日: 延べ 236日

3) 利用者: 延べ 1,795人

4) 実利用者: 11人【登録者: 11名】(令和5年3月31日現在)

5) 作業内容: 基礎的事業として、手芸品等の作製により創作的活動及び生産活動を行い、機能強化事業として石見紙工業からの軽作業や山口市からの清掃作業及び地域の事業所への施設外就労等による就労の場の提供を行っている。

6) 作業以外の行事

月	日	曜日	行事内容
7	1	金	アカシア工房家族会総会
7	15	金	三谷ふれあいセンターにて清掃ボランティア及びカラオケ
7	21	木	三谷ふれあいセンターにて清掃ボランティア及びカラオケ
8	19	金	ワイワイ交流会ママバンドコンサート鑑賞
10	27	木	福祉作業所「かがやき」との交流会
12	21	水	クリスマス会(デイケア主催)
令和5年 2	27	月	理学療法士による健康体操教室
3	13	月	避難訓練(火災想定)保健センター合同
3	17	金	研修旅行(アカシア工房家族会主催)

### 《成果と課題》

年度当初は、作業生12名であったが、一人家庭の事情で7月から施設入所となり11名となった。通所に関する問い合わせは1件あったが、通所には繋がらなかった。

今年度は、地域に出かけることに積極的に取り組んだ。新しく施設外就労、清掃ボランティアやカラオケなどを体験し成果が得られた。

昨年までは小規模作業所として生産活動に重点をおき気味であったが、作業生の選択肢を広げるためにも、創作的活動や社会との交流の促進を行っていく必要性を感じている。作業生が自立した日常生活及び社会生活が送れるように、今後も色々な体験を通じて支援をしていく。

### 3)障がい者の居宅介護事業の実施

	サービス内容					
	延べ利用者数	身体介護	家事援助	通院介助	同行援護	重度訪問介護
阿東	60名	138時間	641時間	53時間	106時間	0時間
南部	108名	0時間	676.4時間	8.75時間	96.25時間	0時間
合計	168名	138時間	1317.4時間	61.75時間	202.25時間	0時間

### 《成果と課題》

昨年度と比較し、全体的に延べ利用者数は減少している。

南部訪問介護では登録訪問介護員の定年による退職や高齢化により、重度訪問介護や身体介護の支援が難しくなっており、人員の確保が課題である。同行援護の支援については有資格保持者が限られているため対応ができないこともあった。また、身体介護は利用者の入院により実績のない状況であった。

あとう訪問介護では、令和4年度中に利用者の増減は無かった。令和5年度は新規を1件受入予定である。山間部である阿東地域では、同行援護で旧山口市内へ外出する事がしばしばあり、外出先での土地勘がある職員が少なく、特定の職員による支援となっていることが課題である。

## 重点事業Ⅱ

### 「第2次山口市社会福祉協議会活動基盤強化計画」の推進(平成30年度～令和4年度) 及び「第3次山口市社会福祉協議会活動基盤強化計画」の策定

#### 1 第3次山口市社会福祉協議会活動基盤強化計画会議の開催

##### 【基盤強化計画会議】

回	開催日	協議内容
第1回	5月26日(木)	1. 第3次山口市社協活動基盤強化計画ベース(案)について 2. 策定スケジュールについて
第2回	11月2日(水)	1. 第3次山口市社協活動基盤強化計画(案)について

##### 【事務局長・課長会議】

回	開催日	協議内容
第1回	4月15日(金)	・第3次山口市社協活動基盤強化計画 令和4年度策定スケジュールについて
第2回	6月17日(金)	・第3次山口市社協基盤強化計画ベース(案)について ・今後の進め方について
第3回	7月15日(金)	・第3次基盤強化計画ベース(案)について ・主な対応策を協議する場について ・策定スケジュールの確認について
第4回	9月13日(火)	・第3次基盤強化計画(素案)について
第5回	10月12日(水)	・第3次基盤強化計画(素案)について ・策定スケジュールの確認について ・山口市社協BCP作成について
第6回	11月15日(火)	・第3次基盤強化計画(案)について ・山口市社協BCP(素案)について
第7回	11月24日(木)	・山口市社協BCP(案)について
第8回	令和5年 1月27日(金)	・山口市社協 BCP(案)について

##### 【部門担当者会議】

回	開催日	協議内容
第1回 (全体会)	5月19日(木)	1. 第3次山口市社協活動基盤強化計画ベース(案)について 具体的対策、実施年次、主管課等について協議
第1回 (組織・人材部門)	6月29日(水)	1. 第2次山口市社協活動基盤強化計画から第3次活動基盤強化計画へ反映させるべき項目について 2. 第3次山口市社協活動基盤強化計画の様式について
第1回 (財政部門)	6月29日(水)	1. 第2次山口市社協活動基盤強化計画から第3次山口市社協活動基盤強化計画へ反映させるべき項目について 2. 第3次山口市社協活動基盤強化計画の様式について
第2回 (全体会)	7月14日(木)	1. 第3次山口市社協活動基盤強化計画ベース(案)について
第3回 (全体会)	9月 2日(金)	1. 第3次山口市社協活動基盤強化計画(素案)について

## 《成果と課題》

基盤強化計画会議では、今年度の推進方法及び第3次計画の策定について協議を行った。

新型コロナウイルス感染症のため、社会状況が大きく変化したため、令和3年度から第3次基盤強化計画の策定に取り組み、今年度も基盤強化計画会議及び事務局長・課長会議、部門担当者会議を定期的に開催し、第3次計画を完成した。

第2次計画では、山口市社協の課題をテーマにして部門建てを行い、職員自身が課題について考え、ボトムアップでの計画策定を行った結果、取組項目が88と多く、計画どおりの実行が困難になった項目が多くあった。第3次計画では、その反省を踏まえ、課長・主幹・主査等の部門担当者が計画策定に取り組み、計画期間においても定期的に進行管理を図りながら計画の推進を図る。

## 主要事業

### 1 自律した法人運営と「働き方改革」の推進

#### (1) 就業関連規程に基づいた「働き方改革」の推進

- ① 雇用形態別(正規・継続・嘱託・臨時)に責任の重さを周知し実行
- ② 正規職員への転換(正規職員採用試験)を周知
- ③ 就業管理システムによる勤怠管理の導入
- ④ 新型コロナウイルス感染症に伴う病気休暇及び学校における臨時休業期間の特別休暇の整備(特例措置)
- ⑤ 均等待遇に位置づけられる通勤手当の改善
- ⑥ 健康診断に要する時間を職務専念義務免除する労働時間として位置づけ
- ⑦ 放課後児童クラブ支援員及び補助員就業規程を整備 など

#### (2) 組織基盤の整備

##### 1) 住民会員(一般会員)会費の周知の徹底

会費項目 (一口金額)	山口地域 (500円)	小郡地域 (500円)	秋穂地域 (500円)	阿知須地域 (500円)	徳地地域 (500円)	阿東地域 (500円)
会員数	46,084	4,969	2,093	3,377	2,005	2,036
金額(円)	23,042,250	2,484,500	1,046,500	1,688,610	1,002,500	1,018,400
合 計(円)					30,282,760	

※前年度比 104,735円減

##### 2) 住民会員(一般会員)会費以外[市内統一]の周知の徹底

会費項目 (一口金額)	特別会員会費 (1,000円)	組織会員 (団体会員)会費 (3,000円)	組織会員 (施設会員)会費 (7,000円)	賛助会員会費 (5,000円)
件 数	76	86	50	206
金額(円)	931,000	276,000	364,000	1,313,000
合 計(円)				2,884,000

※前年度比 6,000円減

○新たな事業所等に対する賛助会員会費の増強・拡大

本年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況を鑑み、訪問による新規事業所開拓を積極的には行わなかった。例年どおり、本会職員が関わりのある事業所に対して、賛助会員への加入をお願いした。

**3) 善意銀行の周知と適正な配分実施**

寄附項目	一般寄附	香典返し	資産積立	合計
件数(件)	72	252	1	325
金額(円)	2,185,177	14,569,000	3,400	16,757,577

※前年度比 3,441,500円減

**(3) 法人の運営**

**1) 理事会及び評議員会の開催**

開催日(会議名)	内 容
4月12日(火) (第1回理事会)	議案第1号 会長の選定について
6月10日(金) (第2回理事会)	報告第1号 「介護保険関連事業」及び「障害者総合支援関係事業」運営規程の一部改正について 報告第2号 会長、常務理事の職務執行状況について (提出議案) 議案第1号 令和3年度 事業報告について 議案第2号 令和3年度 収支決算報告について 議案第3号 令和4年度 資金収支第一次補正予算(案)について 議案第4号 第1回評議員選任・解任委員会の開催(案)について 議案第5号 第1回評議員選任・解任委員会に提出する評議員の選任候補者の推薦(案)について 議案第6号 定時評議員会の開催(案)について 議案第7号 理事候補者の提案について 議案第8号 理事・監事・評議員の選出基準に関する規程を廃止する規程(規程103号)の制定(案)について 議案第9号 嘱託職員就業規程(規程第14号)の一部改正(案)について 議案第10号 給与規程(規程第18号)の一部改正(案)について 議案第11号 自動車管理規程(規程第34号)の全部改正(案)について 議案第12号 居宅介護及び同行援護(障害者関連)事業運営規程の一部改正(案)について 議案第13号 山口市アカシア工房 山口市地域活動支援センター事業運営規程(規程第98号)の一部改正(案)について

開催日(会議名)	内 容
<p>6月28日(火) (定時評議員会)</p>	<p>(提出議案)  議案第1号 令和3年度 事業報告について  議案第2号 令和3年度 収支決算報告について  議案第3号 令和4年度 資金収支第一次補正予算(案)について  議案第4号 理事の選任(案)について  議案第5号 居宅介護及び同行援護(障害者関連)事業運営規程の一部改正(案)について  ・南部指定居宅介護(重度訪問介護)事業運営規程(規程第45号)  ・あとう指定居宅介護(重度訪問介護)事業運営規程(規程第67号)  ・同行援護事業運営規程(南部訪問介護事業所)(規程第75号)  ・同行援護事業運営規程(あとう訪問介護事業所)(規程第77号)  議案第6号 山口市アカシア工房 山口市地域活動支援センター事業運営規程(規程第98号)の一部改正(案)について</p>
<p>9月27日(火) (第3回理事会) 【決議の省略の方法 (書面決議)】</p>	<p>報告第1号 「介護保険関連事業」運営規程の一部改正について  報告第2号 育児・介護休業等に関する規程(規程78号)の一部改正について  報告第3号 会長、常務理事の職務執行状況について  (提出議案)  議案第1号 定款の一部改正(案)について  議案第2号 事務局規程(規程第6号)の一部改正(案)について  議案第3号 第2回評議員会の開催(書面決議)について</p>
<p>10月17日(月) (第2回評議員会) 【決議の省略の方法 (書面決議)】</p>	<p>(提出議案)  議案第1号 定款の一部改正(案)について  議案第2号 事務局規程(規程第6号)の一部改正(案)について</p>
<p>12月19日(月) (第4回理事会)</p>	<p>報告第1号 会長、常務理事の職務執行状況について  (提出議案)  議案第1号 就業関連規程の一部改正(案)について  議案第2号 給与規程の一部改正(案)について  議案第3号 役職員の健康情報等の取扱規程の制定(案)について  議案第4号 虐待防止及び身体拘束等適正化検討委員会設置規程の制定(案)について  議案第5号 「介護保険関連事業」及び「障害者総合支援関連事業」運営規程の一部改正(案)について  (1) しらさぎ会館障害者地域活動支援センター事業運営規程(規程第43号)  (2) 南部指定居宅介護(重度訪問介護)事業運営規程(規程第45号)  (3) 指定就労継続支援(B型)事業運営規程(規程第55号)  (4) あとう指定訪問看護ステーション運営規程(規程第61号)  (5) あとう指定訪問看護ステーション介護予防訪問看護運営規程(規程第64号)  (6) あとう指定居宅介護(重度訪問介護)事業運営規程(規程第67号)  (7) 移動支援事業運営規程【南部訪問介護事業所】(規程第71号)  (8) 移動支援事業運営規程【あとう訪問介護事業所】(規程第73号)  (9) 同行援護事業運営規程【南部訪問介護事業所】(規程第75号)  (10) 同行援護事業運営規程【あとう訪問介護事業所】(規程第77号)  (11) 山口市アカシア工房山口市地域活動支援センター事業運営規程(規程第98号)</p>



開催日(会議名)	内 容
<p>令和5年 3月14日(火) (第5回理事会)</p>	<p>報告第1号 「介護保険関連事業」及び「障害者総合支援関係事業」運営規程の一部改正について</p> <p>報告第2号 会長、常務理事の職務執行状況について (提出議案)</p> <p>議案第1号 経理規程(規程第22号)の一部改正(案)について</p> <p>議案第2号 令和4年度 資金収支第二次補正予算(案)について</p> <p>議案第3号 令和5年度 事業計画(案)について ・第3次山口市社協活動基盤強化計画の令和5年度取組事業</p> <p>議案第4号 令和5年度 資金収支予算(案)について</p> <p>議案第5号 「役員等損害賠償責任保険」契約締結の提案について</p> <p>議案第6号 就業関連規程の一部改正(案)について</p> <p>議案第7号 嘱託職員就業規程(規程第14号)の一部改正(案)について</p> <p>議案第8号 臨時職員就業規程(規程第15号)の一部改正(案)について</p> <p>議案第9号 就業関連3規程の一部改正(案)について ・登録訪問介護員就業規程(規程第56号) ・登録生活支援員就業規程(規程第95号) ・放課後児童クラブ支援員及び補助員就業規程(規程第97号)</p> <p>議案第10号 給与規程(規程第18号)の一部改正(案)について</p> <p>議案第11号 育児・介護休業等に関する規程(規程第78号)の一部改正(案)について</p> <p>議案第12号 第2回評議員選任・解任委員会の開催(案)について</p> <p>議案第13号 第2回評議員選任・解任委員会に提出する評議員の選任候補者の推薦(案)について</p> <p>議案第14号 評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正(案)について</p> <p>議案第15号 残期間に伴う評議員選任・解任委員会委員の選任(案)について</p> <p>議案第16号 第2回評議員会の開催(案)について</p>
<p>令和5年 3月23日(水) (第3回評議員会)</p>	<p>(提出議案)</p> <p>議案第1号 令和4年度 資金収支第二次補正予算(案)について</p> <p>議案第2号 令和5年度 事業計画(案)について</p> <p>議案第3号 令和5年度 資金収支予算(案)について</p> <p>議案第4号 虐待防止及び身体拘束等適正化検討委員会設置規程の制定(案)について</p> <p>議案第5号 「介護保険関連事業」及び「障害者総合支援関係事業」運営規程の一部改正(案)について (1) しらさぎ会館障害者地域活動支援センター事業運営規程(規程第43号) (2) 南部指定居宅介護(重度訪問介護)事業運営規程(規程第45号) (3) 指定就労継続支援(B型)事業運営規程(規程第55号) (4) あとう指定訪問看護ステーション運営規程(規程第61号) (5) あとう指定訪問看護ステーション介護予防訪問看護運営規程(規程第64号) (6) あとう指定居宅介護(重度訪問介護)事業運営規程(規程第67号) (7) 移動支援事業運営規程【南部訪問介護事業所】(規程第71号) (8) 移動支援事業運営規程【あとう訪問介護事業所】(規程第73号) (9) 同行援護事業運営規程【南部訪問介護事業所】(規程第75号) (10) 同行援護事業運営規程【あとう訪問介護事業所】(規程第77号) (11) 山口市アカシア工房山口市地域活動支援センター事業運営規程(規程第98号)</p>

## 2) 監査の実施

開催日	内 容
5月24日(火)	令和3年度 監査(財務監査・事業監査)

## 3) 評議員選任・解任委員会の開催

開催日	内 容
6月13日(月) (第1回評議員選任・解任委員会)	議案第1号 評議員の選任(案)について
令和5年 3月15日(水) (第2回評議員選任・解任委員会)	議案第1号 評議員の選任(案)について

## (4) 運営体制の強化

### 1) 月例会議の開催

本会事務事業の円滑な推進に向けた調整・協議・連絡事項を内容とした会議を開催した。

○年間開催回数 11回(月1回開催 8月を除く。)

※4月及び1月は全所属長を招集

### 2) 事業調整会議の開催

各事業について市内全域を対象に推進するため、下表のとおり事業調整会議を開催した。

なお、毎回、地区福祉員協議会、地区民児協定例会に出席する際の情報提供資料の確認を行った。また、毎回生活支援コーディネーターに関する報告も行った。昨年度同様に本会議とは別に小グループで課題を協議する場(コア会議)を設け、山口市地域福祉計画・山口市地域福祉活動計画の取り組みとリンクさせて協議した。なお、この調整会議で小グループ(コア会議)の協議結果を報告し、共通認識を図った。

○年間開催回数 12回(月1回)

開催日	協 議 内 容
4月21日(木)	・事務分掌等について ・各事業の伝達と依頼等
5月31日(火)	・福祉教育・サロンマップ作成事業等について ・各事業の伝達と依頼等
6月30日(木)	・民児協ブロック研修会・ふれあい型給食サービス事業等について ・各事業の伝達と依頼等
7月28日(木)	・24時間テレビ・有償在宅福祉サービス等について ・各事業の伝達と依頼等
8月26日(金)	・子育てサロン支援事業・ふれあい型給食サービス等について ・各事業の伝達と依頼等
9月27日(火)	・福祉機器リサイクル事業等について ・各事業の伝達と依頼等
10月26日(水)	・生活支援コーディネーター・福祉機器リサイクル事業等について ・各事業の伝達と依頼等
11月29日(火)	・福祉員の改選等について ・各事業の伝達と依頼等

開催日	協議内容
12月27日(火)	・福祉教育について・地域福祉活動計画等について ・各事業の伝達と依頼等
令和5年 1月31日(火)	・サロン活動実態調査の実施・チェアキャブ等について ・各事業の伝達と依頼等
2月24日(金)	・福祉員関係について ・各事業の伝達と依頼等
3月23日(木)	・来年度の各事業等について ・各事業の伝達と依頼等

### 《成果と課題》

事業の内容確認や調整の他、情報の共有や職員の意識統一が図れた。地域福祉課の実施事業は多く、解決すべき課題もコロナ禍の中多々あった。小グループ(コア会議)を活用し、課題解決や地域活動の活性化を図っていきたい。

## (5) 共同募金運動への協力

### 1) 一般募金(目標額:32,140,000円)

(単位:円)

募金種別	令和4年度実績	令和3年度実績	前年度比
戸別募金	22,628,521	22,906,111	△277,590
法人募金	2,603,688	2,611,880	△8,192
募金百貨店	352,227	366,860	△14,633
職域募金	1,593,374	1,745,513	△152,139
街頭募金	181,506	132,836	48,670
興行募金	356,165	186,381	169,784
その他	1,987,162	2,002,942	△15,780
合計	29,702,643	29,952,523	△249,880

### 2) 歳末たすけあい募金(目標額:12,000,000円)

(単位:円)

募金種別	令和4年度実績	令和3年度実績	前年度比
戸別募金	10,282,337	10,531,631	△249,294
学校募金	229,477	296,906	△67,429
その他の募金	591,974	557,097	34,877
合計	11,103,788	11,385,634	△281,846

### 3) 災害義援金

○実績額: 30,000円

### 4) 行事の内容

開催日	内容	備考
4月11日(月)	山口市共同募金委員会監事会	監事3名 事務局
6月1日(水)	募金箱イラストコンテスト作品募集	赤い羽根賞 1点 アピール賞 4点

開催日	内容	備考
～7月15日(金)	応募作品 57点	アイデア賞 4点
7月4日(月)	山口市共同募金委員会運営委員会	運営委員12名 監事1名 事務局
7月20日(水)	山口市共同募金委員会審査委員会	共同募金及び歳末たすけあい募金配分決定
8月8日(月)	山口市共同募金委員会推進委員会	推進委員35名 事務局
10月1日(土)	共同募金開始行事、街頭募金	山口井筒屋前
10月15・22日(土)	街頭募金、街頭宣伝	中市商店街
10月～12月	法人、職域募金	山口市内全域
11月12日(土)	チャリティーゴルフ大会	湯田カントリークラブ 参加者58名
令和5年 2月24日(金)	山口市共同募金委員会審査委員会	令和4年度歳末たすけあい配分報告 令和5年度共同募金配分計画

## 《成果と課題》

昨今の社会情勢の不安に合わせ、共同募金は年々募金実績が減少しており、一般募金及び歳末たすけあい募金共に昨年度の実績を下回った。内訳としては、戸別募金の減少が著しい半面、コロナウイルス感染症でのイベントの自粛が解除された結果、イベントの再開があり、その募金額は増額であった。

また、昨年からはじめたイラストコンテストを今年度も実施し、小学生から高校生まで幅広く57点の応募があった。

配分事業においては、共同募金の目的に沿った用途となるよう本会内で担当者会議を開催し、事業の再考を図るとともに、予算編成会議においても、共同募金を財源とする事業の見直しについての協議を行ったが、配分事業の決定までには至っていない。次年度、引き続き調整をして結論出すことになる。

募金額が減少している中において、早急に配分事業の見直しを行い、併せて目的に沿った分かりやすい形での募金活動すすめる必要がある。

## (6) 福祉サービス事業に関する苦情解決の取り組み

### ○苦情の受付状況

サービス内容	件数	サービス内容	件数
社協法人運営(住民会員会費)	1	放課後児童クラブ運営	3
組織改編		有償在宅福祉サービス	1
福祉資金等貸付・交付		介護機器等貸出事業	1
地域福祉権利擁護事業	1	チェアキャブ貸出事業	
社協施設の利用		移送サービス	
介護保険サービス(相談)		共同募金・歳末たすけあい募金	
介護保険サービス(訪問)	5	社協ホームページ	
介護予防事業関連		社協だより記載ミス・記載漏れ	1
介護保険施設との行き違い		給与・労務事務	1
障害福祉サービス(相談)		職員のモラル(SNS)	
障害福祉サービス(訪問)		職員対応・態度	5
障害福祉サービス(通所)		職員の交通マナー	
民生委員・児童委員活動		個人情報の取り扱い	2
福祉員活動	1	本所の施設管理	
地区社協運営	1	マイクロバス運行事業	1
情報開示	1	事業調整	1
		合計	26

### ○令和4年度 苦情解決関係者研修会

開催日 令和5年1月30日(月) 午後2時～4時  
会場 山口市社会福祉協議会 本所 会議室  
講師 山口県福祉サービス運営適正化委員会 主査 西村千恵 氏  
内容 「苦情解決関係者の役割と苦情解決のポイントについて」  
「山口市社会福祉協議会の苦情対応状況について」  
参加者 8名(第三者委員3名、苦情解決責任者1名、苦情受付担当者4名)

### ○令和4年度 苦情解決責任者研修会

開催日 令和5年2月14日(火) 午後0時50分～4時  
会場 山口県セミナーパーク 講堂  
内容及び講師 【報告】「福祉サービス運営適正化委員会での苦情受付状況について」  
山口県福祉サービス運営適正化委員会事務局  
【講義①】「事業所段階での苦情解決における苦情解決責任者の役割について」  
宇部フロンティア大学短期大学部 教授 近藤鉄浩氏  
(山口県福祉サービス運営適正化委員会 苦情解決部 部会長)  
【講義②】「苦情解決責任者に求められるリスクマネジメント」  
通山法律事務所 弁護士 通山和史氏  
(山口県福祉サービス運営適正化委員会 苦情解決部 副部会長)

### 《成果と課題》

福祉サービス事業に関する苦情解決体制は、苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員の委嘱により体制を整えている。本年度の苦情等の申し出は、昨年度から増加し、26件であった。

苦情の内容は、介護保険サービス(訪問)に関するものと職員の対応・態度に関するものが5件と最も多く、次に放課後児童クラブに関するものが3件となっている。中には、同じ人からの苦情が続くケースもあった。

苦情受付・相談の心構えとしては、まずは傾聴の姿勢で申出人の話をとにかく聞くことが大切である。今年度最多の職員対応・態度に関する苦情については、初期対応の仕方を含めて、改めて職員教育を行う必要がある。

## (7) 関係機関等との渉外・その他調整等

### 1) 中国・四国都市社会福祉協議会連絡協議会第60期(令和4年度)定期総会及び研修会

中国・四国地域には昭和38年に中国・四国都市社会福祉協議会連絡協議会が結成されている。昨年度から2年間、鳥根県松江市社会福祉協議会が事務局引き受けとなっている。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策を図りながら以下の事業が執行された。

#### 運営委員会

○開催日 8月26日(金)  
○方法 オンライン会議  
○参加者 会長－1名、運営委員－5名、監事－2名、事務局－3名  
※山口市社会福祉協議会事務局長が運営委員として参加

#### 定期総会

○方法 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面決議で実施

## 研修会

- 開催日 令和5年1月25日(水)
- 方法 オンライン研修
- 内容 【講演会】 地域共生社会実現に向けた社会福祉協議会のこれから  
【講師】 一般社団法人コミュニティーネットハピネス 代表理事 土屋 幸己 氏  
【情報交換】 地域共生社会実現に向けた各社会福祉協議会での取り組み
- 本会参加者 8名(常務理事・事務局長・事務局次長・課長・総務課主幹)

## 2) ソーシャルワーク実習等の引受

福祉現場の実習等については、山口県内の大学(福祉学部)及び福祉職をめざす山口市出身者、福祉事務所等からの相談・依頼を受けて、本会としてソーシャルワーク実習Ⅱ等を積極的に引受け、人材育成に努めた。

学校名	実習人員	実習期間	実習受入部署
西南女学院大学 保健福祉学部	1名	9月12日(月)～9月26日(月)	山口市社会福祉協議会本 所兼北部支所
久留米大学 文学部社会福祉学科	1名	8月19日(金)～9月26日(月)	
山口県立大学 社会福祉学部 社会福祉学科	3名	8月19日(金)～9月9日(金)	
山口県立大学 社会福祉学部 社会福祉学科	1名	8月16日(火)～9月6日(火) 〔内15日間〕	山口市川西地域包括支援 センター

## 2 財源の新規開拓と効果的な法人及び事業運営による経営基盤の強化

### (1) 予算編成会議の開催

回	開催日	協議内容
第1回	5月12日(木)	1. 令和3年度決算処理の状況について 2. 令和4年度第1次補正予算について 3. その他共同募金事業について
第2回	6月16日(木)	1. 令和5年度サマーレビューについて 2. 共同募金の活用について
第3回	9月26日(月)	1. 山口市社協の自主財源の推移について 2. 委託・補助・指定管理事業の予算要望について 3. 積立金の運用について 4. 車両配置について

回	開催日	協議内容
第4回	10月28日(金)	1. 予算要望提出事業の状況について 2. 自主財源の伴う各事業の新年度予算について 3. 積立金の運用について 4. 車両の配置について
第5回	12月9日(金)	1. 自主財源の収入の推移について 2. 令和5年度で予算確保が必要な案件について 3. 共同募金配分金事業について 4. 積立金の運用について 5. 各種システム経費、顧問弁護士等の経費按分について
第6回	令和5年 1月11日(水)	・令和5年度予算について

#### 《成果と課題》

山口市社会福祉協議会活動基盤強化計画の中の財源確保部門の一環として、予算削減に努め、適切な事業配分を行うため、6回にわたり管理職及び予算管理責任者で年間を通じて、予算編成会議を行った。

テーマを毎回定め、委託・補助・指定管理事業及び自主財源事業の見直し、共同募金の活用について、積立金の運用について、車両の配置についてなどの協議を行った。

特に、会費や寄附金、共同募金などが年々減少しており、自主財源を活用している事業の精査や車両維持管理経費及び事務経費の削減策については、毎回議題に挙げ協議を行った。

### 3 社協の経営理念に基づいた計画的な人材の育成・確保の仕組みづくり

#### (1) 職員研修会の開催

回数	開催日	内容	講師	対象者及び実施方法
第1回	7月7日(木)	OJTについて(第1弾) ・講義	山口市福祉センター 石丸館長	所属長職員 (集合形式)
第2回	10月17日(月)	本社協の状況分析と強化案について(職位ごとのグループワーク)	-----	正規職員 (集合形式)
第3回	12月13日(火)	OJTについて(第2弾) ・「私の実践」記録の共有 (グループワーク)	山口市福祉センター 石丸館長	所属長職員 (集合形式)
第4回	令和5年 3月15日(水)	第3次山口市社会福祉協議会活動基盤強化計画(案)について	松村次長	全職員 (オンライン形式) ※オンデマインド形式含む

#### 《成果と課題》

研修委員会で内容を協議し毎年定例で職員研修会を実施している。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症防止の対応を図りながら、オンライン形式と集合形式での研修会を行った。令和4年度は、内容によって対象職員を分けて行い、特にディスカッションが必要な内容については、グループワークの形で行った。更に、第3次山口市社会福祉協議会活動基盤強化計画(案)の説明は、業務の都合で参加できない職員のために、録画を行い後日視聴できるようにした。

## 関連事業

### 1 広報・啓発活動の充実・強化

#### (1) 社会福祉功労者等表彰状・感謝状贈呈式の開催

- 開催日 10月7日(金)午後1時30分～2時30分
- 会場 山口県総合保健会館 多目的ホール
- 参加者 69名(内被表彰者65名・感謝状贈呈者4名)
- 内容

表彰 本会表彰規程に基づき、社会福祉事業関係功労者等の表彰を行い、その功績を讃えた。

部門	個人	団体
被表彰者	135名	13団体
感謝状贈呈者	8名	2団体

#### 《成果と課題》

今年度も記念講演は行わず、被表彰者・感謝状贈呈者を対象に「社会福祉功労者等表彰状・感謝状贈呈式」を開催しその功績を讃えた。今年度は、民生委員・児童委員の一斉改選や福祉員の3年任期最終年にあたり、活動歴9年目の受賞者が多く、表彰者件数は148件(個人・団体)、感謝状贈呈者は10件(活動者・寄付者)であった。

3年続けて「社会福祉功労者等表彰状・感謝状贈呈式」の形で実施したが、次年度以降も社会状況を鑑み、また、幅広く意見を聞きながら、時代に合った形ですすめたい。

#### (2) 機関紙「山口市社協だより(こちら社協です)」の発行

○事業内容: 年6回「山口市社協だより(こちら社協です)」を発行し、各戸及び関係機関へ配付した。

本会事業や福祉団体の活動紹介、福祉サービスの情報を掲載し、市民から親しまれる紙面づくりに努力した。また、表紙・裏表紙はカラー刷りとなっている。

発行月	発行部数	発行回数(頁)	配布先
4・6・8・10・12・2月	各74,700部	6回(8頁)	各戸、関係機関

#### 《成果と課題》

今年度も年6回「山口市社協だより(こちら社協です)」を発行した。

昨年度から経費削減のため頁数を12頁から8頁に減らしているため、掲載記事を広報委員会でしっかりと厳選し、掲載しきれない内容については、ホームページで紹介するなど、広報活動を工夫した。

また、本会のイメージキャラクターの「タスクん、ふれっぴー」を積極的に活用し、キャラクターの周知と親しみやすい紙面づくり及び記事の質の向上に取り組んだ。

### 2 福祉団体への支援・協力

#### (1) 山口市ボランティア連絡協議会の運営

- ・加入団体・個人 団体101グループ 個人18名
- (内新規団体・個人 団体 3グループ 個人 0名)
- ・解散・退会団体・個人 団体 3グループ 個人 7名



○事業内容

本年度も、役員会とボランティア相互の連携を深めるため視察研修や交流会を行った。

開催日	内 容	会 場	参加者数
4月18日 (月)	令和4年度 山口市ボランティア連絡協議会総会	山口県総合保健会館 第1研修室	73団体 個人14名
5月16日 (月)	第1回 山口市ボランティア連絡協議会役員会	山口市社会福祉協議会 南部支所	11名
7月11日 (月)	第2回 山口市ボランティア連絡協議会役員会	山口市社会福祉協議会 南部支所	11名
7月21日 (木)	視察研修（宇部市ボランティア連絡協議会と交流）	宇部市	22名
9月12日 (月)	第3回 山口市ボランティア連絡協議会役員会	山口市社会福祉協議会 南部支所	14名
10月1日 (土)	赤い羽根共同募金オープニング行事	山口井筒屋前	1名
10月15日 (土)	赤い羽根共同募金 街頭募金活動①	中市商店街	2団体 7名
10月22日 (土)	赤い羽根共同募金 街頭募金活動②	中市商店街	4団体 11名
10月29日 (土)	ふれあいレク大会（式典参加）	山口県身体障害者福祉センター	2名
11月9日 (水)	第4回 山口市ボランティア連絡協議会役員会	山口市社会福祉協議会 南部支所	13名
11月10日 (木)	山口県総合社会福祉大会（動員）	KDDI ホール	14名
11月22日 (火)	山口市ボランティア連絡協議会交流会	山口県総合保健会館 多目的ホール	87名 一般 7名 計 94名
令和5年 1月30日 (月)	第5回 山口市ボランティア連絡協議会役員会	山口市社会福祉協議会 南部支所	14名
2月27日 (月)	山口県ボランティア交流大会	山口県総合保健会館 多目的ホール オンライン	山口市 46名 全体 約250名
3月27日 (月)	第6回 山口市ボランティア連絡協議会役員会	山口市社会福祉協議会 南部支所	13名
随時	山口市ボランティア連絡協議会支援事業 （メニュー事業）	2件	—

《成果と課題》

一本化した山口市ボランティア連絡協議会の運営は8年目に入った。

今年は本来研修会の年だったが、昨年度新型コロナウイルス感染症拡大により研修会と入れ替えたため視察研修を開催し、県ボランティア連絡協議会加入市町である宇部市ボランティア連絡協議会との交流を行った。

11月に開催した交流会では加入グループである「朗読グループまごころの会」と「たんぽぽ会」から活動発表を行った。今回のパネルの展示では、加入グループ以外に山口県警察等の外部団体からの出展もあった。

た。また、参加制限を設けず、一般市民に参加の呼びかけを行い数名の参加者が来られた。

新型コロナウイルスの感染拡大により、活動が減ったりできなくなったという団体の声を多数聞いた。会員の高齢化や後継者問題等で解散・退会する団体・個人が相次いだ中、新しい団体が3つ加入された。

独自事業である支援事業（補助金）の利用が近年2団体となっている。今後も周知と利用を増やすことが課題である。

感染拡大防止の策を講じるだけでなく、今後も山口市ボランティア連絡協議会への加入促進、発展、交流につながる取り組みを考え、役員の方と協議し活動の支援を行う。

## (2) 山口市民生委員児童委員協議会の運営

\* 受託事業

○事業内容

開催日	内容	会場等
4月4日(月)	監事会	山口市社会福祉協議会 本所
4月12日(火)	会長・副会長会議(第1回)	山口市社会福祉協議会 本所
4月6日(水)～15日(金)	春の全国交通安全運動	12地区民児協実施
4月19日(火)	山口市民生委員児童委員協議会総会	山口県健康づくりセンター
5月5日(木)～11日(水)	児童福祉週間	
5月12日(木)～18日(水)	民生委員児童委員の日 活動強化週間	
5月15日(日)	民生委員児童委員の日 一斉取組日	
5月20日(金)	高齢福祉部会研修会(第1回)	山口県健康づくりセンター
5月20日(金)	地域福祉部会研修会(第1回)	山口県健康づくりセンター
5月24日(火)	主任児童委員連絡会議(第1回)	山口県健康づくりセンター
5月26日(木)	児童福祉部会研修会(第1回)	山口県健康づくりセンター
6月6日(月)	会長・副会長会議(第2回)	山口市社会福祉協議会 本所
6月7日(火)	現任民生委員・児童委員研修会(県社協主催)	山口県セミナーパーク
6月16日(木)	理事会(第1回)	防長苑
7月1日(金)	青少年健全育成・社会を明るくする運動式典・パレード →中止	
7月11日(月)～20日(水)	夏の交通安全県民運動	9地区民児協実施
7月27日(水)	ブロック別研修会 中央部・北部 (大殿・白石・湯田・吉敷・平川・大歳) (仁保・小鯖・大内・宮野・徳地・阿東)	山口県健康づくりセンター
7月29日(金)	ブロック別研修会 南部 (陶・鑄銭司・名田島・秋穂二島・嘉川・佐山・小郡・秋穂・阿知須)	山口南総合センター
8月24日(水)	交流研修会	かめ福オンプレイス
9月16日(金)	児童福祉部会研修会(第2回)	山口県健康づくりセンター
9月20日(火)	会長・副会長会議(第3回)	山口市社会福祉協議会 本所
9月21日(水)～30日(金)	秋の全国交通安全運動	7地区民児協実施
9月22日(木)	高齢福祉部会研修会(第2回)	山口県健康づくりセンター
9月27日(火)	主任児童委員連絡会議(第2回)	山口県健康づくりセンター
9月28日(水)	地区民生委員児童委員協議会 会長・副会長研修会(県社協主催)	山口県健康づくりセンター
9月29日(木)	地域福祉部会研修会(第2回)	山口県健康づくりセンター

開催日	内容	会場等
10月5日(水)	平戸市民生委員児童委員協議会生月支部視察研修受け入れ	湯田地域交流センター
10月7日(金)	山口市社会福祉事業功労者等表彰状・感謝状贈呈式	山口県健康づくりセンター
10月14日(金)	常任理事会(第1回)	かめ福オンプレイス
10月19日(水)	中堅民生委員・児童委員研修会(県社協主催)	山口県健康づくりセンター
10月19日(水)~20日(木)	第91回全国民生委員児童委員大会~愛知大会~	愛知県名古屋市
10月21日(金)	理事会(第2回)	かめ福オンプレイス
11月9日(水)	山口市表彰式	山口市市民会館小ホール
11月10日(木)	第72回山口県総合社会福祉大会	KDDI 維新ホール
12月1日(木)	山口市民生委員・児童委員感謝状贈呈式及び委嘱状伝達式	KDDI 維新ホール
12月10日(土)~1月3日(火)	年末年始の交通安全県民運動	11地区民児協実施
12月16日(金)	主任児童委員連絡会議(第3回)	山口市労福協会館
12月20日(火)	山口市新任民生委員児童委員協議会	山口県健康づくりセンター
12月22日(木)	理事会(第3回)	防長苑
令和4年 1月10日(火)~2月19日(日)	全国児童委員・主任児童委員活動研修会 →不参加	オンライン形式
1月23日(月)	会長・副会長会議(第4回)	かめ福オンプレイス
1月23日(月)	地区会長会議(第1回)	かめ福オンプレイス
1月27日(金)	高齢福祉部会役員会	山口市社会福祉協議会 本所
1月27日(金)	児童福祉部会役員会	山口市社会福祉協議会 本所
1月30日(月)	山口県新任民生委員児童委員研修会	山口県健康づくりセンター
2月6日(月)	主任児童委員連絡会議役員会	山口市社会福祉協議会 本所
2月7日(火)	地域福祉部会役員会	山口市社会福祉協議会 本所
2月27日(月)	常任理事会(第2回)	防長苑
3月16日(木)	理事会(第4回)	セントコア山口
○地区民児協定例会	毎月1回各地区にて実施	
○県民児協 活動強化方策推進事業	吉敷・阿東地区民児協	
○市民児協 活動支援児協	大殿・大内・大歳・陶・秋穂二島・嘉川・佐山 地区民児協	
○山口市民生委員・児童委員ガイドブック第7版 発行		

### 《成果と課題》

昨年度に引き続き、コロナ禍での活動となった。研修会においては、感染対策を十分に行うことで概ね予定どおりの研修会を実施することができた。過去2年開催できなかった交流研修会を全委員対象の講演会という形で開催し、大変好評であった。

12月には一斉改選を迎え、ガイドブック第7版の発行をはじめ、新任研修会や会議を開催した。全委員の半数近くが新任委員となり、地区民児協会長とも連携しながらフォローを行った。

昨年度より各地区民児協会長へ配付しているタブレットについては臨時連絡等に活用できたが、会長の交代等もあり十分な活用はできなかった。幅広い活用に向けて各地区会長とも協議を進めていきたい。

## (2) 山口市介護者の会の運営

○事業内容

開催日	行事	内 容	参加人数	会 場
4月 14日(木)	役員会	総会及び役員改選他について	10名	山口市社協南部支所
5月 19日(木)	総会	総会 介護講演会 「介護予防と食事について」	総会17名 (委任状 18名) 講演会 17名	山口市福祉センター
6月 10日(金)	役員会	介護実践教室、茶話会他について	9名	山口市社協南部支所
6月 10日(金)	介護実践教室	「介護者の気持ちの持ち方、介護への向き合い方」	会員13名 一般4名	山口市社協南部支所
7月 1日(金)	施設訪問		12名	白松苑(阿知須)
8月 19日(金)	役員会	介護相談会、介護実践教室、リフレッシュ旅行他について	9名	山口市社協南部支所
9月 8日(木)	介護相談会	包括支援センター等関係機関との相談会(吉敷地区)	医療相談者 4名 福祉相談者 5名	吉敷地域交流センター
10月 14日(金)	役員会	リフレッシュ旅行、介護講演会について	8名	山口市社協南部支所
10月 14日(金)	介護実践教室	「食事と口腔ケア」	会員7名 一般2名	山口市小郡保健福祉センター
11月 11日(金)	リフレッシュ旅行	下関市方面	22名	川棚温泉道の駅きくがわ
12月 8日(木)	介護講演会	「在宅介護と在宅医療について」	会員20名 一般16名	山口市社協南部支所
令和 5年 1月 12日(木)	役員会	令和5年度事業計画(案)について	9名	山口市社協南部支所
2月 24日(金)	茶話会	リンパ体操と介護体験発表	会員13名 関係機関等 6名	嘉川地域交流センター
3月 16日(木)	役員会	令和5年度総会他について	9名	山口市社協南部支所

## 《成果と課題》

山口市介護者の会は平成27年度から一本化されており、山口市全体で実施される研修会の見直しや、市内から参加しやすい場所を選定するなど、会員が参加しやすい方法を協議した。また、会員だけではなく、一般の方も参加ができる研修会を開催した。

今後の運営を支援していく上で、広域であること、会員の高齢化が進んでいることなど、在宅介護をしている会員の増強や会の運営内容などが課題となる。具体的には、介護する人が気軽に行ける場所づくりや、会員同士の交流を図っていきたいと考えている。

また、介護者と要介護者が一緒に出かけられる旅行の実施が計画されているが、新型コロナウイルス感染症により実現がされていない。今後も実施に向けて、継続的に協議していく。旅行の実施については、社会福祉法人との連携等により、安心安全に旅行ができる環境づくりも検討したい。

今後も活動の充実と会員の交流を図り、会員確保と会員福祉の増強に努めていく。

## 3 施設の管理運営

### (1) 山口市老人福祉館の運営 \* 指定管理事業

開館日数 老人福祉館291日・山口児童館291日  
 臨時休館 老人福祉館2日・山口児童館2日  
           9月 6日(火) 台風接近のため 1日  
           12月17日(土) 館内清掃のため 1日

#### 【山口市福祉センター(老人福祉館・山口児童館)利用状況】

	利用者(名)	月平均(名)
老人福祉館	5,472	456
山口児童館	14,837	1,236
合計	20,309	1,692

#### (定期利用グループ)

事業内容	回数/月	利用者(名)	事業内容	回数/月	利用者(名)
民踊等 (3グループ)	11	522	謡曲・詩吟 (2グループ)	5	238
ダンス	4	375	囲碁・将棋 (3グループ)	6	756
人形・手芸 (2グループ)	4	186	三味線	3	126
合 計				2,203	

#### (不定期利用グループ)

事業内容	回数/月	利用者(名)	事業内容	回数/月	利用者(名)
フラダンス (3グループ)	8	432	オカリナ	2	104
日本画	1	32	華道	2	286
朗読 ※7月より利用終了	4	108	大正琴	3	112
合 計				1,074	

(新規利用団体)

- ・書道研究玄游会紫虹会(書道)(8月6日利用)
- ・大殿老連女性委員会(大正琴)(4月より月2~4回不定期利用) 計112名(全32回)
- ・としみ(フラダンス)(4月より月1~2回不定期利用) 計46名(全13回)

(大殿地区社会福祉協議会)

- ・行くっちゃ! おおどの健康教室(第1~4木曜日実施) 計347名(全25回)
- ※新型コロナウイルス感染症対策のため、7月(2回)・9月・1月(2回)は中止

【山口市福祉センター講座(8回実施)】

日付	講座名	参加者(人)	日付	講座名	参加者(人)
9月9日(金)	ヨガ①	8	11月29日(火)	手芸①	15
10月14日(金)	ヨガ②	9	11月30日(水)	手芸②	10
11月11日(金)	ヨガ③	8	12月26日(月)	小さな門松づくり	15
11月14日(月)	絵手紙	10	2月25日(土)	お花	4
合 計					79

【ボランティアセンター利用状況】

	利用者(名)	月平均(名)
ボランティアセンター	665	55

《成果と課題》

○運営方針

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮しながら、高齢者の安心・安全な施設利用を重点課題にして運営を行った。玄関の段差には色付きのテープやポップを貼ることによって注意を促すとともに、ソファの配置を変えることで、玄関ホールの土足可能なエリアを広げた。

また、昨年度に引き続き、利用者が居心地の良さを感じながら仲間づくりを行える場を提供するという方針で運営を行った。そのため、可能な限り柔軟に利用者のニーズに応えるようサービスを提供した。

○山口市福祉センター講座

事後アンケートでは、講師の魅力と丁寧な指導により、利用者の満足度も高い評価が得られた。材料の価格高騰もある中で、参加者の負担が少ない講座や、高齢者が楽しめる内容の情報収集に努めた。広報活動については、市社協だよりやホームページの活用に加え、案内チラシや昨年度の講座内容の様子を館内に掲示したことにより、利用者が興味を持ち参加につながった。

また、多世代交流を目的として行った冬の特別講座は、親子・孫・祖父母とで楽しく参加できる活動となっていることから、今後も企画していきたい。

○駐車場

同じ利用団体の縦列駐車を呼びかけ、利用者の意識は定着してきている。出席者の多い会議や貸館利用の多い日は、児童遊園の一部も利用し対応している。高齢者の運転技術に個人差があり、ヒヤットとする場面もあった。前庭の植木によって自車を傷つけた高齢者もいたことから、剪定にも工夫が必要と思われる。

○感染症対策

スタッフ・利用者を含め、マスクの着用、検温、手指消毒、貸館利用時の消毒セットの使用は定着し、施設内の手摺・スリッパ等の消毒も実施した。コロナに対する状況も少しずつ変化していく中で、それぞれの利用グループの判断で、利用を控えたり、マスク・消毒を続ける等対策をとっている現状が見られた。

## (2) 山口市秋穂コミュニティセンターの運営

\* 指定管理事業

○年間来館者数

	開館日数 (日)	総来館者 人数(名)	地域別内訳(名)		
			秋穂地域	山口市内	その他
合計	343	10,466 (児童クラブ「秋穂児童にこにこ学級」通級児童5,939名含む)	8,522	1,217	727
月平均		872.2	710.2	101.4	60.6
一日平均		30.5	24.8	3.5	2.1

## (3) 山口市阿知須健康福祉センター(おげんきかん)の運営

\* 指定管理事業

○事業内容:平成15年度に開館した施設(20年目)の指定管理者として円滑な運営を行っている。

年間延利用者 12,926名(前年度比 802名増) 月平均 1,077名の利用

	福祉関係	保健関係	各種 団体	定期 利用	社協 関係	高齢者 娯楽室	その他	合計
合計(名)	1,290	3,326	1,863	3,588	921	813	1,125	12,926
%	10.0	25.7	14.4	27.8	7.1	6.3	8.7	100

\* 福祉関係 (三者会議、定例民児協、情報交換会、福祉相談、視察研修、各種講習会など)

\* 保健関係 (健康相談、健診事業、子育て支援事業、各種健康教室など)

\* 各種団体 (母子保健推進協議会、食生活改善推進協議会、身体障害者福祉更生会、老人クラブ、手話友の会、シルバー人材センターなど)

\* 定期利用 (きんもくせい、3B、さわやかコーラス、民児協、ヨガ、子育てセンター、ブックスタート、囲碁同好会など)

\* 社協関係 (社協の各種事業、地区社協事業、研修会など)

\* 高齢者娯楽室 (囲碁など)

\* その他 (日赤献血、コープ委員会など)

\* コロナ禍3年目として、利用者が増加した。

## 山口市の福祉概要

(令和5年3月31日現在)

人 口	187,674人 (住民基本台帳による)	
世 帯 数	90,526世帯	
高齢化率	30.28%	
65歳以上高齢者数	56,826人	
ひとり暮らし高齢者数 (R5.5.1)	7,516人	
75歳以上二人暮らし世帯数 (R5.5.1)	2,884世帯	
民生委員・児童委員数	438人	
主任児童委員数	43人	
身体障害者手帳保持者	7,009人	
療育手帳保持者	1,656人	
精神障害者保健福祉手帳保持者	2,071人	
児童扶養手当受給資格者数	1,606世帯	
被保護世帯数	1,181世帯	
保 健 福 祉 施 設 数	養護老人ホーム	3箇所
	特別養護老人ホーム	20箇所
	軽費老人ホーム(ケアハウス含む)	6箇所
	老人福祉センター	3箇所
	老人福祉施設福祉作業所	1箇所
	老人短期入所施設	23箇所
	デイサービスセンター(通所介護)	103箇所
	デイケアセンター(通所リハ)	9箇所
	地域包括支援センター	10箇所
	在宅介護支援センター	3箇所
	生活支援ハウス	1箇所
	介護老人保健施設	9箇所
	介護療養型医療施設	2箇所
	訪問看護ステーション	29箇所
	グループホーム(認知症)	22箇所
	宅老所	0箇所
	保 育 所	39箇所(うち1箇所休園を含む)
	地域型保育事業所	7箇所
	へき地保育所	4箇所(うち2箇所休園を含む)
	認定こども園	6箇所
	生活介護事業所	23箇所
	自立訓練(生活訓練・宿泊型自立訓練)事業所	3箇所
	就労移行支援事業所	7箇所
	就労継続支援事業所 A 型	5箇所
	就労継続支援事業所 B 型	28箇所
	共同生活援助事業所	18箇所
	相談支援事業所	12箇所
障害者支援施設(施設入所支援)	6箇所	
地域活動支援センター	5箇所	
児童養護施設	3箇所	



	児童心理治療施設	1箇所
	児童家庭支援センター	1箇所
	福祉障害児発達支援センター	1箇所
	障害児通所支援事業所	54箇所
	児童自立支援施設	1箇所
	母子生活支援施設	1箇所